

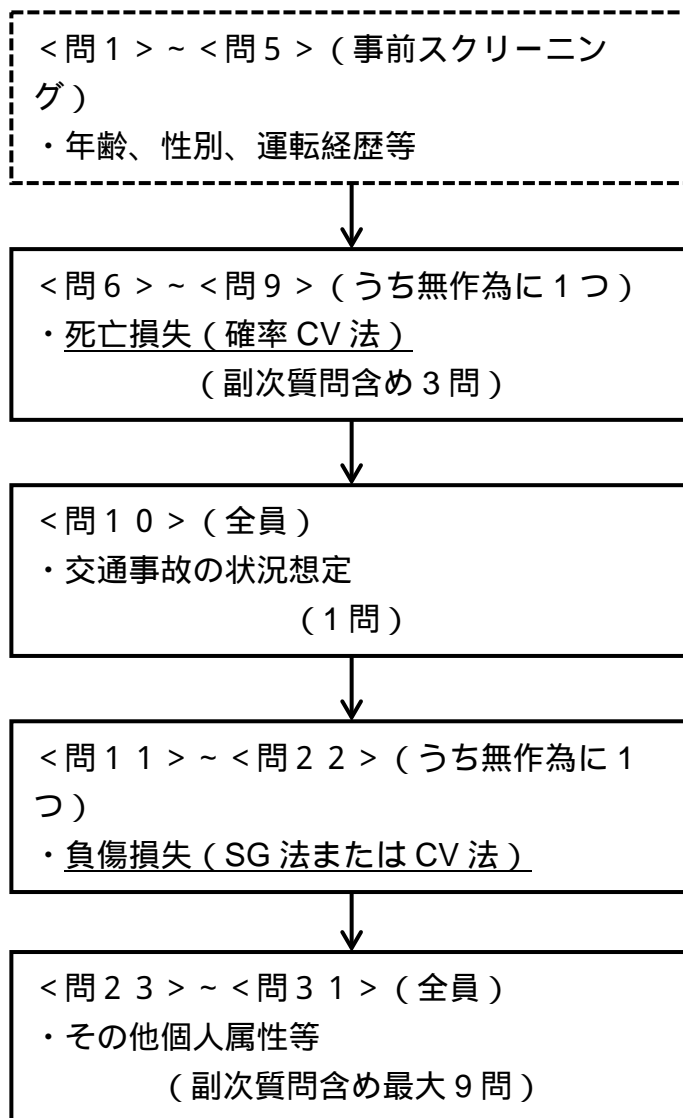
參考資料

参考資料 1 : プレ調査アンケート票

自動車交通事故による社会的な損失に関する調査
調査票

アンケートフローは以下のとおり

- ・ 1人につき、最大 26 問（事前スクリーニングの設問数含む）。うち、CVM、SG法に関する設問（時間を要する設問）は、副次質問含め最大 5 問
- ・ <問 1> ~ <問 5> は事前スクリーニング用の設問とし、年代の確認等と、確率の概念の非理解者の排除用。回答時間はおよそ 1 分を想定
- ・ <問 6> ~ <問 9> のいずれか 1 問を無作為に質問。設定の理解に必要な時間はおよそ 3~5 分。回答には、およそ 1 分を想定
- ・ <問 11> ~ <問 22> のいずれか 1 問を無作為に質問。設定の理解に必要な時間はおよそ 2~5 分。回答には、およそ 2 分を想定
- ・ <問 10>、<問 23> ~ <問 31> の想定回答時間は、トータルで約 2 分
- ・ 1人あたりの想定回答時間は合計で 10 分 ~ 15 分程度 を想定。



はじめに

この調査には

**『もし不幸にも、あなたが交通事故で死亡したり
負傷した場合に、どのようにお感じになるか？』**

という内容が含まれております。

正確な調査を期するために、負傷の内容については具体的な記述がされております。

そのため、場合によっては、あなたに不愉快な思いをさせたり、あるいは気分を悪くさせたりしてしまうことがあるかもしれません。

この調査はできるだけそのようなことがないように設計しておりますが、万が一このようなことにより、これ以上調査を継続したくない場合、回答を中止していただいて結構です。

<問1>

あなた自身に関する質問です。性別はどちらですか。

<回答1> (SA)

- 1 男
- 2 女

<問2>

あなたの年齢にあてはまるものをお選び下さい

<回答2> (SA)

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代
- 4 50歳代 5 60歳代以上

<問3 - 1>

あなたの運転免許保有の有無をひとつお選び下さい

<回答3 - 1> (SA)

- 1 あり 2 なし (問3 - 6へ)

<問3 - 2>

運転暦(免許取得からの年数)はどれぐらいですか。

<回答3 - 2> (0 かつ 80)

_____年

<問3 - 3 - 1>

最近1年間、車をどの程度の頻度で運転しますか

<回答3 - 3 - 1> (SA)

- 1 ほぼ毎日 2 週1~数回程度 3 月2回程度
- 4 年数回程度またはそれ以下 5 ほとんど運転しない (問3 - 6へ)

<問3 - 3 - 2>

最近1年間で、あなたが運転した距離はおおよそどれぐらいですか

<回答3 - 3 - 2> (SA)

- 1 0~5,000km 2 5,000~10,000km 3 10,000km以上

<問3 - 4>

あなたがもっともよく運転する車種はどれにあたりますか。もっとも運転頻度の多い車種をひとつおえらびください

<回答3 - 4> (SA)

- 1 乗用車 2 タクシー、バス 3 原付

4 自動二輪

5 貨物車（トラック）

6 その他

<問3 - 5 >

あなたが運転するときの主な目的はどれにあたりますか。もっとも多い運転目的を1つおえらびください

<回答3 - 5 > (SA)

1 買物、私事

2 旅行

3 仕事（通勤除く）

4 通勤・通学

5 送迎

6 その他

<問3 - 6 >

あなた自身およびあなたの周りで、人身事故に遭った経験のある方はいらっしゃいますか？

<回答3 - 6 > (MA、5のみSA)

1 あなた自身

2 家族（親、子供、兄弟／等）

3 親戚（いとこ、おじおば／等）

4 友人

5 いない

< 問 4 > 交通事故の確率について

平成 22 年度のデータによると、日本では、交通事故で死亡する確率が、1 年間で「10 万分の 4」といわれています。

これは、1 年間で自殺により死亡する確率より小さく、火災で死亡する確率より大きいこととなります。

平成 22 年度のデータでは交通事故で死亡する確率

平成 22 年	人身事故被害者数	89 万 9,144 人	(1,000 人に 約 7 人)
	交通事故死者数	4,863 人	(10 万人に 約 4 人)
	日本の総人口	約 1 億 2,745 万人	

1 年間で『**交通事故**』により死亡する確率 = **10 万分の 4**

1 年間で『自 殺』により死亡する確率 = 10 万分の 25

1 年間で『火 災』により死亡する確率 = 10 万分の 1

さて、ここに A さんと B さんがいるとします。

仮に、A さんが今後 1 年間で死亡する確率は 10 万分の 5 (5/100,000)

B さんが今後 1 年間で死亡する確率は 10 万分の 10 (10/100,000)

という説明があったとします。

あなたは以上の説明で、A さんよりも B さんの方が、今後 1 年間で死亡する確率が高いということが理解できますか？

< 回答 4 > (SA)

- 1 はい
- 2 いいえ (終了。回答者から排除)

<問5> 交通事故の確率について

次に、ここにCさんとDさんがいるとします。

仮に、Cさんが今後1年間で死亡する確率は 10万分の6 (6/100,000)

Dさんが今後1年間で死亡する確率は 10万分の2 (2/100,000)

という説明があったとします。

あなたは以上の説明で、Cさんが今後1年間で死亡する確率は、Dさんの3倍であることが理解できますか？

<回答5> (SA)

1 はい

2 いいえ (終了。回答者から排除)

以下の問6～問9のいずれか1群のみ回答
(問6～問9のいずれかを無作為に当てる。
最終的には、問6～問9×金額組合せ5パターンの回収数は同じになるように設定)

なお、問6～問9の設問中に登場するA、B、Cの金額組合せは次のとおりとし、各金額組み合わせは均等割付(同じ確率で無作為に選択)。

	A	B	C
金額組合せ1	千	5千	百
金額組合せ2	5千	1万	千
金額組合せ3	1万	3万	5千
金額組合せ4	3万	5万	1万
金額組合せ5	5万	10万	3万

アンケートにお答えいただくにあたって

この調査では、まずはじめに、

もし不幸にも、あなたが交通事故で死亡するような状況

を想定した質問にお答えいただきます。

質問に先立って、いくつか想像いただく状況について、文章（写真や図をふくむ）をごらんいただき、内容をよくご理解いただきます。

その上で、「はい」か「いいえ」でお答えいただく質問が2問、その理由をお選びいただく質問が1問ございます。

質問自体は簡単なものですが、質問に先立ってごらんいただく文章は、やや長文で、内容をご理解いただくためには、早くても1～2分以上かけて熟読いただく必要がございます。

つづけて、

もし不幸にも、あなたが交通事故で負傷してしまった状況

を想定した質問にお答えいただきます。

の場合と同様、質問に先立って、いくつか想像していただく状況について、文章（写真や図をふくむ）をごらんいただき、内容をよくご理解いただきます。

その上で、「どのように感じるか」や「どのような条件なら治療を受けてもよいか」といった質問が1～2問ございます。

と同様、質問自体は簡単なものですが、質問に先立ってごらんいただく文章は、やや長文で、内容をご理解いただくためには、早くても1～2分以上かけて熟読いただく必要がございます。

最後に、あなた自身の家族構成など（1～3分程度で回答可能な）簡単な質問が10問程度で終了となります。

<以下、問6、問7回答者にのみ表示>

特別な治療を受けることができる「特別な保険」について

次の質問は、交通事故によって瀕死の状態となることを想定して質問に回答いただくものです。

もし、あなたが交通事故に遭遇してしまい、瀕死の状態になってしまったと仮定して下さい。この場合、通常行われている「普通の処置」では、24時間以内に死亡してしまうような状態とお考え下さい。

「普通の処置」とは、交通事故で病院に搬送された際、一般的に行われている処置（手術、投薬、医療機器の利用）をイメージしてください。ここでは、その「普通の処置」では、手の施しようがない状態であると想定してください。

[ここをクリックして、想定していただく状況を別ウインドウで熟読してください。](#)

<以下、問6、問7回答者にのみ、別ウインドウで表示>

特別な治療を受けることができる「特別な保険」について

次の質問は、交通事故によって瀕死の状態となることを想定して質問に回答いただくものです。

もし、あなたが交通事故に遭遇してしまい、瀕死の状態になってしまったと仮定して下さい。この場合、通常行われている「普通の処置」では、24時間以内に死亡してしまうような状態とお考え下さい。

「普通の処置」とは、交通事故で病院に搬送された際、一般的に行われている処置（手術、投薬、医療機器の利用）をイメージしてください。ここでは、その「普通の処置」では、手の施しようがない状態であると想定してください。

交通事故により死亡してしまう状態のイメージ

・すぐに気を失い、24時間以内に死亡します。



そのような状況をふまえ、次の仮定をよくお読み下さい。

特別な治療 について

ここで、仮に、現在研究が進められている最先端の医療技術（最先端の手術方法や手術機器、最新の薬や医療機器）を使った「特別な治療」があるものとします。

- この治療に 成功した場合には、すぐに完治することができます。
- この治療に 失敗した場合には、24時間以内に死亡してしまいます。

成功する確率は、事故の状況によりけりですが、25%の場合と50%の場合があります。

特別な保険 について

この「特別な治療」を受けるためには、あらかじめ『特別な保険』に加入しておかなければならず、その加入料をあなた自身が支払う必要があります。

『特別な保険』の内容は次のようになっています。

保険は1年契約（掛け捨て）です。

保険への加入料は1年分の料金を加入時に一括払いでお支払いいただきます。

保険に加入した1年間の間に、もし交通事故にあわなくても、加入料は返金されません。

保険に加入しておけば、日本国内のどこで事故にあっても「特別な治療」を受けられるものとします。

質問の内容

あなたは、この特別な治療を受けることができる『特別な保険』への加入料について、いくらなら支払う意思があるのかをおたずねします。

留意点

ただし、ご回答に際して以下の点に留意して下さい。

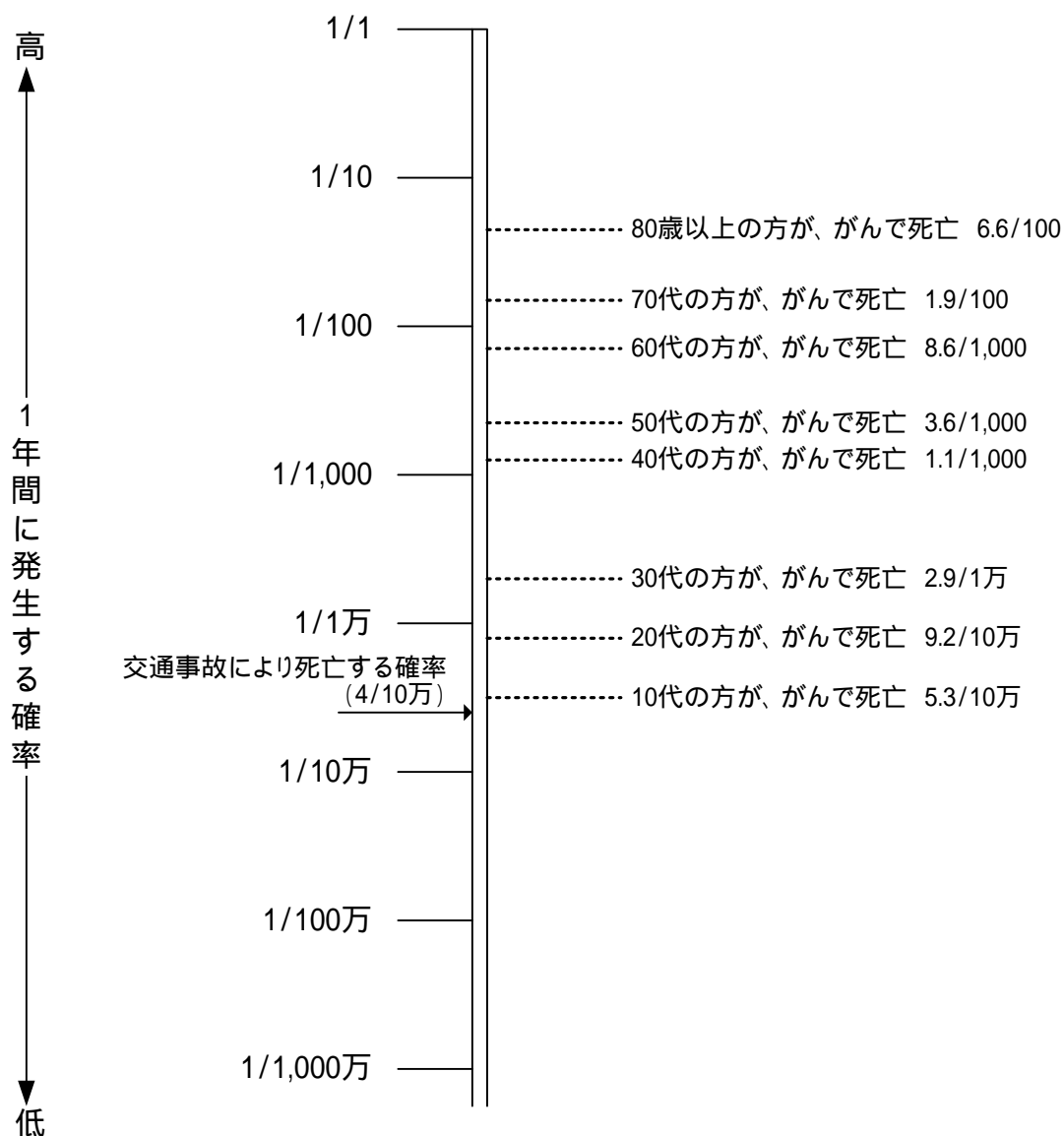
「普通の処置」「特別な治療」とともに治療費は無料で、あなたの費用負担はありません。

『特別な保険』に加入していなければ、「普通の処置」しか受けられません。ただし、その場合も「普通の処置」に対する治療費は無料とし、あなたの費用負担はないものとしてお考え下さい。

この『特別な保険』は、交通事故にあう確率そのものを減らすものではありません。交通事故で瀕死の重傷を負った場合に、死亡する確率を減らすことのできる「特別な治療」を受けられる保険です。

さて、現在、日本では1年間に10万人あたり4人が交通事故で死亡しています。10万人あたり4人という大きさは、下図で示す「死亡確率の大きさについて(10万分の4)」のとおりです。

これは、「普通の処置」では、あなたが交通事故により死亡してしまう確率が1年間に10万分の4であることを示しています。また、年代別のがんによる死亡率と比較についてもご参考にしてください。



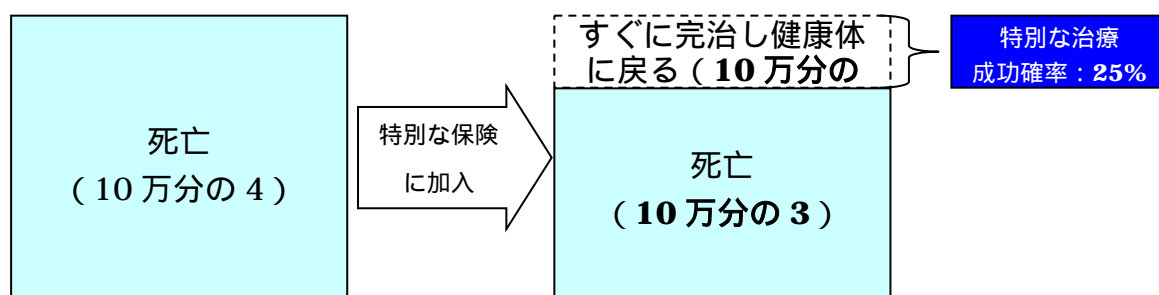
別ウインドウで説明した仮定について熟読し、理解できましたら、質問に進みます。
[次へ進む](#)のボタンを押して、次の質問にお進みください

1分以上強制表示（前回調査より、対面調査でも説明の理解には数分程度要するため）
本ページの表示時間を計測し記録（いい加減な理解で回答したケースを判別するため）

<問6 - 1> 「特別な治療」（成功確率25%）について

さて、先ほどの仮定において、あなたは、交通事故で瀕死の状態となった場合にのみ「特別な治療」を受けることができる『特別な保険』に加入することができる、とします。「特別な治療」の成功確率は、25%の場合と50%の場合がありますが、あなたの場合、成功確率25%の保険に加入できると仮定してください。

いいかえれば、この保険に加入していれば、交通事故により死亡する確率は図の通り、10万分の4から **10万分の3** に低下するといえます。



なお、先ほどの仮定をもう一度ご覧になりたい場合は、[こちら](#)をクリックして下さい。

さて、あなたは、交通事故で瀕死の状態になった場合にのみ「特別な治療」を受けられることができる『特別な保険』に、1年間の加入料が **A** 円なら加入してもよいと思いますか。

なお、『特別な保険』への加入料は、あなたご自身が支払い、他のものに支出できるお金がその分だけ減ってしまうことを考慮してお答えください。

また、先ほどの説明のとおり、保険に入らず「普通の処置」を受ける場合も、『特別な保険』に入って「特別な治療」を受ける場合も、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険（例えば自賠責保険等）や公的支援（例えば生活保護等）を受けられるため、あなたの費用負担はないとしてお考え下さい。

<回答6 - 1> (SA)

- 1 保険に加入してもよい(問6 - 2へ)
- 2 加入したくない(問6 - 3へ)

<問6 - 2>

それでは **B** 円でも加入しますか。

<回答6 - 2> (SA)

- 1 その金額でも加入してもよい(問6 - 4へ)
- 2 その金額なら加入したくない(問6 - 4へ)

<問6 - 3>

それでは **C** 円では加入しますか。

<回答6 - 3> (SA)

- 1 その金額なら加入してもよい(問6 - 4へ)
- 2 その金額でも加入したくない(問6 - 5へ)

<問6 - 4>

『特別な保険』に加入したいと考えた理由は何ですか。あてはまるもの全ておえらびください。

<回答6 - 4> (MA)(問10へ)

- 1 交通事故に遭う確率を少しでも低くしたいから
- 2 交通事故で負傷したときに治る確率を少しでも高めたいから
- 3 家族や周囲の人に迷惑を掛けたくないから
- 4 『特別な保険』で受けられる「特別な治療」は信用できそうだから
- 5 『特別な保険』に入らなければ、「普通の処置」も「特別な治療」も無料で受けられないと思ったから

<問6 - 5>

『特別な保険』に加入しない理由は何ですか。

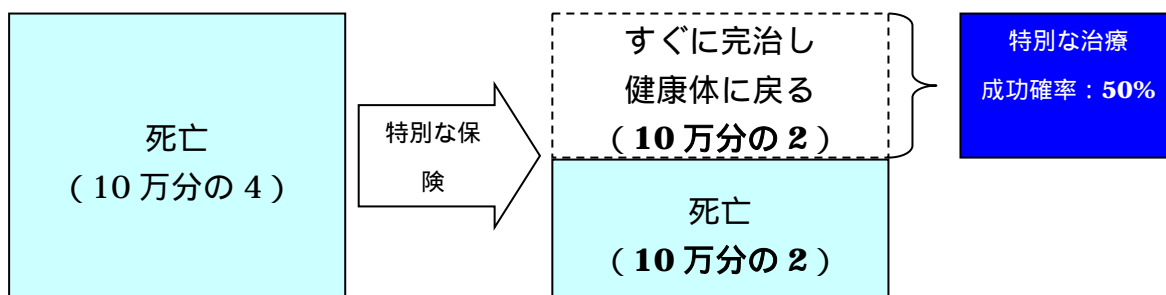
<回答6 - 5> (SA)(問10へ)

- 1 それほどの金額を出すべきものと思わないから
- 2 「特別な治療」で本当に治るとはどうしても思えないから
- 3 『特別な保険』に加入することで、運転が不注意になりそうだから
- 4 私は、そもそも交通事故に遭うような運転や歩行をしないから
- 5 その他(具体的に)

<問7 - 1> 「特別な治療」(成功確率50%) について

さて、先ほどの仮定において、あなたは、交通事故で瀕死の状態となった場合にのみ「特別な治療」を受けることができる『特別な保険』に加入することができる、とします。「特別な治療」の成功確率は、25%の場合と50%の場合がありますが、あなたの場合、成功確率50%の保険に加入できると仮定してください。

いいかえれば、この保険に加入しておけば、交通事故により死亡する確率は図の通り、10万分の4から 10万分の2に低下するといえます。



なお、先ほどの仮定をもう一度ご覧になりたい場合は、[こちら](#)をクリックして下さい。

さて、あなたは、瀕死の状態になった場合にのみ「特別な治療」を受けることができる特別な保険に、1年間の加入料が **A** 円なら加入してもよいと思いますか。

なお、『特別な保険』への加入料は、あなたご自身が支払い、他のものに支出できるお金がその分だけ減ってしまうことを考慮してお答えください。

また、先ほどの説明のとおり、保険に入らず「普通の処置」を受ける場合も、『特別な保険』に入って「特別な治療」を受ける場合も、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援(例えば生活保護等)を受けられるため、あなたの費用負担はないとしてお考え下さい。

<回答7 - 1> (SA)

- 1 保険に加入してもよい(問7 - 2へ)
- 2 加入したくない(問7 - 3へ)

<問7 - 2>

それでは **B** 円でも加入しますか。

<回答7 - 2> (SA)

- 1 その金額でも加入してもよい(問7 - 4へ)
- 2 その金額なら加入したくない(問7 - 4へ)

<問7 - 3 >

それでは **C** 円では加入しますか。

<回答7 - 3 > (SA)

- 1 その金額なら加入してもよい(問7 - 4へ)
- 2 その金額でも加入したくない(問7 - 5へ)

<問7 - 4 >

『特別な保険』に加入したいと考えた理由は何ですか。(あてはまるもの全て)

<回答7 - 4 > (MA)(問10へ)

- 1 交通事故に遭う確率を少しでも低くしたいから
- 2 交通事故で負傷したときに治る確率を少しでも高めたいから
- 3 家族や周囲の人に迷惑を掛けたくないから
- 4 『特別な保険』で受けられる「特別な治療」は信用できそうだから
- 5 『特別な保険』に入らなければ、「普通の処置」も「特別な治療」も無料で受けられないと思ったから

<問7 - 5 >

『特別な保険』に加入しない理由は何ですか。

<回答7 - 5 > (SA)(問10へ)

- 1 それほどの金額を出すべきものと思わないから
- 2 「特別な治療」で本当に治るとはどうしても思えないから
- 3 『特別な保険』に加入することで、運転が不注意になりそうだから
- 4 私は、そもそも交通事故に遭うような運転や歩行をしないから
- 5 その他(具体的に)

<以下、問8回答者にのみ表示>

交通事故による死亡リスクを減らすことができる「安全グッズ」について

次の質問は、交通事故によって瀕死の状態となることを想定して質問に回答いただくものです。

もし、あなたが交通事故に遭遇してしまい、瀕死の状態になってしまったと仮定して下さい。この場合、通常行われている「普通の処置」では、24時間以内に死亡してしまうような状態とお考え下さい。

「普通の処置」とは、交通事故で病院に搬送された際、一般的に行われている処置（手術、投薬、医療機器の利用）をイメージしてください。ここでは、その「普通の処置」では、手の施しようがない状態であると想定してください。

[ここをクリックして、想定していただく状況を別ウインドウで熟読してください。](#)

<以下、問8回答者にのみ、別ウインドウで表示>

交通事故による死亡リスクを減らすことができる「安全グッズ」について

次の質問は、交通事故によって瀕死の状態となることを想定して質問に回答いただくものです。

もし、あなたが交通事故に遭遇してしまい、瀕死の状態になってしまったと仮定して下さい。この場合、通常行われている「普通の処置」では、24時間以内に死亡してしまうような状態とお考え下さい。

「普通の処置」とは、交通事故で病院に搬送された際、一般的に行われている処置（手術、投薬、医療機器の利用）をイメージしてください。ここでは、その「普通の処置」では、手の施しようがない状態であると想定してください。

交通事故により死亡してしまう状態のイメージ

- ・すぐに気を失い、24時間以内に死亡します。



そのような状況をふまえ、次の仮定をよくお読み下さい。

安全グッズ について

交通事故で死亡するリスクを削減できる新しい『安全グッズ』が開発されたとします（技術的な現実性は度外視し、仮にそのようなものが本当に開発されたと想定してください）。

この『安全グッズ』は、ICカード（キャッシュカード大のプラスチック製カード）のような大きさで、もし所持していれば、歩行中・乗車中にかかわらず、事故になる直前に車側のブレーキが自動的にかかります。

ただし、この『安全グッズ』は、必ず動作するとは限りません。

- この『安全グッズ』の動作が 成功した場合には、衝突を防止し、あなたは死亡を回避することができますが、

- この『安全グッズ』がうまく動作せず 失敗した場合には、あなたは交通事故に遭ってしまい、24時間以内に死亡してしまいます。

安全グッズの使用料 について

この『安全グッズ』を所有するためには、「使用料」を支払わなくてはならず、その使用料をあなた自身が支払う必要があります。

『安全グッズ』の使用料は次のようになっています。

使用料は1年単位の契約です（1年後、継続して使用する場合は、再度使用料が必要です）。

使用料は1年分の料金を前払いで一括支払いしていただきます。

使用料を支払って契約した1年間の間に、仮に交通事故に遭わなかったとしても、使用料は返金されません。

質問の内容

あなたは、この交通事故による死亡リスクをへらすことができる『安全グッズ』の使用料について、いくらなら支払う意思があるのかをおたずねします。

留意点

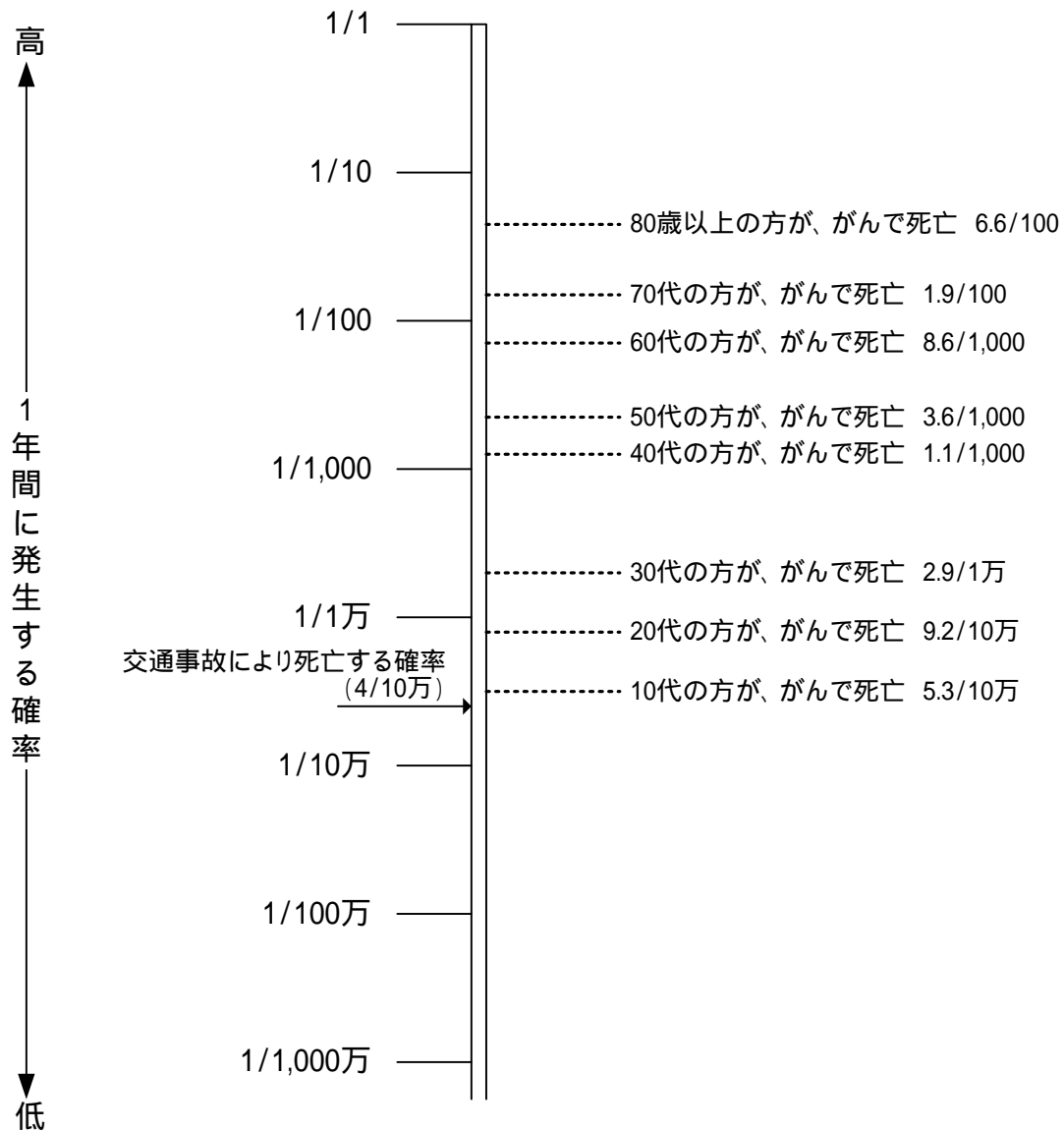
ただし、ご回答に際して以下の点に留意して下さい。

「安全グッズ」は、使用料の他には一切の費用はかかりません。

「安全グッズ」を所有する、しないにかかわらず、万が一あなたが交通事故にあってしまい、「普通の処置」を受けるとしても、治療費等の費用負担は発生しないものとしてお考え下さい。

さて、現在、日本では1年間に10万人あたり4人が交通事故で死亡しています。10万人あたり4人という大きさは、下図で示す「死亡確率の大きさについて(10万分の4)」のとおりです。

これは、普通の処置では、あなたが交通事故により死亡してしまう確率が1年間に10万分の4であることを示しています。また、年代別のがんによる死亡率と比較についてもご参考にしてください。



別ウインドウで説明した仮定について熟読し、理解できましたら、質問に進みます。
次へ進むのボタンを押して、次の質問にお進みください。

1分以上強制表示（前回調査より、対面調査でも説明の理解には数分程度要するため）

本ページの表示時間を計測し記録（いい加減な理解で回答したケースを判別するため）

<問8 - 1> 「安全グッズ」(成功確率50%) について

さて、先ほど想定していただいたとおり、「あなたが交通事故で死亡するリスクを削減できる新しい『安全グッズ』が開発されたとしたら」とします(技術的な現実性は無視し、そのようなものが本当に開発されたと想定してください)。

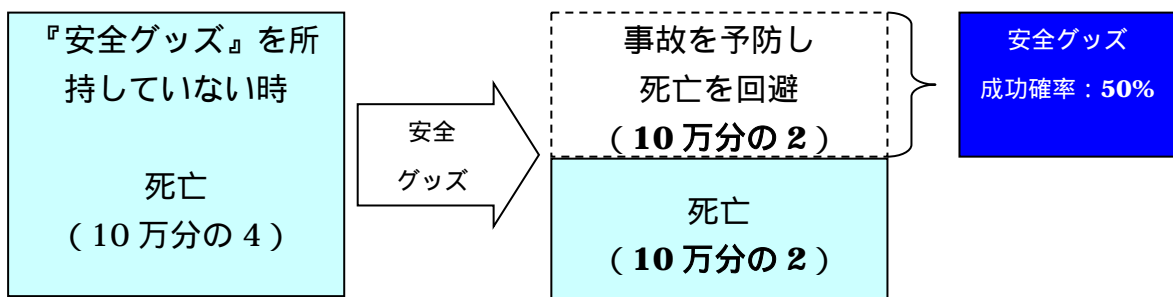
この『安全グッズ』は、ICカード(キャッシュカード大のプラスチック製カード)のような大きさで、もし所持していれば、歩行中・乗車中にかかわらず、事故になる直前に車側のブレーキが自動的にかかります。ただし、完璧に事故を予防することはできません。

この『安全グッズ』には普通の性能のものと高性能のものがあります。普通の性能の『安全グッズ』は、車のブレーキが自動的にかかる成功率が25%(成功確率25%)です。

高性能の『安全グッズ』は、車のブレーキが自動的にかかる成功率は50%(成功確率50%)です。

あなたの場合、この高性能の『安全グッズ』、すなわち**成功確率50%の『安全グッズ』が使用できる**としてお考え下さい。

いいかえれば、この『安全グッズ』を所持することにより、交通事故で死亡するリスクは10万分の4から**10万分の2**に低下するといえます。



なお、先ほどの仮定をもう一度ご覧になりたい場合は、[こちら](#)をクリックして下さい。

さて、あなたは、この『安全グッズ』の、1年間の使用料が 円なら支払ってもよいと思いますか。

なお、『安全グッズ』への使用料は、あなたご自身が支払い、他のものに支出できるお金がその分だけ減ってしまうことを考慮してお答えください。

<回答8 - 1> (SA)

- 1 使用料を支払ってもよい(問8 - 2へ)
- 2 支払いたくない(問8 - 3へ)

<問8 - 2 >

それでは **B** 円でも使用料を支払いますか。

<回答8 - 2 > (SA)

- 1 その使用料でも支払ってもよい (問8 - 4へ)
- 2 その使用料なら支払いたくない (問8 - 4へ)

<問8 - 3 >

それでは **C** 円なら使用料を支払いますか。

<回答8 - 3 > (SA)

- 1 その使用料なら支払ってもよい (問8 - 4へ)
- 2 その使用料でも支払いたくない (問8 - 5へ)

<問8 - 4 >

『安全グッズ』を使用したいと考えた理由は何ですか。(あてはまるもの全て)

<回答8 - 4 > (MA)(問10へ)

- 1 交通事故に遭う確率を少しでも低くしたいから
- 2 交通事故で負傷したときに治る確率を少しでも高めたいから
- 3 家族や周囲の人に迷惑を掛けたくないから
- 4 『安全グッズ』の効果が信用できそうだから
- 5 その他(具体的に)

<問8 - 5 >

『安全グッズ』を使用しない理由は何ですか。

<回答8 - 5 > (SA)(問10へ)

- 1 それほどの金額を出すべきものと思わないから
- 2 『安全グッズ』に本当に効果があるとはどうしても思えないから
- 3 『安全グッズ』を持つことで、かえって運転が不注意になりそうだから
- 4 私は、そもそもこのような事故に遭わないとおもうから
- 5 その他(具体的に)

<以下、問9回答者にのみ表示>

交通事故に対する「特別な治療」について

次の質問は、交通事故によって瀕死の状態となることを想定して質問に回答いただくものです。

もし、あなたが交通事故に遭遇してしまい、瀕死の状態になってしまったと仮定して下さい。この場合、通常行われている「普通の処置」では、24時間以内に死亡してしまうような状態とお考え下さい。

「普通の処置」とは、交通事故で病院に搬送された際、一般的に行われている処置（手術、投薬、医療機器の利用）をイメージしてください。ここでは、その「普通の処置」では、手の施しようがない状態であると想定してください。

[ここをクリックして、想定していただく状況を別ウインドウで熟読してください。](#)

<以下、問9回答者にのみ、別ウインドウで表示>

交通事故に対する「特別な治療」について

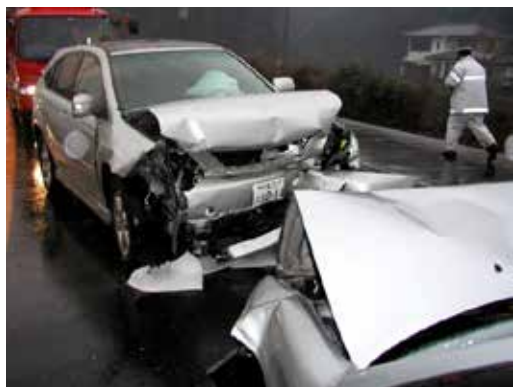
次の質問は、交通事故によって瀕死の状態となることを想定して質問に回答いただくものです。

もし、あなたが交通事故に遭遇してしまい、瀕死の状態になってしまったと仮定して下さい。この場合、通常行われている「普通の処置」では、24時間以内に死亡してしまうような状態とお考え下さい。

「普通の処置」とは、交通事故で病院に搬送された際、一般的に行われている処置（手術、投薬、医療機器の利用）をイメージしてください。ここでは、その「普通の処置」では、手の施しようがない状態であると想定してください。

交通事故により死亡してしまう状態のイメージ

- ・すぐに気を失い、24時間以内に死亡します。



そのような状況をふまえ、次の仮定をよくお読み下さい。

特別な治療 について

ここで、仮に、現在研究が進められている最先端の医療技術（最先端の手術方法や手術機器、最新の薬や医療機器）を使った「特別な治療」があるものとします。

- この治療に 成功した場合には、すぐに完治することができます。
- この治療に 失敗した場合には、24時間以内に死亡してしまいます。

成功する確率は、事故の状況によりけりですが、25%の場合と50%の場合があります。

特別な治療の申し込み について

この特別な治療を受けるためには、あらかじめ「交通事故で瀕死の場合、特別な治療をして欲しい」と「申し込み」しておかなければならず、申し込みには申し込み手数料が必要です。その『申し込み手数料』をあなた自身が支払う必要があります。

申し込み手数料の内容は次のようになっています。

「特別な治療の申し込み」は1年間有効です(1年後は改めて申し込みが必要)。

『申し込み手数料』は1年分を前払いとし、一括でお支払いいただきます。

「特別な治療の申し込み」した1年間の間に、もし交通事故にあわなくても、手数料は返金されません。

交通事故にあってからでは「特別な治療の申し込み」はできません。

「特別な治療の申し込み」をしておけば、日本国内のどこで事故にあっても「特別な治療」を受けられるものとします。

質問の内容

あなたは、この『特別な治療の申し込み』の申し込み手数料について、いくらなら支払う意思があるのかをおたずねします。

留意点

ただし、ご回答に際して以下の点に留意して下さい。

「普通の処置」「特別な治療」とともに治療費等は無料で、あなたの費用負担はありません。

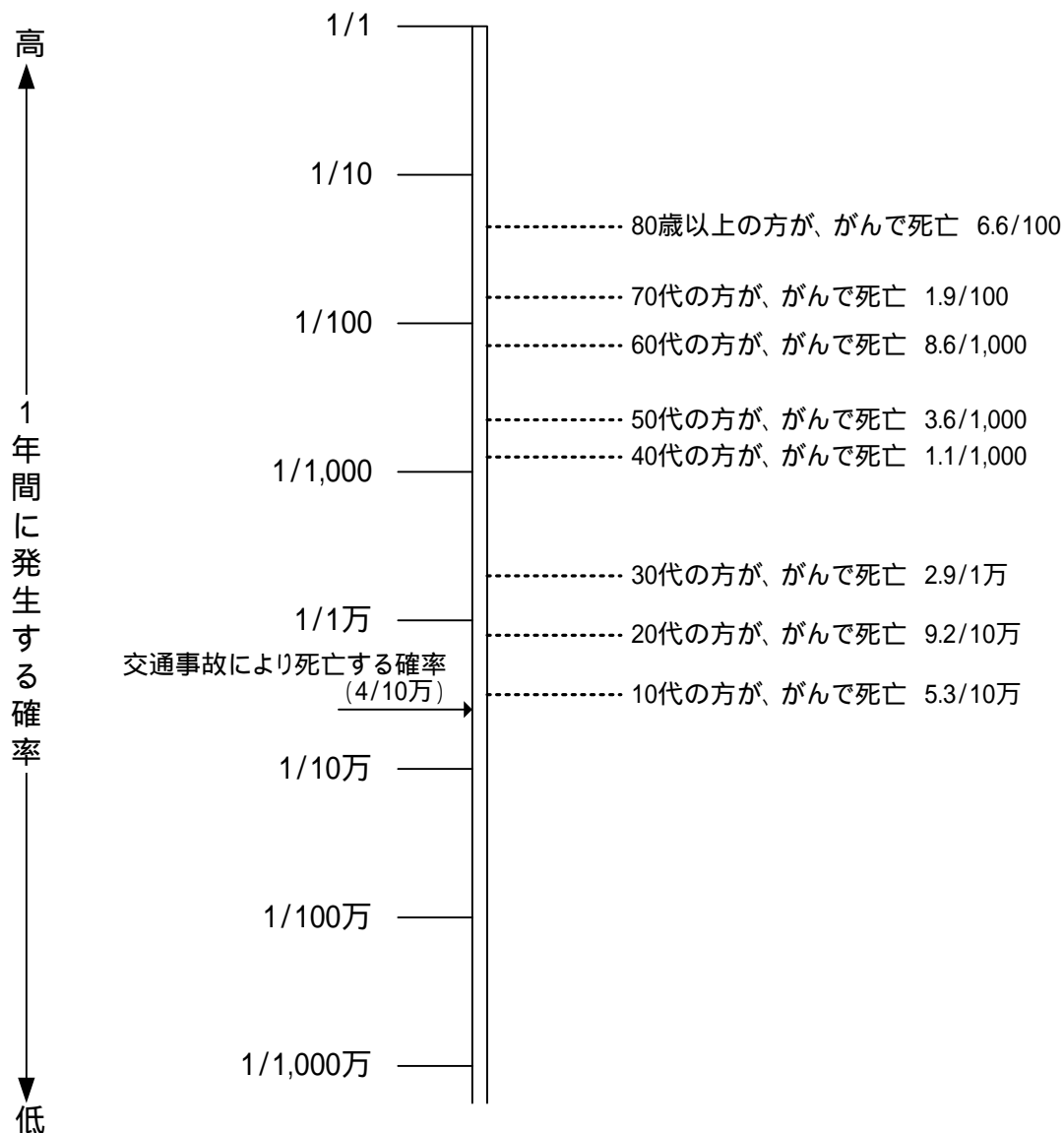
「特別な治療の申し込み」をしていなければ、「普通の処置」しか受けられません。

ただし、その場合も治療費等は無料とし、あなたの費用負担はないものとしてお考え下さい。

この「特別な治療の申し込み」は、交通事故にあう確率そのものを減らすものではありません。あくまで、交通事故で瀕死の重傷を負った場合に、死亡する確率を減らすことのできる「特別な治療」を受けられる権利です。

さて、現在、日本では1年間に10万人あたり4人が交通事故で死亡しています。10万人あたり4人という大きさは、下図で示す「死亡確率の大きさについて(10万分の4)」のとおりです。

これは、普通の処置では、あなたが交通事故により死亡してしまう確率が1年間に10万分の4であることを示しています。また、年代別のがんによる死亡率と比較についてもご参考にしてください。



別ウインドウで説明した仮定について熟読し、理解できましたら、質問に進みます。
次へ進むのボタンを押して、次の質問にお進みください。

1分以上強制表示（前回調査より、対面調査でも説明の理解には数分程度要するため）

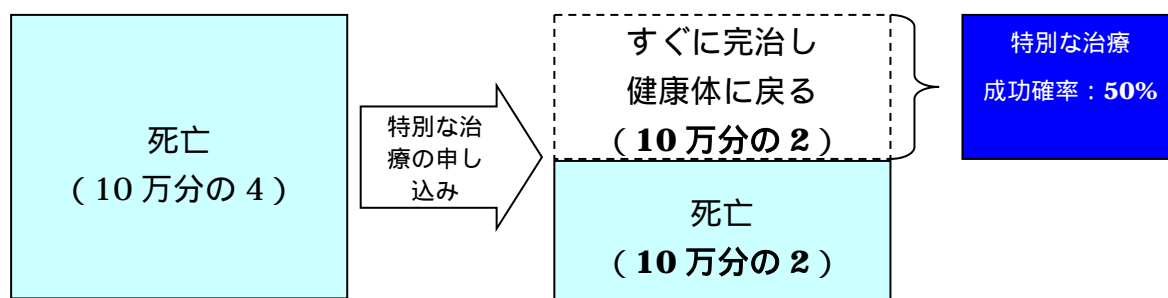
本ページの表示時間を計測し記録（いい加減な理解で回答したケースを判別するため）

<問9 - 1> 「特別な治療」(成功確率50%) について

さて、先ほどの仮定において、あなたは、「もし交通事故で瀕死の状態となった場合には特別な治療を受けたい」という申し込みができる、とします。「特別な治療」の成功確率は、25%の場合と50%の場合がありますが、あなたの場合、成功確率50%の「特別な治療」の申し込みできると仮定してください。

いいかえれば、「特別な治療を受けたい」と事前に申し込んでおけば、交通事故により死亡する確率は図のとおり、10万分の4から 10万分の2に低下するといえます。

ただし、実際に交通事故にあってしまった後には申し込みはできません。あくまで事前に申し込んでおく必要があります。



なお、先ほどの仮定をもう一度ご覧になりたい場合は、[こちら](#)をクリックして下さい。

さて、あなたは、「交通事故で瀕死の状態になった場合に『特別な治療』を受ける」という『申し込みの手数料』(申し込みから1年間有効)が 円なら、申し込んでもよいと思いますか。

なお、「特別な治療」の『申し込みの手数料』は、あなたご自身が支払い、他のものに支出できるお金がその分だけ減ってしまうことを考慮してお答えください。

また、繰り返しになりますが、「普通の処置」を受ける場合も、「特別な治療」を受ける場合も、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援(例えば生活保護等)を受けられるため、あなたの費用負担はないとしてお考え下さい。

<回答9 - 1> (SA)

- 1 手数料を払って申し込んでもよい(問9 - 2へ)
- 2 申し込みたくない(問9 - 3へ)

<問9 - 2>

それでは 円でも申し込みますか。

<回答9 - 2> (SA)

- 1 その金額でも申し込んでもよい(問9 - 4へ)

2 その金額なら申し込みたくない(問9 - 4へ)

<問9 - 3 >

それでは 円であれば申し込みますか。

<回答9 - 3 > (SA)

- 1 その金額なら申し込んでもよい(問9 - 4へ)
- 2 その金額でも申し込みたくない(問9 - 5へ)

<問9 - 4 >

特別な治療の『申し込み』をしたいと考えた理由は何ですか。あてはまるもの全ておえらびください

<回答9 - 4 > (MA)(問10へ)

- 1 交通事故に遭う確率を少しでも低くしたいから
- 2 交通事故で負傷したときに治る確率を少しでも高めたいから
- 3 家族や周囲の人に迷惑を掛けたくないから
- 4 「特別な治療」は信用できそうだから
- 5 「特別な治療」の『申し込み』をしておかなければ、「普通の処置」も「特別な治療」も無料で受けられないと思ったから

<問9 - 5 > 特別な治療を『申し込み』しない理由は何ですか。

<回答9 - 5 > (SA)(問10へ)

- 1 それほどの金額を出すべきものと思わないから
- 2 「特別な治療」で本当に治るとはどうしても思えないから
- 3 「特別な治療」を『申し込んで』おくことで、運転が不注意になりそうだから
- 4 私は、そもそも交通事故に遭うような運転や歩行をしないから
- 5 その他(具体的に)

<問10> 交通事故の状況の想定

さて、この1つ前の設問で、「あなたが交通事故で瀕死の状態になった場合」を仮定して質問にお答えいただきました。その状態を仮定した時、あなたはどのような状況（シチュエーション（どのような状況で）で交通事故にあったと想定しましたか？ 次のうち、想定した状況にもっとも近いものを一つお選び下さい。

<回答10> (SA)

- 1 「自分が運転している車(又はバイク)が事故に遭遇し、瀕死の状態になってしまった」と想定した
- 2 「家族や友人の運転している車に同乗して(助手席や後部座席に座って)いる時に、車が事故に遭遇し、瀕死の状態になってしまった」と想定した
- 3 「道路を歩いている時に、走ってきた車に轢かれて、瀕死の状態になってしまった」と想定した
- 4 「自転車に乗っている時に、走ってきた車に轢かれて、瀕死の状態になってしまった」と想定した
- 5 上記以外の状況を想像した(具体的に)

以下の問 1 1 ~ 問 2 2 のいずれか 1 群のみ回答
設問別割付数に従い、問 1 1 ~ 問 2 2 のいずれかを無作為に割りつける。
なお、問 1 1 ~ 問 1 7 と問 1 8 ~ 問 2 2 では、事前に見せる説明文が異なるので注意

<以下、問11～問17の回答者に表示>

交通事故で負傷した時に受けられる「特別な治療」について

ここからの質問は、あなたが仮に交通事故にあい、負傷してしまったと想定してください。先ほどの質問では、瀕死の状態ですが、今回は負傷し、怪我の治療を受ける状況を想定していただきます。先ほどの質問とは、少し異なりますので、よくお読みください。

[ここをクリックして、想定していただく状況を別ウインドウで熟読してください。](#)

<以下、問11～問17の回答者に、別ウインドウで表示>

交通事故で負傷した時に受けられる「特別な治療」について

ここからの質問は、あなたが仮に交通事故にあい、負傷してしまったと想定してください。先ほどの質問では、瀕死の状態ですが、今回は負傷し、怪我の治療を受ける状況を想定していただきます。先ほどの質問とは、少し異なりますので、よくお読みください。

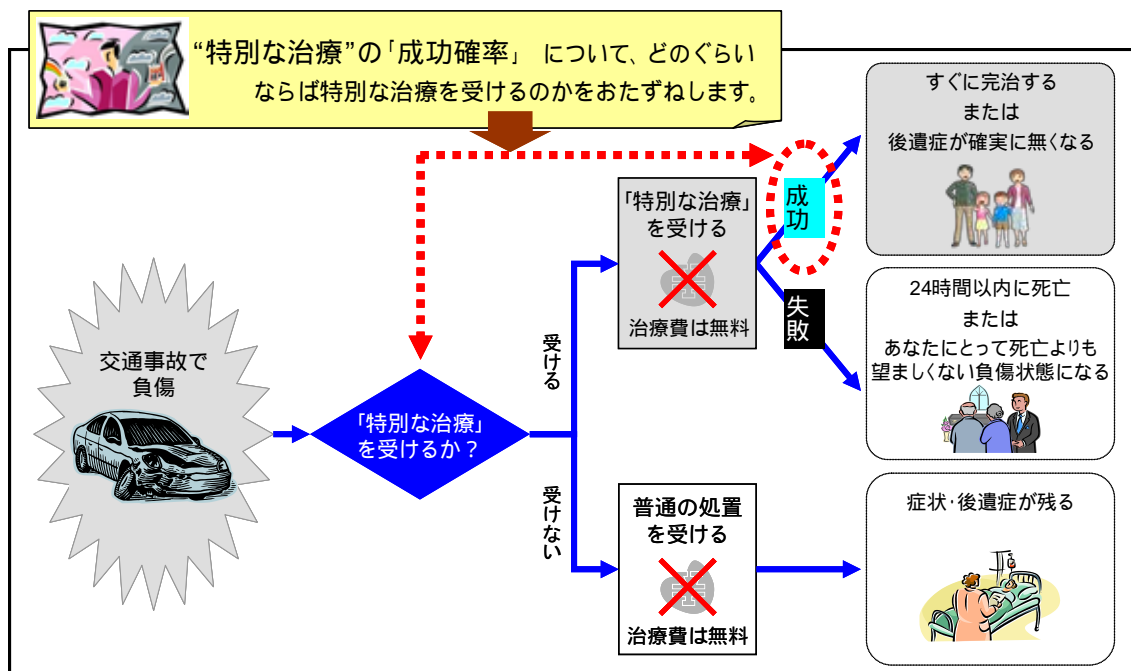
特別な治療 について

交通事故にあい、負傷してしまった時、あなたは「普通の処置」のみを受けるか、それとも現在研究が進められている最先端の医療技術を使った「特別な治療」を受けられるかを、選択することができます。

「普通の処置」を受ける場合は、ある負傷状態(症状・後遺症)が確実に残ったり、場合によっては死亡することもあります。少なくとも事故の前の状態にはもどれません。

「特別な治療」を受ける場合、どんな負傷に対して、

- 成功した時には、すぐに完治するか、または後遺症が確実に無くなりますが、
- 失敗した時には、24時間以内に死亡するか、またはあなたにとって死亡よりも望ましくない負傷状態(重度の負傷状態や重度の後遺症が残る状態)となってしまう。



質問の内容

次の質問では、あなたが交通事故で負傷した際、「特別な治療」の『成功確率』について、どのくらいならば「特別な治療」を受けるのかをおたずねします。

留意点

ご回答に際して以下の点に留意してください。

「普通の処置」「特別な治療」とともに治療費は無料で、あなたの費用負担はありません。後遺症による治療費・介護費、収入の減少、その他金銭的な出費(病院までのタクシー代など)なども別途支払われ、あなたの費用負担は無いものと想定してください。

別ウインドウで説明した仮定を熟読し、理解できましたら、質問に進みます。[次へ進む](#)のボタンを押して、次の設問にお進みください。

1分以上強制表示(前回調査より、対面調査でも説明の理解には数分程度要するため)

本ページの表示時間を計測し記録(いい加減な理解で回答したケースを判別するため)

<以下、問18～問22の回答者に表示>

交通事故で負傷した時に受けられる「特別な治療」について

ここからの質問は、あなたが仮に交通事故にあい、負傷してしまったと想定してください。先ほどの質問では、瀕死の状態ですが、今回は負傷し、怪我の治療を受ける状況を想定していただきます。先ほどの質問とは、少し異なりますので、よくお読みください。

[ここをクリックして、想定していただく状況を別ウインドウで熟読してください。](#)

<以下、問18～問22の回答者に、別ウインドウで表示>

交通事故で負傷した時に受けられる「特別な治療」について

ここからの質問は、あなたが仮に交通事故にあい、負傷してしまったと想定してください。先ほどの質問では、瀕死の状態ですが、今回は負傷し、怪我の治療を受ける状況を想定していただきます。先ほどの質問とは、少し異なりますので、よくお読みください。

特別な治療 について

交通事故にあい、負傷してしまった時、「普通の処置」のみを受けるか、それとも現在研究が進められている最先端の医療技術を使った「特別な治療」を追加で受けるかどうかを、選択することができます。

「普通の処置」のみを受ける場合は、一定期間の入院が必要であり、なんらかの後遺症が残ることもあります。

「特別な治療」を追加で受ける場合、どんな負傷に対しても、

- 1日の入院のみで、すぐに退院できます。
- さらに、後遺症は残りません。

質問の内容

次の質問では、あなたが交通事故で負傷した際、「特別な治療」の『治療費』について、いくらぐらいの金額ならば「特別な治療」を受けるのかをおたずねします。

留意点

ご回答に際して以下の点に留意してください。

「普通の処置」しか受けない場合、治療費は無料で、あなたの費用負担はありません。

「特別な治療」を追加で受ける場合、自費による治療費が必要で、全額をご自身で負担いただきます（健康保険や医療保険は効かないものとします）。

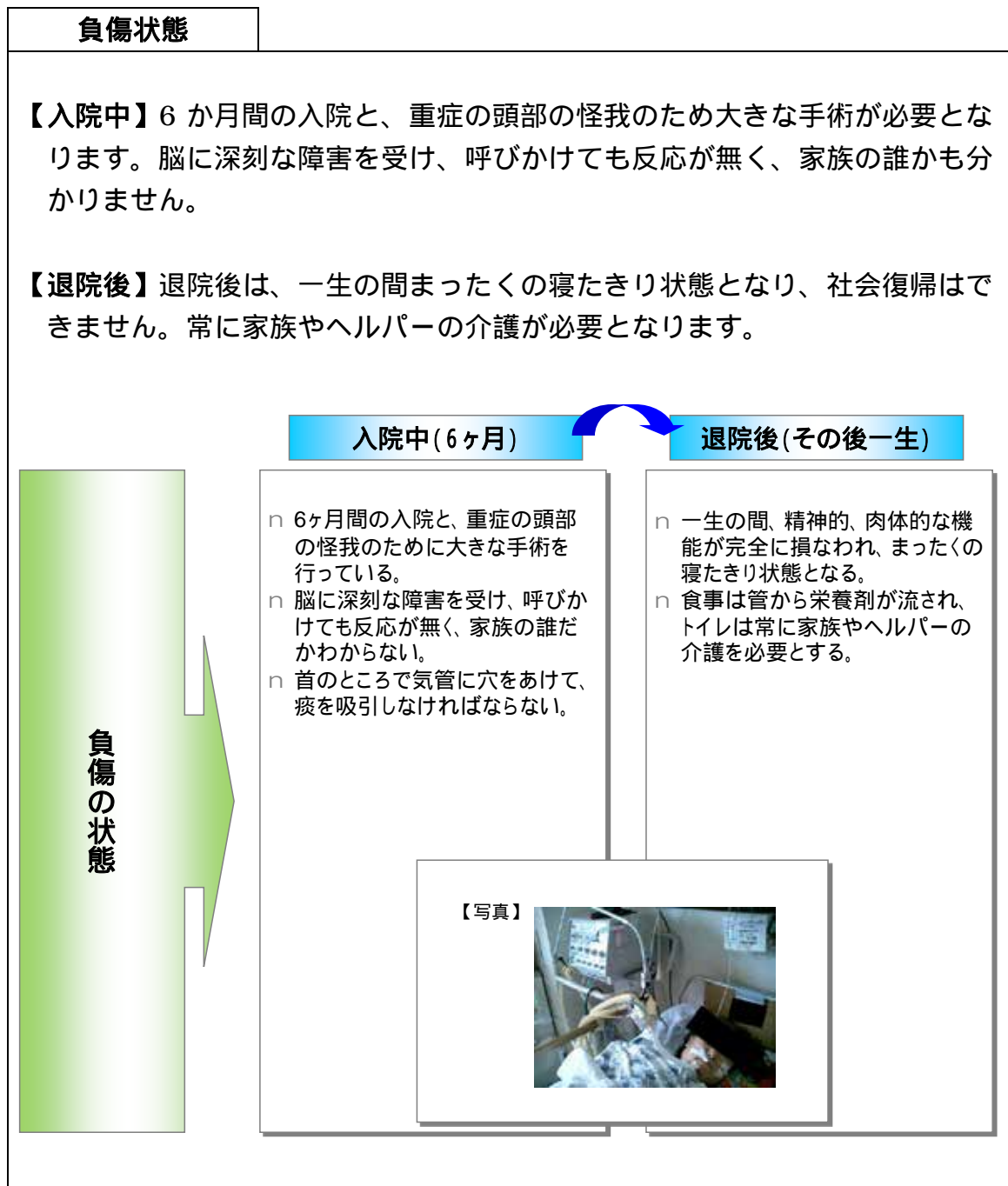
別ウインドウで説明した仮定を熟読し、理解できたら、質問に進みます。のボタンを押して、次の質問にお進みください。

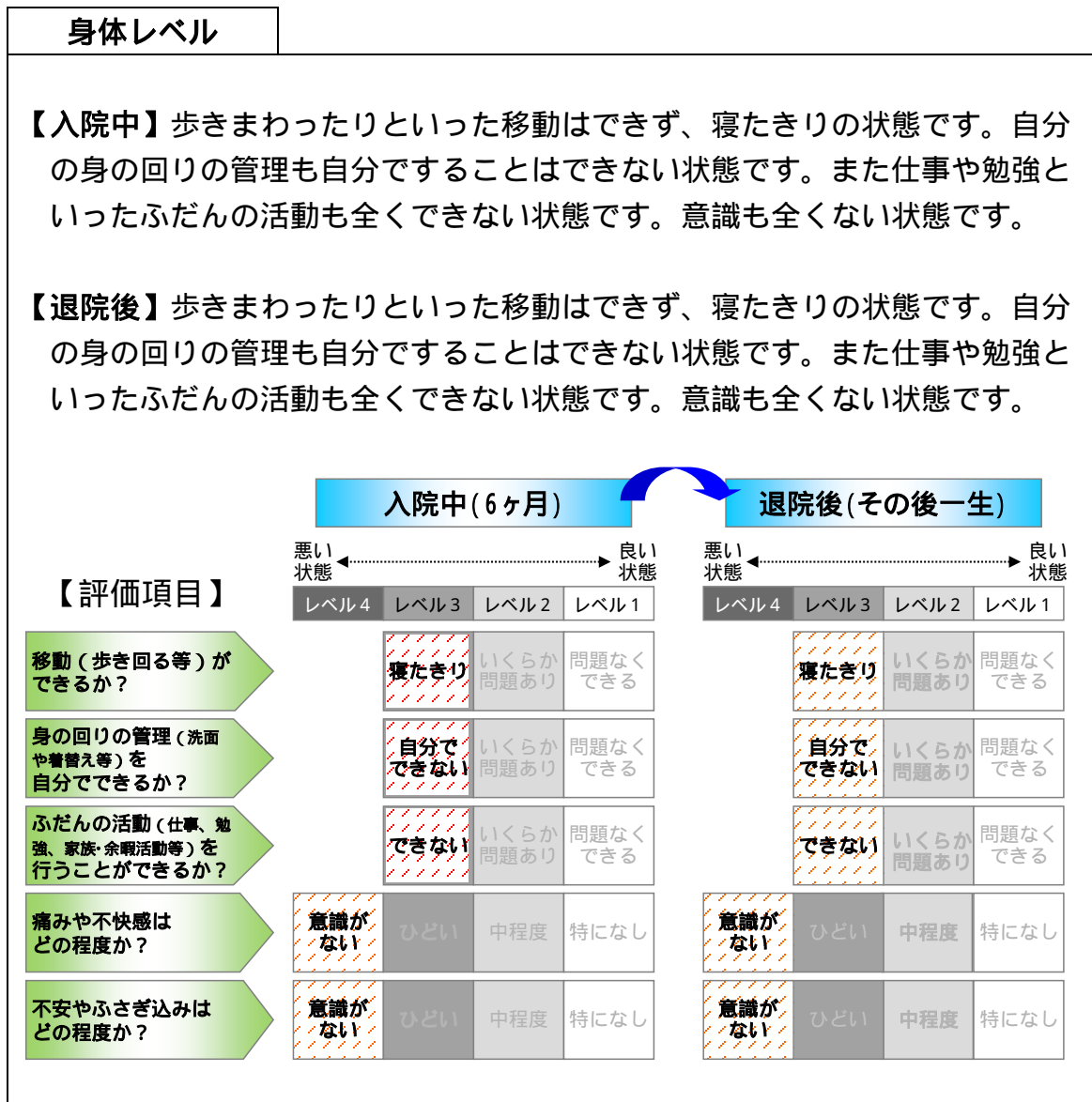
1分以上強制表示（前回調査より、対面調査でも説明の理解には数分程度要するため）

本ページの表示時間を計測し記録（いい加減な理解で回答したケースを判別するため）

<問11-1> 交通事故で負傷した場合（負傷区分Q）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。
あなたは、病院で治療を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。





< 回答 1 1 - 1 >

さて、交通事故でこのような負傷状態となってしまったと想定した場合、交通事故で死亡してしまうことと比較すると、次のどちらの感じ方があなたの考え方により近いですか。ただし、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険（例えば自賠責保険等）や公的支援（例えば生活保護等）を受けられるため、あなたの費用負担はないものと想定した上で、あてはまる方を一つお選び下さい（SA）

- 1 このような負傷状態になっても、死亡するよりマシである（問 1 1 - 2 へ）
- 2 このような負傷状態になるぐらいなら、死亡したほうがマシである（問 1 1 - 3 へ）

<問11-2> 特別な治療の選択について

さて、ここで、あなたは、無料で「特別な治療」を追加で受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではなく、成功することもあるれば、失敗することもあります。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることをふまえてお考え下さい。

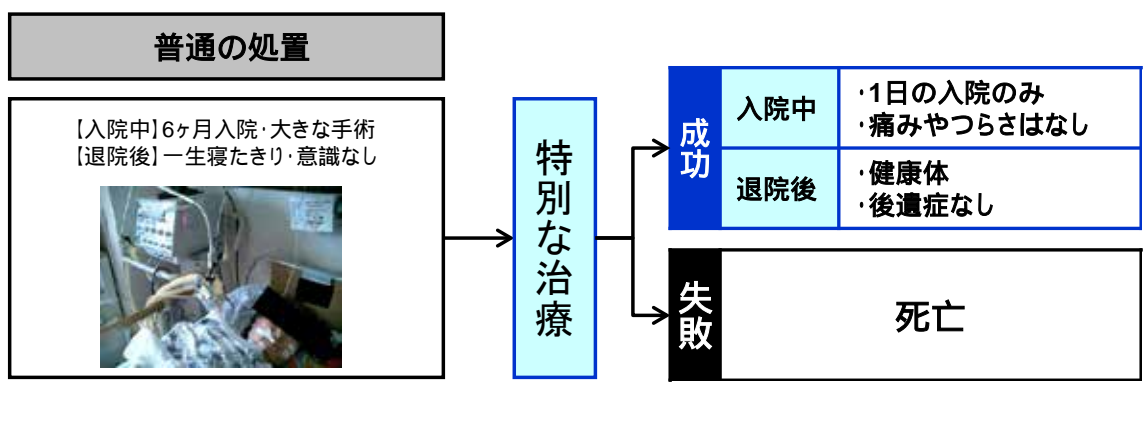
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに回復できます。

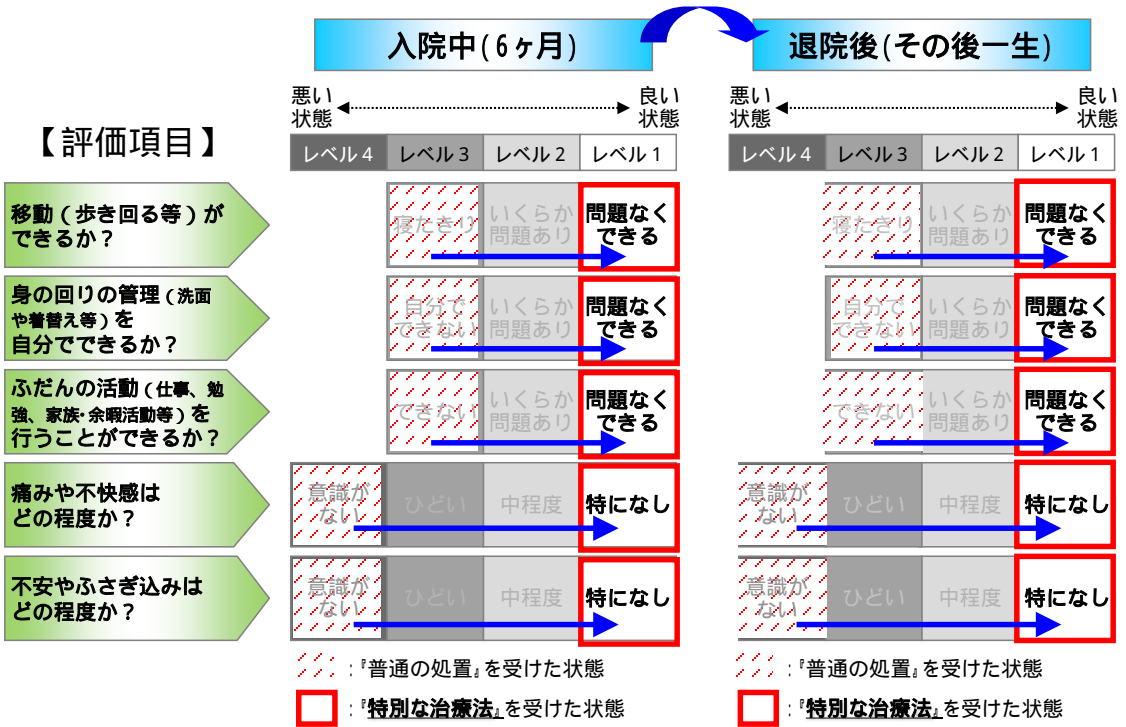
【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、即座に死亡します。



「特別な治療」が成功した場合の身体レベル



< 回答 1 1 - 2 >

もし、あなたが交通事故で負傷して、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの成功確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

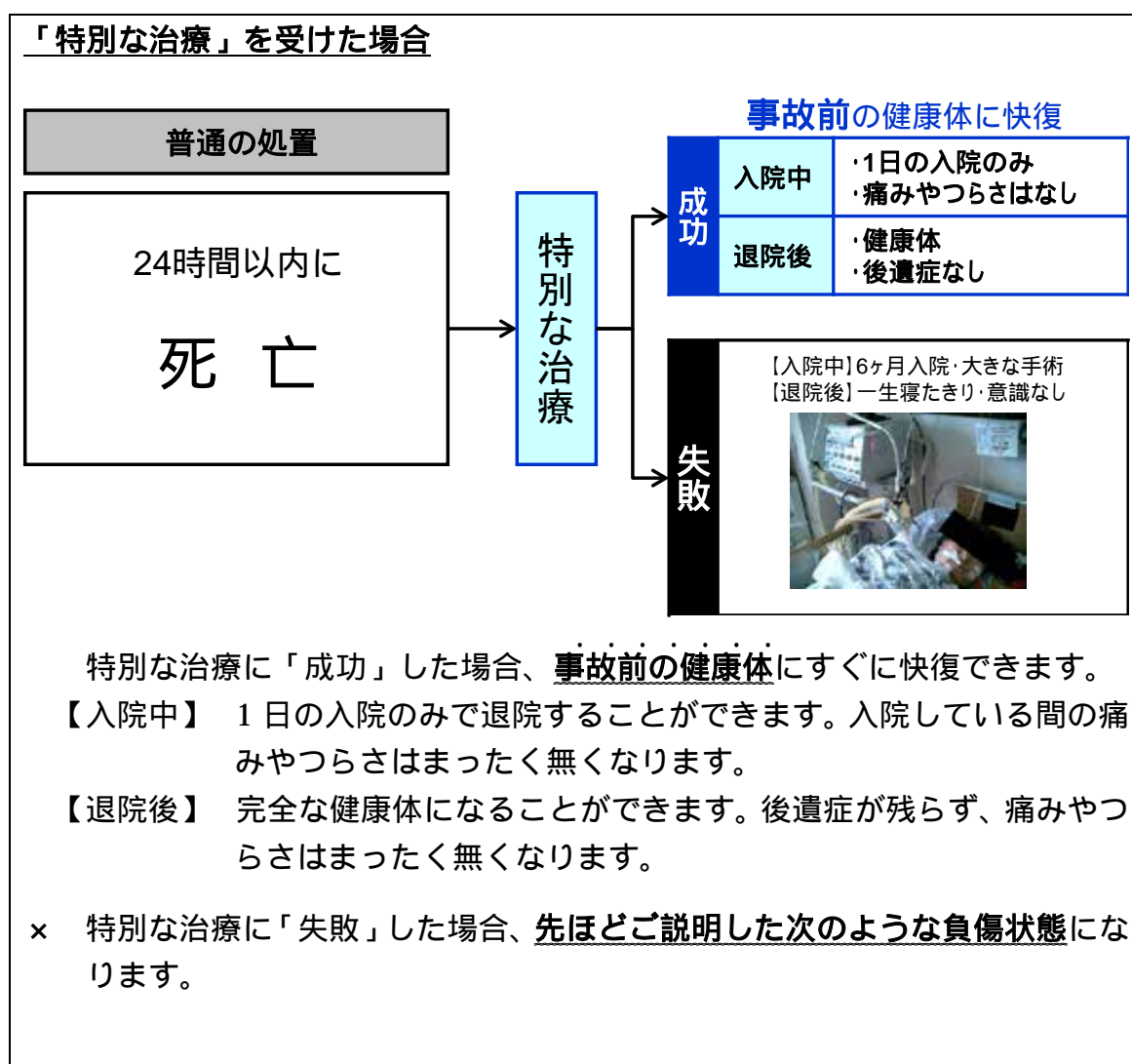
(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)(問 2 3 へ)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問11-3> 「特別な治療」の選択について

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。あなたがこのまま「普通の処置」を受けた場合、24時間以内に死亡してしまうような状況であると想定してください。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ 失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。



「特別な治療」が失敗した場合の身体レベル

【入院中】6ヶ月程度の入院が必要となります。その間、歩きまわったりといった移動はできず、寝たきりの状態になります。自分の身の回りの管理も自分ではできない状態になります。また仕事や勉強といったふだんの活動も全くできない状態となり、意識も全くない状態になります。

【退院後】退院後も、歩きまわったりといった移動はできず、寝たきりの状態になります。自分の身の回りの管理も自分ではできない状態になります。また仕事や勉強といったふだんの活動も全くできない状態です。意識も全くない状態になります。このような状態がその後一生続く状態となります。

【評価項目】	入院中(6ヶ月)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 ← → 良い状態				悪い状態 ← → 良い状態			
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?	寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる	寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる		
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?	自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる	自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる		
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?	できない	いづらか問題あり	問題なくできる	できない	いづらか問題あり	問題なくできる		
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

< 回答 1 1 - 3 >

もし、あなたが交通事故で、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)(問 2 3 へ)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問12-1> 交通事故で負傷した場合（負傷区分W）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で治療を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。



身体レベル

【入院中】歩きまわったりといった移動はできず、寝たきりの状態です。自分の身の回りの管理も自分ではできない状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も全くできない状態です。意識も全くない状態です。

【退院後】歩きまわったりといった移動困難な状態です。自分の身の回りの管理も自分では困難な状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も差し支えがある状態です。痛みや不快感が常にある状態で、心理的にもひどい不安や塞ぎこんだ状態です。

【評価項目】	入院中(3~6ヶ月)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 ←-----→ 良い状態				悪い状態 ←-----→ 良い状態			
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?		できない	いくらか問題あり	問題なくできる		できない	いくらか問題あり	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

< 回答 1 2 - 1 > さて、交通事故でこのような負傷状態となってしまったと想定した場合、交通事故で死亡してしまうことを比較すると、次のどちらの感じ方があなたの考え方により近いですか。ただし、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援(例えば生活保護等)を受けられるため、あなたの費用負担はないものと想定した上で、あてはまる方を一つお選び下さい(SA)

- 1 このような負傷状態になっても、死亡するよりマシである(問12-2へ)
- 2 このような負傷状態になるぐらいなら、死亡したほうがマシである(問12-3へ)

<問12 - 2> 「特別な治療」の選択について

さて、ここで、あなたは、普通の処置のほかに、無料で「特別な治療」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではなく、成功することもあるれば、失敗することもあります。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

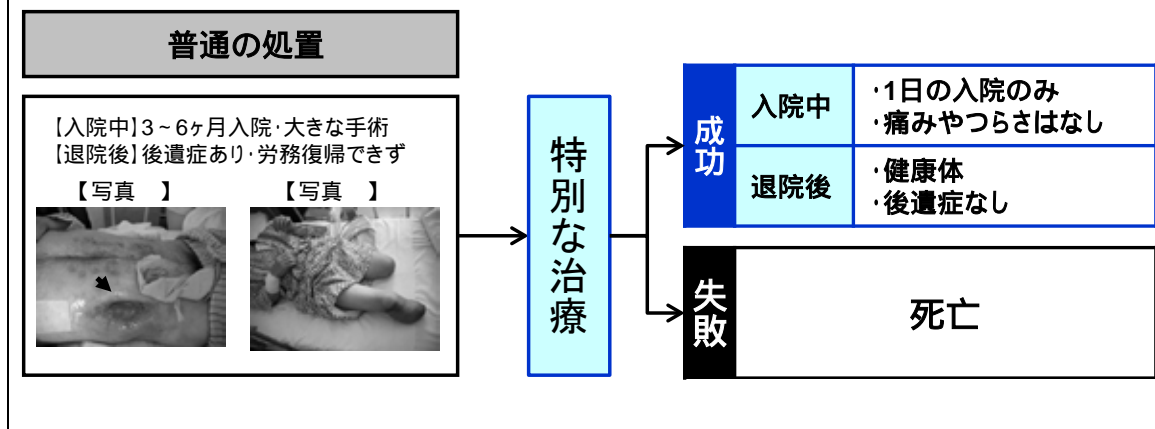
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに回復できます。

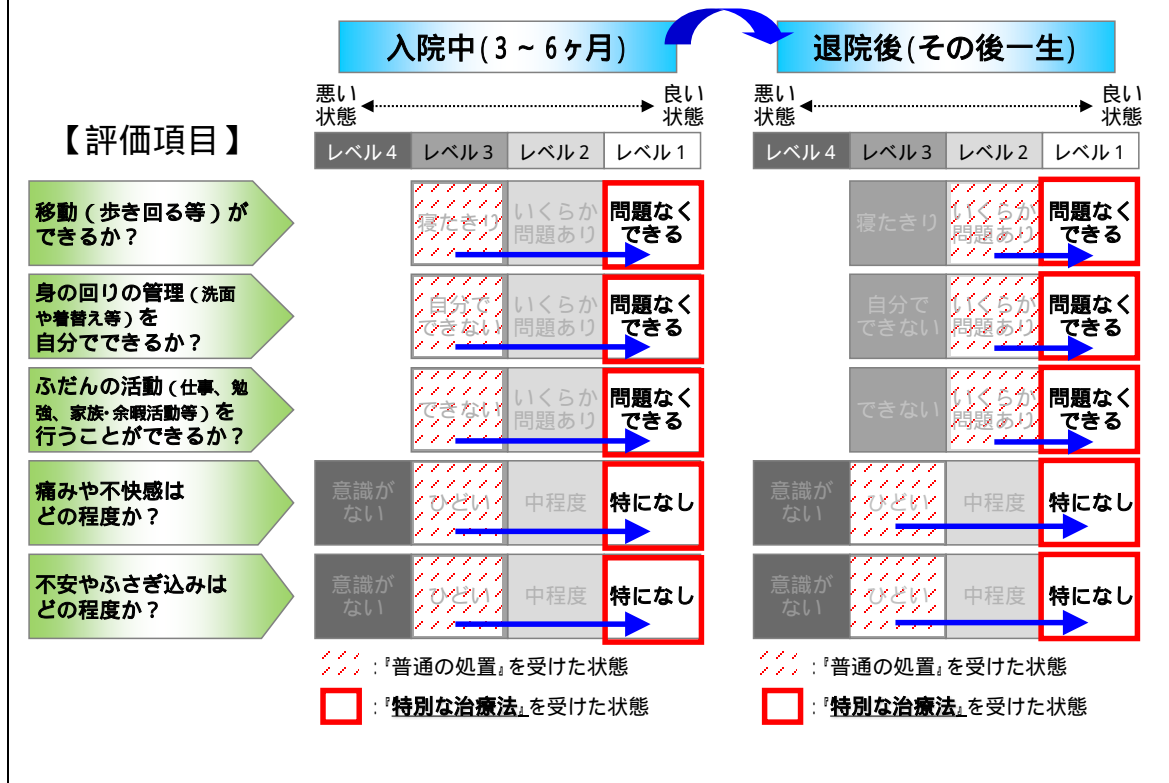
【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、即座に死亡します。



「特別な治療」が成功した場合の身体レベル



< 回答 1 2 - 2 >

もし、あなたが交通事故で負傷して、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)(問 2 3 へ)

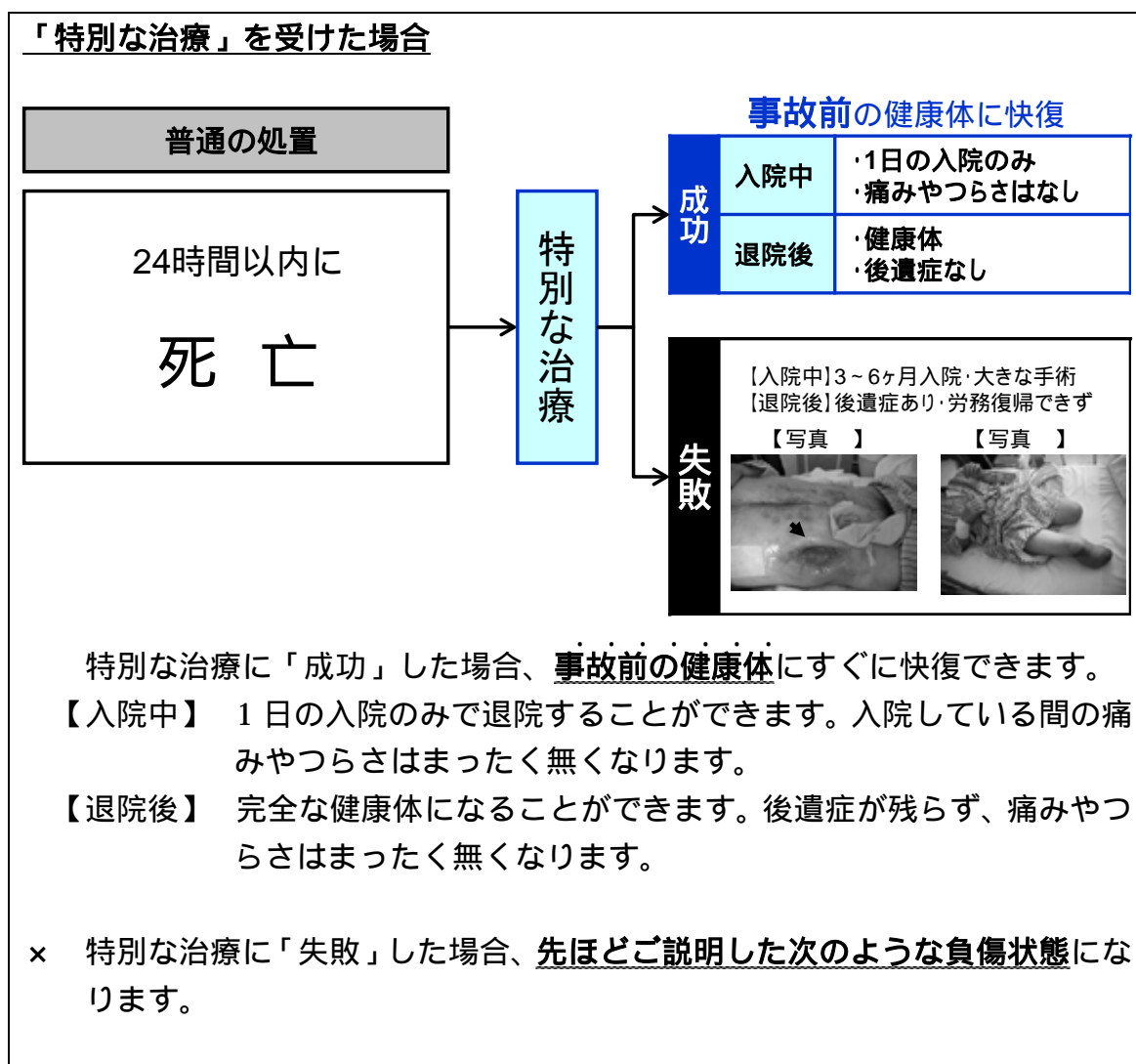
	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問12-3> 「特別な治療」の選択について

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたがこのまま「普通の処置」を受けた場合、24時間以内に死亡してしまうような状況であると想定してください。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ 失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。



「特別な治療」が失敗した場合の身体レベル

【入院中】3ヶ月～6ヶ月の入院が必要となります。その間、歩きまわったりといった移動はできず、寝たきりの状態になります。自分の身の回りの管理も自分ではできない状態になります。また仕事や勉強といったふだんの活動も全くできない状態です。意識も全くない状態になります。

【退院後】退院後も、歩きまわったりといった移動が困難な状態になります。自分の身の回りの管理も自分では困難な状態になります。また仕事や勉強といったふだんの活動も差し支えがある状態になります。痛みや不快感が常にある状態で、心理的にもひどい不安や塞ぎこんだ状態になります。このような後遺症が、その後一生続く状態となります。

【評価項目】	入院中(3～6ヶ月)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 ← → 良い状態				悪い状態 ← → 良い状態			
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?		寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる		寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?		自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる		自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?		できない	いづらか問題あり	問題なくできる		できない	いづらか問題あり	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

< 回答 1 2 - 3 >

もし、あなたが交通事故で、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

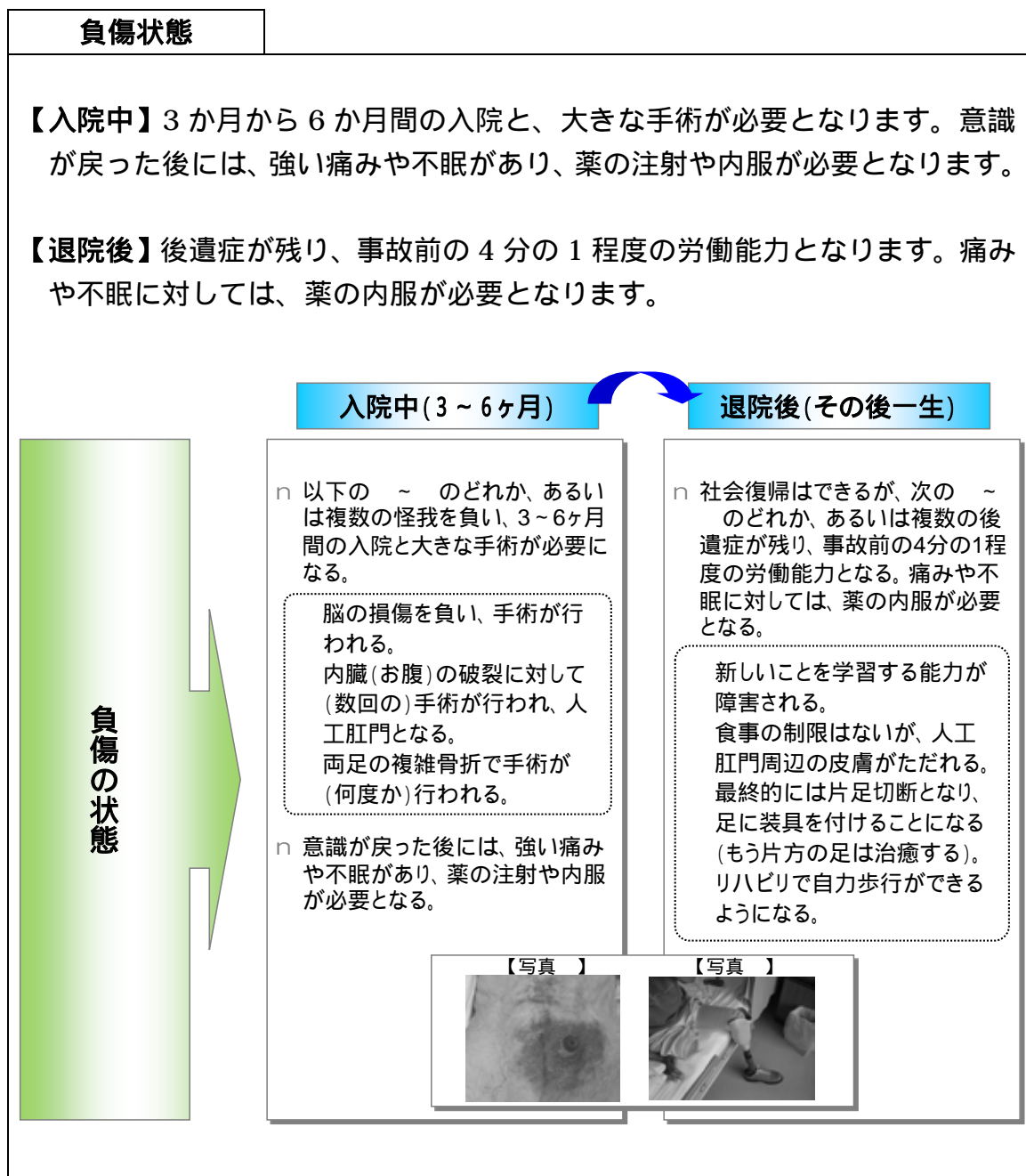
(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)(問 2 3 へ)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問13-1> 交通事故で負傷した場合（負傷区分E）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で治療を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。



身体レベル

【入院中】歩きまわったりといった移動はできず、寝たきりの状態です。自分の身の回りの管理も自分ではできない状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も全くできない状態です。痛みや不快感が常にある状態で、心理的にもひどい不安や塞ぎこんだ状態です。

【退院後】歩きまわったりといった移動困難な状態です。自分の身の回りの管理も自分では困難な状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も差し支えがある状態です。痛みや不快感が多少ある状態で、心理的にも多少の不安を感じたり塞ぎこむこともある状態です。

【評価項目】	入院中(3～6ヶ月)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 ←				← 良い状態			
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?		できない	いくらか問題あり	問題なくできる		できない	いくらか問題あり	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

<回答13-1>さて、交通事故でこのような負傷状態となってしまったと想定した場合、交通事故で死亡してしまうことを比較すると、次のどちらの感じ方があなたの考え方により近いですか。ただし、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援(例えば生活保護等)を受けられるため、あなたの費用負担はないものと想定した上で、あてはまる方を一つお選び下さい(SA)

- 1 このような負傷状態になっても、死亡するよりマシである(問13-2へ)
- 2 このような負傷状態になるぐらいなら、死亡したほうがマシである(問13-3へ)

<問13 - 2> 「特別な治療」の選択について

あなたは、普通の処置のほかに、無料で「特別な治療」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではなく、成功することもあるれば、失敗することもあります。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

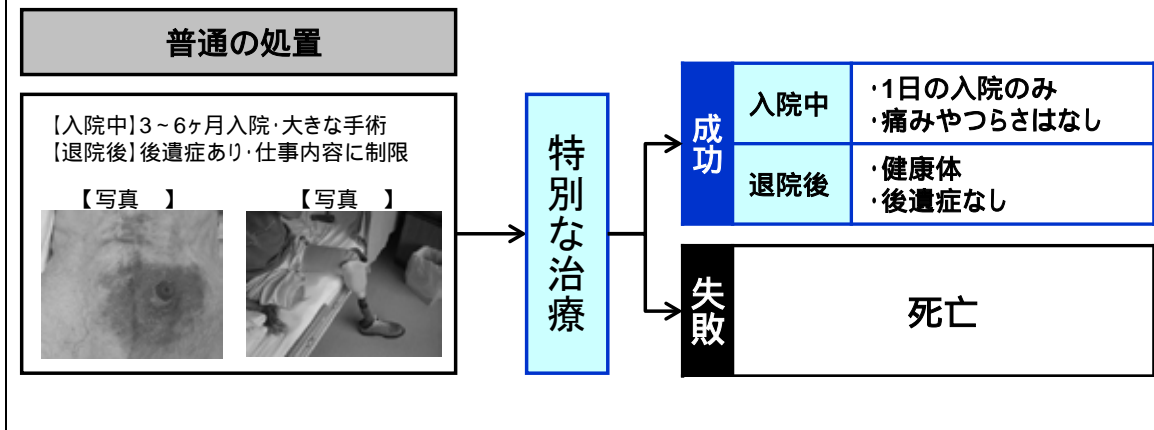
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに回復できます。

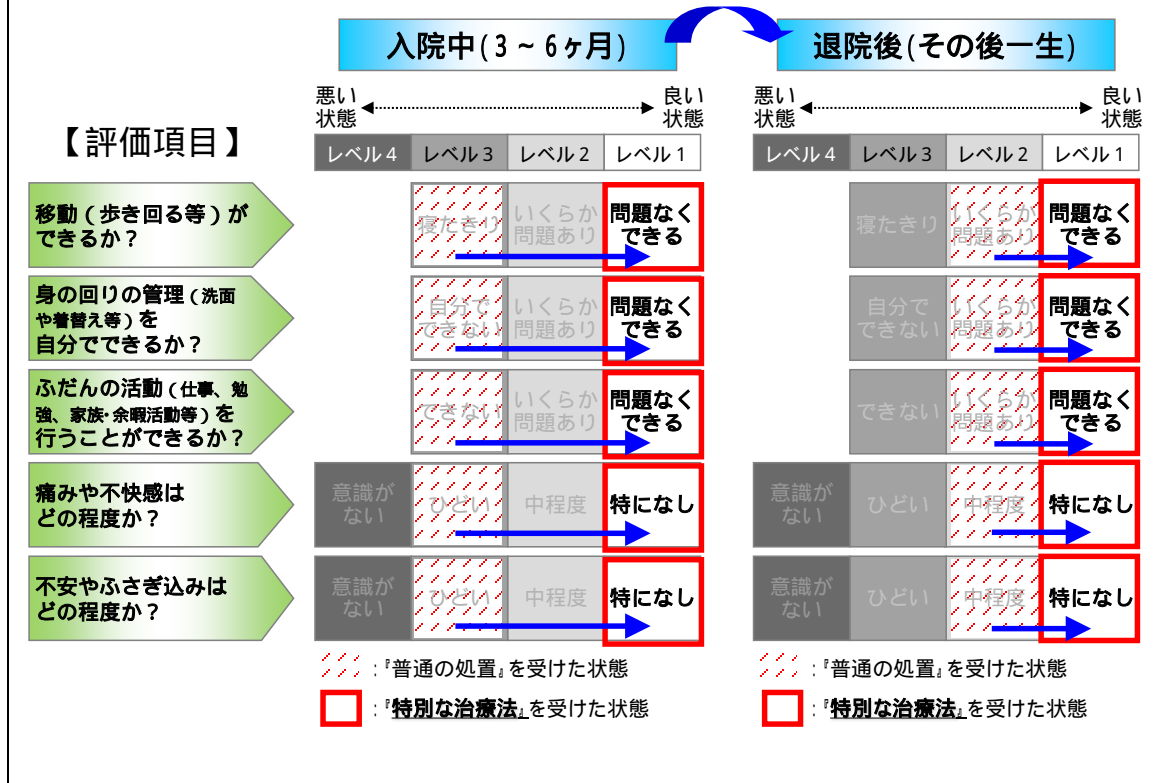
【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、即座に死亡します。



「特別な治療」が成功した場合の身体レベル



< 回答 13 - 2 >

もし、あなたが交通事故で負傷して、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)。(問 23 へ)

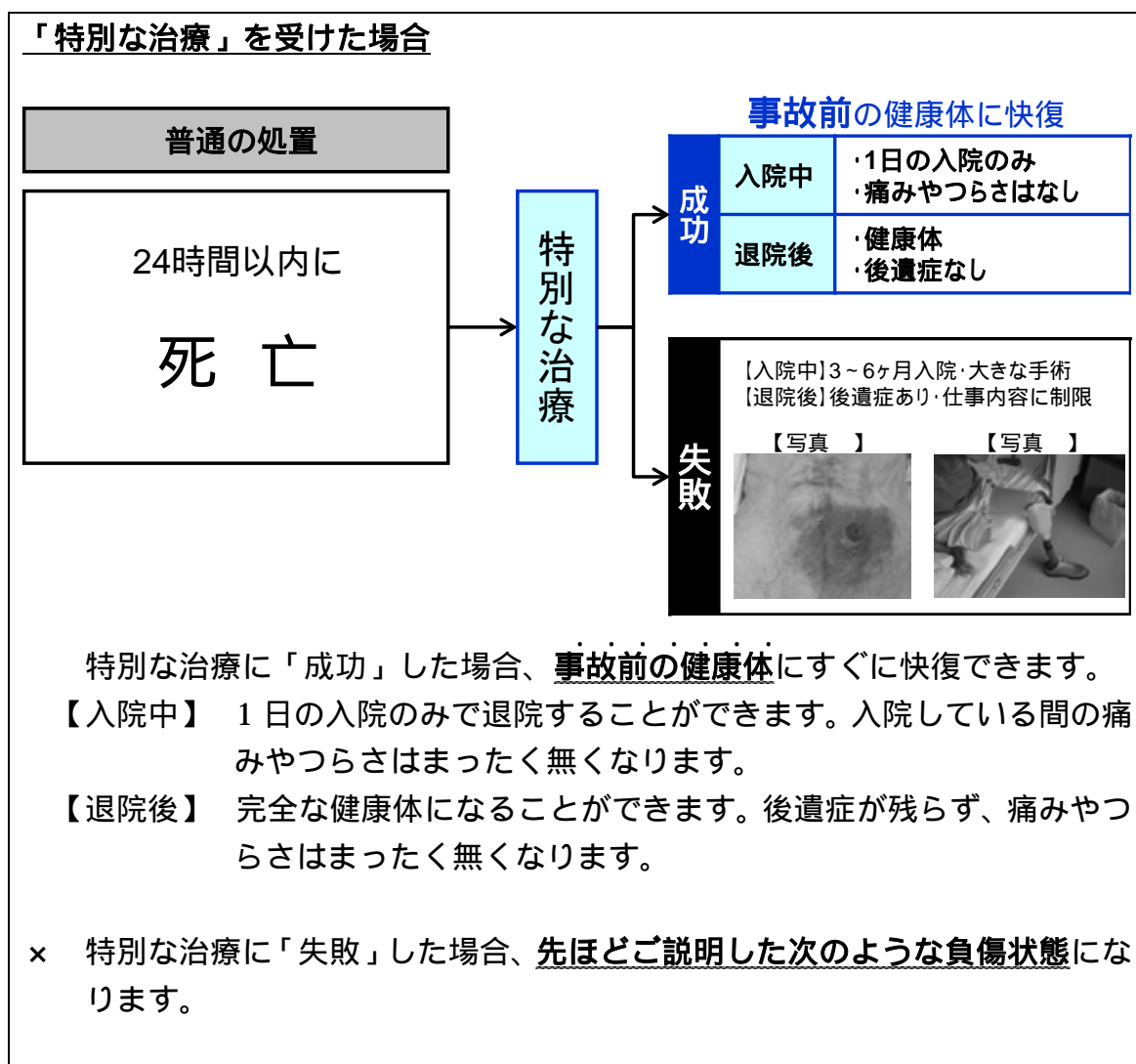
	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問13-3> 「特別な治療」の選択について

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたがこのまま「普通の処置」を受けた場合、24時間以内に死亡してしまうような状況であると想定してください。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。



「特別な治療」が失敗した場合の身体レベル

【入院中】3ヶ月～6ヶ月の入院が必要となります。その間、歩きまわったりといった移動はできず、寝たきりの状態になります。自分の身の回りの管理も自分ではできない状態になります。また仕事や勉強といった普段の活動も全くできない状態です。痛みや不快感が常にある状態で、心理的にもひどい不安や塞ぎこんだ状態になります。

【退院後】退院後も、歩きまわったりといった移動困難な状態となります。自分の身の回りの管理も自分では困難な状態となります。また仕事や勉強といった普段の活動も差し支えがある状態となります。痛みや不快感が多少ある状態で、心理的にも多少の不安を感じたり塞ぎこむこともある状態となります。このような後遺症が、その後一生続く状態となります。



< 回答 13 - 3 >

もし、あなたが交通事故で、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

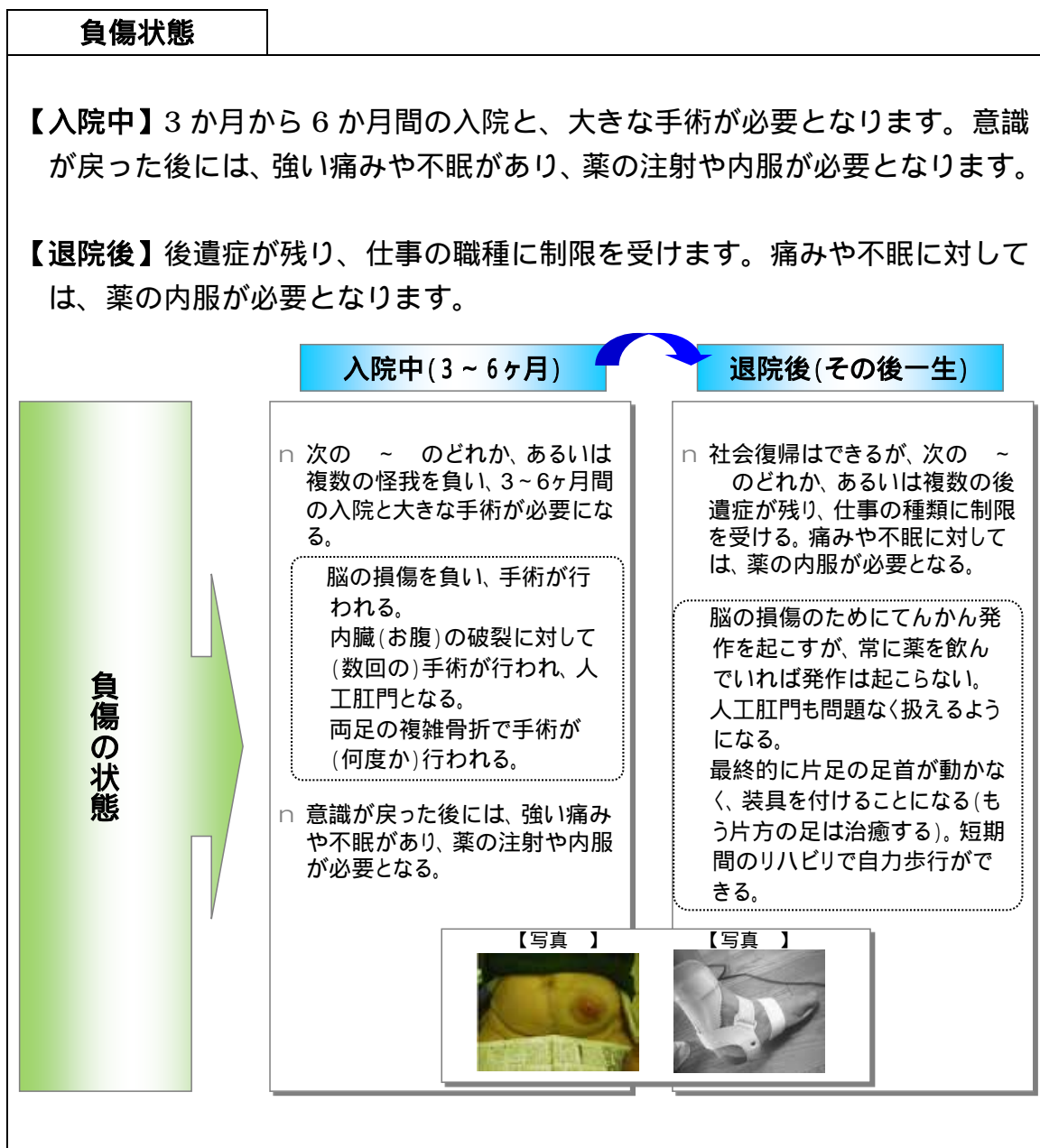
(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)。(問 23 へ)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問14-1> 交通事故で負傷した場合（負傷区分 R）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で治療を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。



身体レベル

【入院中】歩きまわったりといった移動困難な状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることは困難な状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も差し支えがある状態です。痛みや不快感が常にある状態で、心理的にもひどい不安や塞ぎこんだ状態です。

【退院後】歩きまわったりといった移動は困難な状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることは問題ない状態ですが、また仕事や勉強といったふだんの活動には差し支えがある状態です。また、痛みや不快感が多少ありますが、心理的には普通の状態です。

【評価項目】	入院中(3～6ヶ月)				退院後(その後一生)			
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?		できない	いくらか問題あり	問題なくできる		できない	いくらか問題あり	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

<回答14-1>さて、交通事故でこのような負傷状態となってしまったと想定した場合、交通事故で死亡してしまうことを比較すると、次のどちらの感じ方があなたの考え方により近いですか。ただし、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援(例えば生活保護等)を受けられるため、あなたの費用負担はないものと想定した上で、あてはまる方を一つお選び下さい(SA)

- 1 このような負傷状態になっても、死亡するよりマシである(問14-2へ)
- 2 このような負傷状態になるぐらいなら、死亡したほうがマシである(問14-3)

<問14-2> 「特別な治療」の選択について

あなたは、普通の処置のほかに、無料で「特別な治療」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではなく、成功することもあるれば、失敗することもあります。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

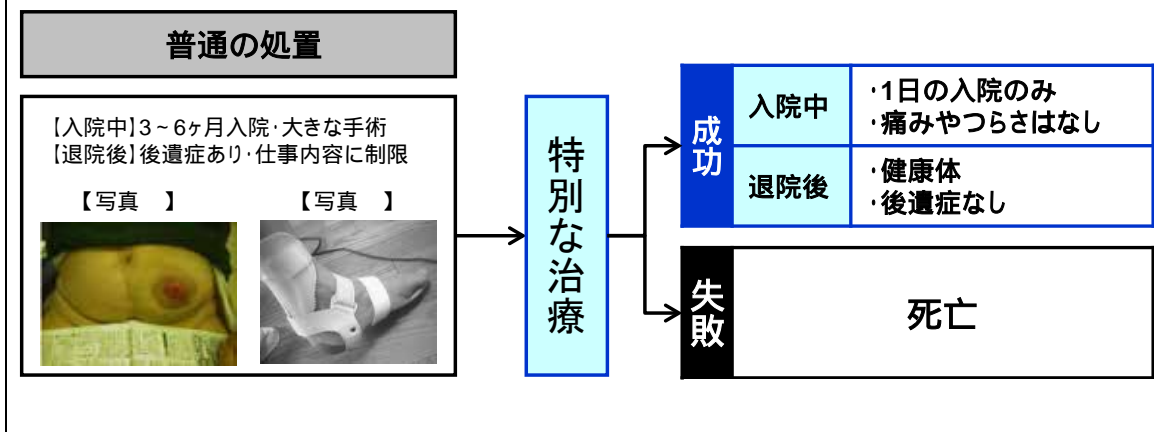
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに回復できます。

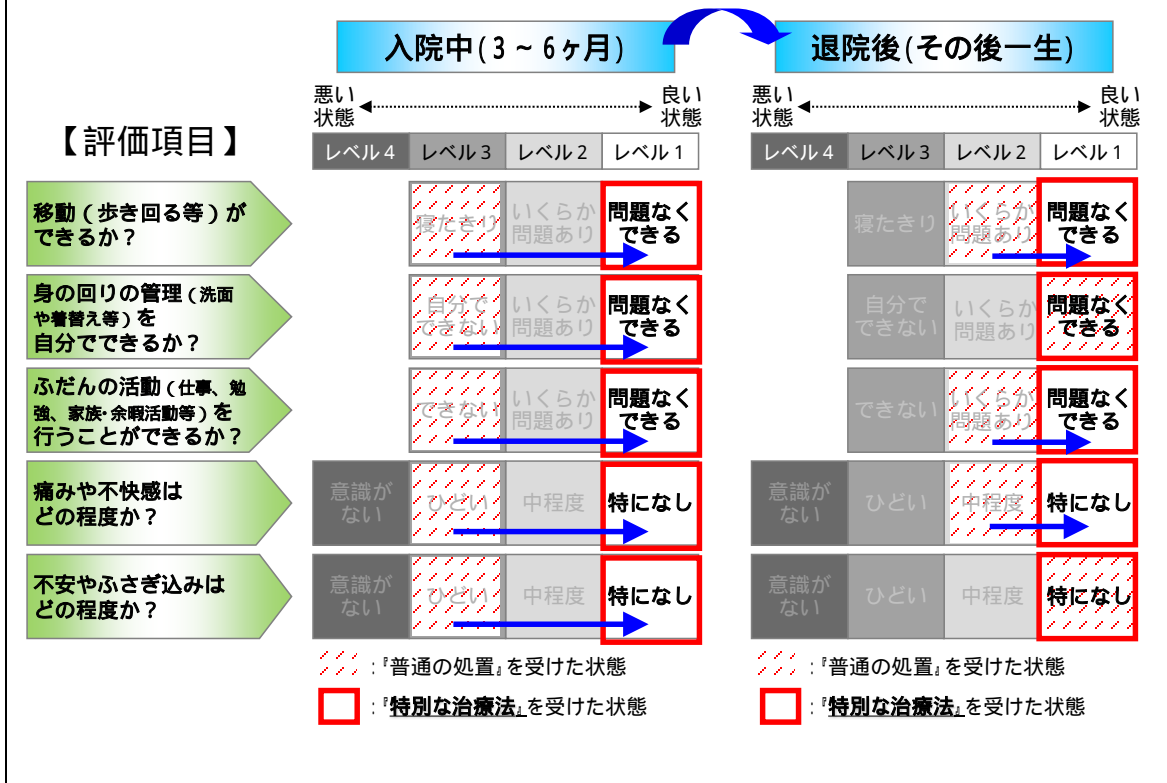
【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、即座に死亡します。



「特別な治療」が成功した場合の身体レベル



< 回答 1 4 - 2 >

もし、あなたが交通事故で負傷して、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります。)(問 2 3 へ)

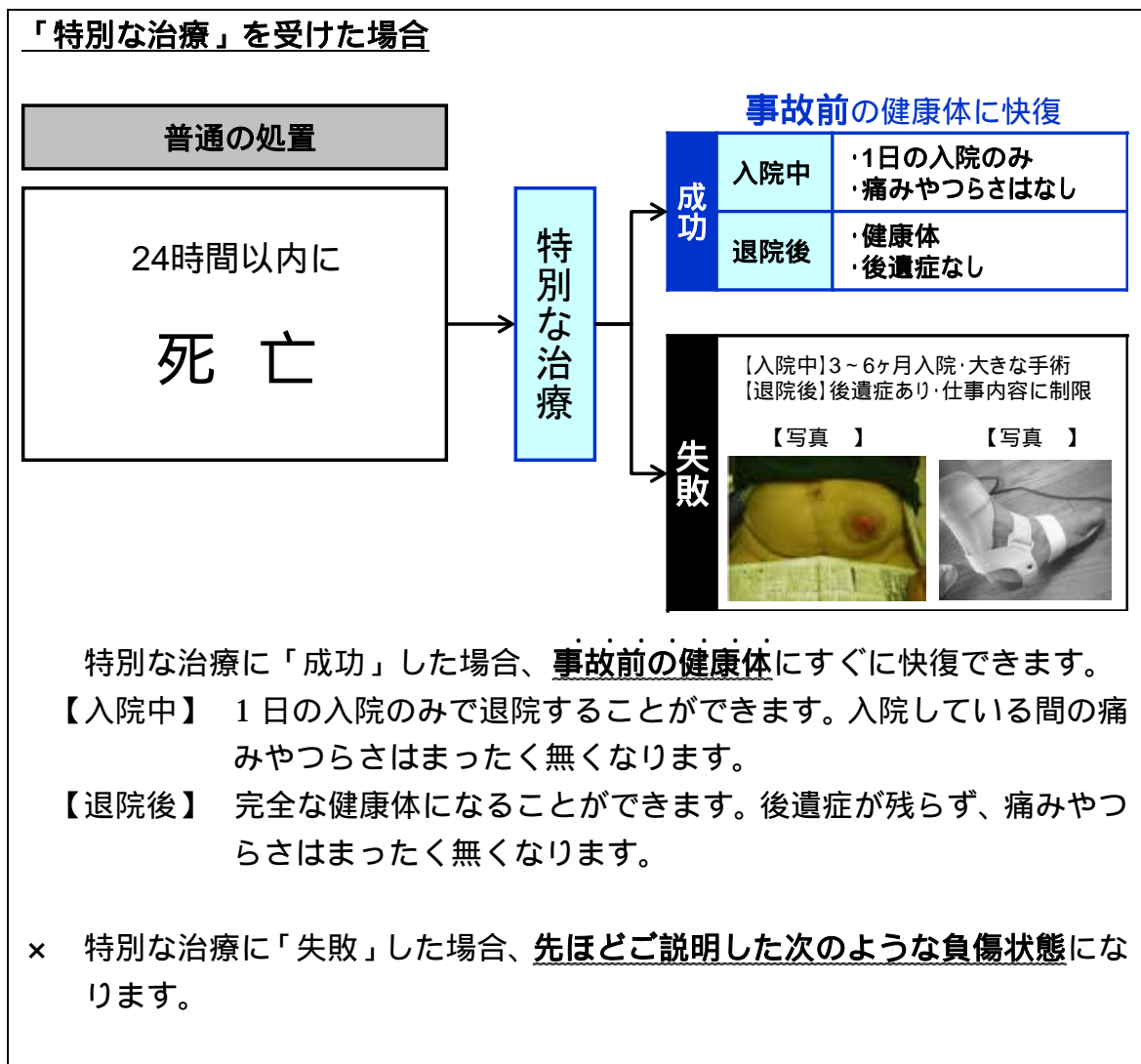
	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問14-3> 「特別な治療」の選択について

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたがこのまま「普通の処置」を受けた場合、24時間以内に死亡してしまうような状況であると想定してください。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。



「特別な治療」が失敗した場合の身体レベル

【入院中】3ヶ月～6ヶ月の入院が必要となります。その間、歩きまわったりといった移動はできず、寝たきりの状態になります。自分の身の回りの管理も自分ではできない状態になります。また仕事や勉強といったふだんの活動も全くできない状態です。痛みや不快感が常にある状態で、心理的にもひどい不安や塞ぎこんだ状態になります。

【退院後】退院後も、歩きまわったりといった移動は困難な状態ですが、自分の身の回りの管理は問題なくできる状態となります。ただし、仕事や勉強といったふだんの活動も差し支えがある状態となります。また、痛みや不快感が多少ありますが、心理的には普通の状態となります。このような後遺症が、その後一生続く状態となります。

【評価項目】	入院中(3～6ヶ月)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 ← → 良い状態				悪い状態 ← → 良い状態			
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩き回等)ができるか?		寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる	寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる	
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?		自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる	自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる	
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?		できない	いづらか問題あり	問題なくできる	できない	いづらか問題あり	問題なくできる	
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

< 回答 1 4 - 3 >

もし、あなたが交通事故で、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)。 (問 2 3 へ)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問15 - 1> 交通事故で負傷した場合（負傷区分 Y）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

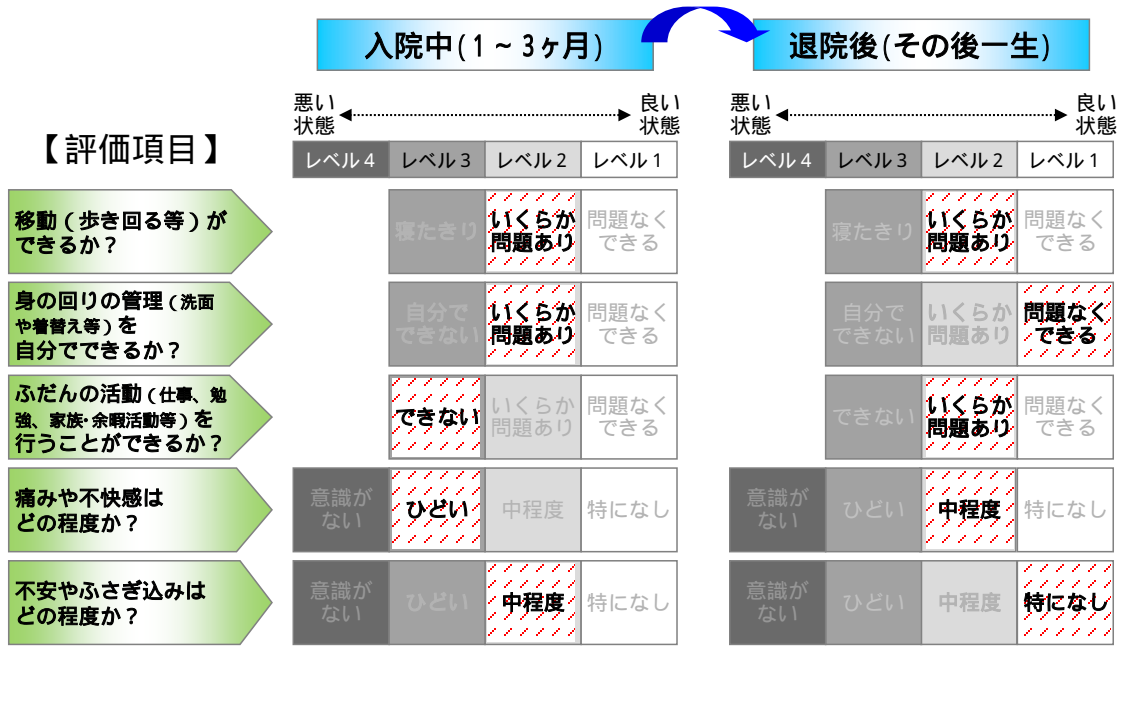
あなたは、病院で治療を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。



身体レベル

【入院中】歩きまわったりといった移動困難な状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることは困難な状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も差し支えがある状態です。痛みや不快感が常にある状態で、心理的にもひどい不安や塞ぎこんだ状態です。

【退院後】歩きまわったりといった移動は困難な状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることは問題ない状態ですが、また仕事や勉強といったふだんの活動には差し支えがある状態です。また、痛みや不快感が多少ありますが、心理的には普通の状態です。



<回答15-1>さて、交通事故でこのような負傷状態となってしまったと想定した場合、交通事故で死亡してしまうことを比較すると、次のどちらの感じ方があなたの考え方により近いですか。ただし、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援(例えば生活保護等)を受けられるため、あなたの費用負担はないものと想定した上で、あてはまる方を一つお選び下さい(SA)

- 1 このような負傷状態になっても、死亡するよりマシである(問15-2へ)
- 2 このような負傷状態になるぐらいなら、死亡したほうがマシである(問15-3へ)

<問15 - 2> 「特別な治療」の選択について

あなたは、普通の処置のほかに、無料で「特別な治療」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではなく、成功することもあるれば、失敗することもあります。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

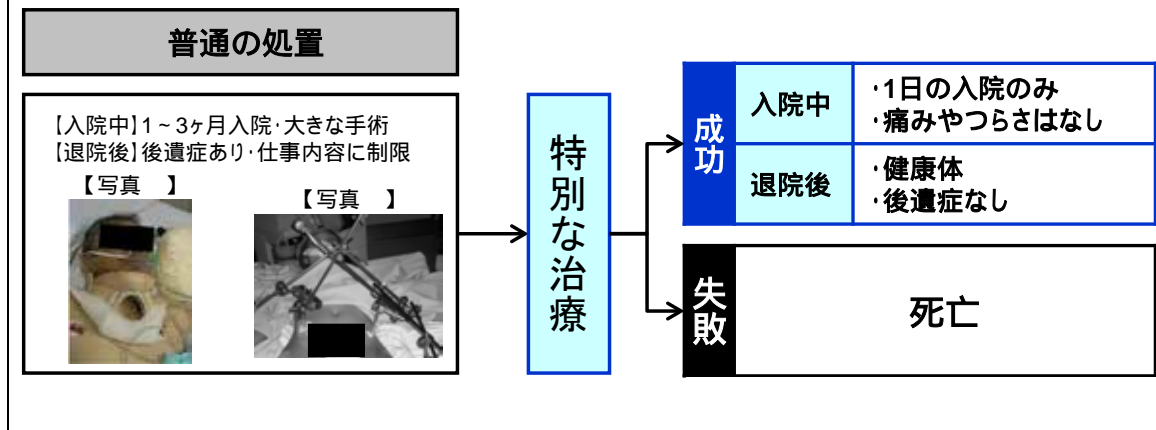
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに回復できます。

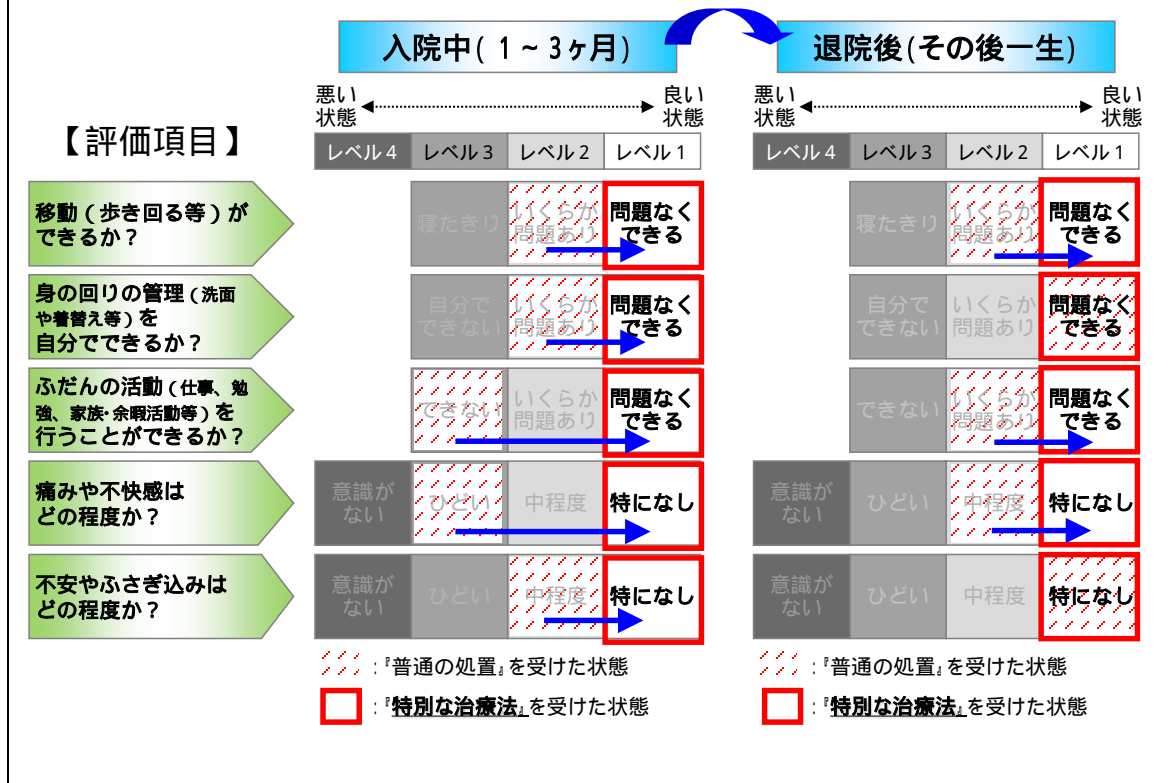
【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、即座に死亡します。



「特別な治療」が成功した場合の身体レベル



< 回答 15 - 2 >

もし、あなたが交通事故で負傷して、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)。(問 23へ)

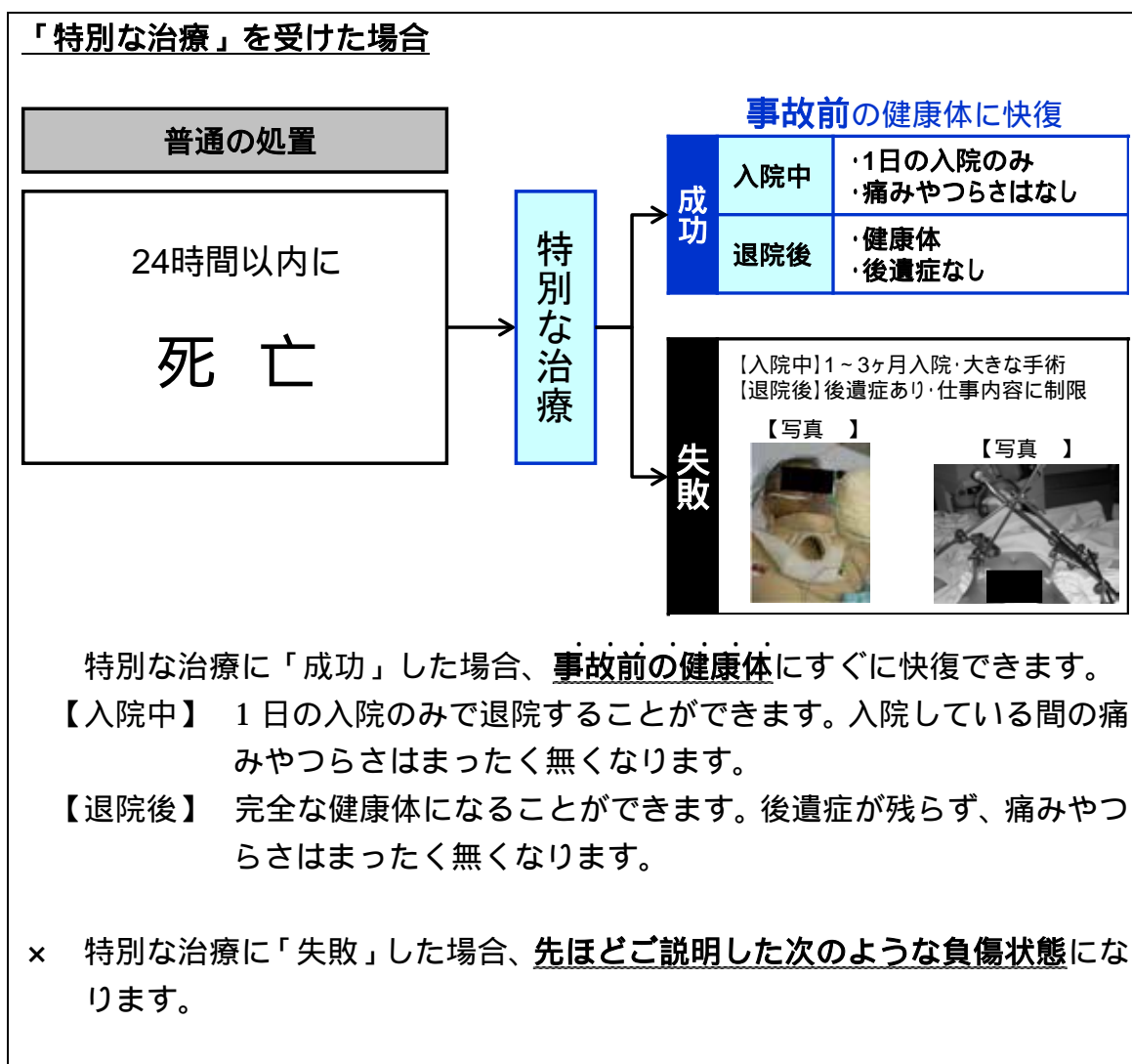
	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問15 - 3> 「特別な治療」の選択について

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたがこのまま「普通の処置」を受けた場合、24時間以内に死亡してしまうような状況であると想定してください。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。



「特別な治療」が失敗した場合の身体レベル

【入院中】1ヶ月～3ヶ月間の入院が必要です。その間、歩きまわったりといった移動は困難な状態になります。また、自分の身の回りの管理も困難な状態になります。仕事や勉強といったふだんの活動も全くできない状態になります。痛みや不快感が常にある状態で、心理的にも多少の不安を感じたり塞ぎこむこともある状態です。

【退院後】退院後は、歩きまわったりといった移動は困難な状態ですが、自分の身の回りの管理は問題なくできる状態です。ただし、仕事や勉強といったふだんの活動には差し支えがある状態です。また、痛みや不快感が多少ありますが、心理的には普通の状態です。このような後遺症が、その後一生続く状態となります。

【評価項目】	入院中(1～3ヶ月)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?		できない	いくらか問題あり	問題なくできる		できない	いくらか問題あり	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

< 回答 15 - 3 >

もし、あなたが交通事故で、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

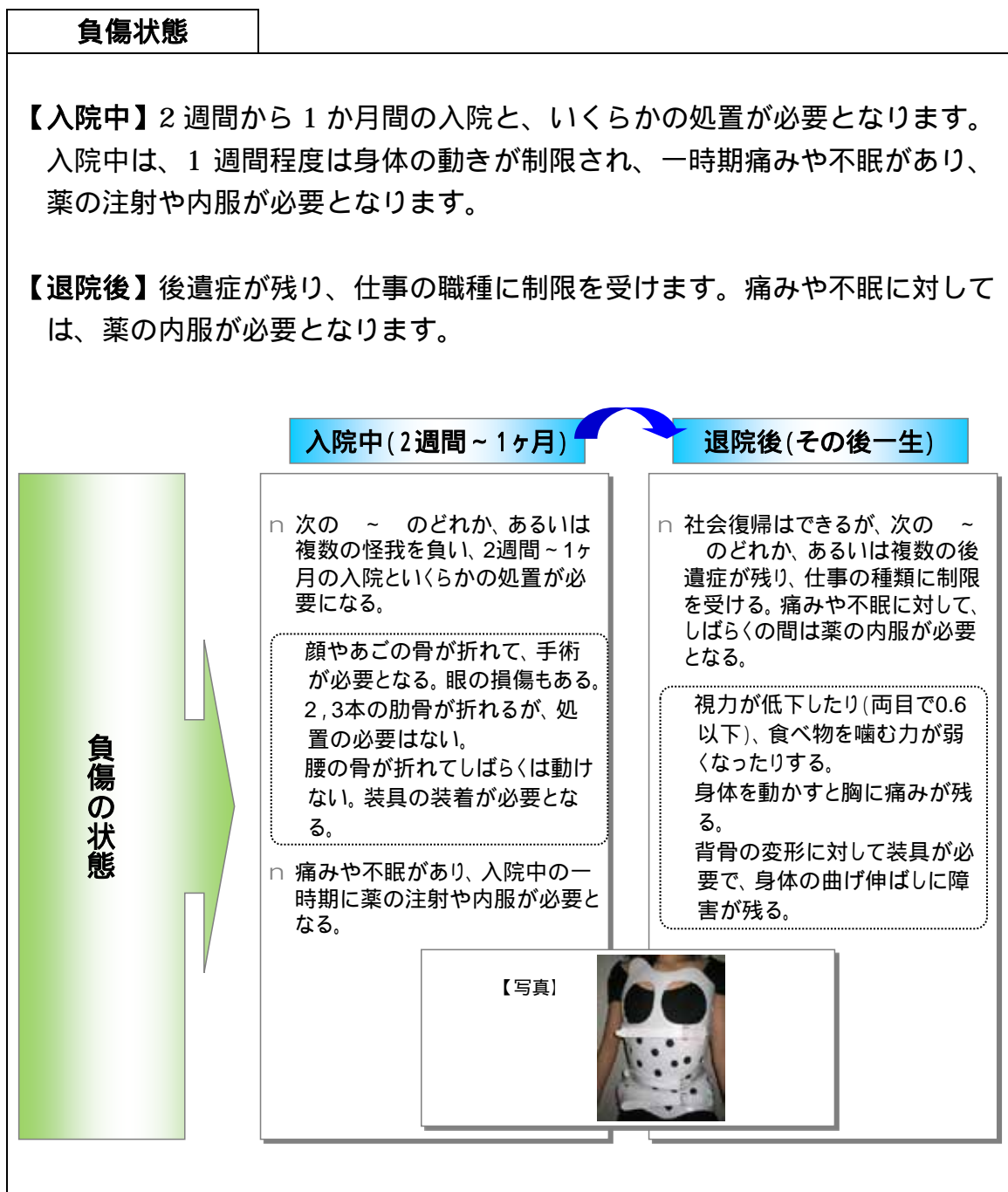
(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)。 (問 2 3 へ)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問16-1> 交通事故で負傷した場合（負傷区分1）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で治療を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。



身体レベル

【入院中】歩きまわったりといった移動に多少困難を伴う状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることにも多少困難を伴う状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も多少差し支えがある状態です。また、痛みや不快感が多少あり、心理的にも多少の不安を感じたり塞ぎこむこともある状態です。

【退院後】歩きまわったりといった移動に多少困難を伴う状態です。自分の身の回りの管理には問題ない状態ですが、仕事や勉強といった普段の活動には多少差し支えがある状態です。また、痛みや不快感が多少ありますが、心理的には普通の状態です。

【評価項目】	入院中(2週間～1ヶ月)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1
移動(歩き回等)ができるか?		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?		できない	いくらか問題あり	問題なくできる		できない	いくらか問題あり	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

<回答16-1>さて、交通事故でこのような負傷状態となってしまったと想定した場合、交通事故で死亡してしまうことを比較すると、次のどちらの感じ方があなたの考え方により近いですか。ただし、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援(例えば生活保護等)を受けられるため、あなたの費用負担はないものと想定した上で、あてはまる方を一つお選び下さい(SA)

- 1 このような負傷状態になっても、死亡するよりマシである(問16-2へ)
- 2 このような負傷状態になるぐらいなら、死亡したほうがマシである(問16-3へ)

<問16 - 2> 「特別な治療」の選択について

あなたは、普通の処置のほかに、無料で「特別な治療」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではなく、成功することもあるれば、失敗することもあります。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

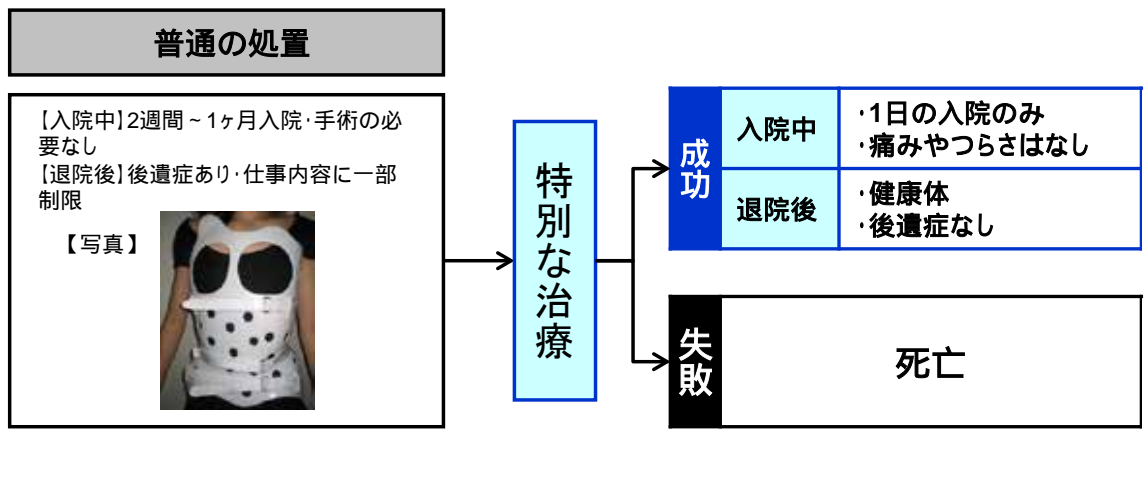
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに回復できます。

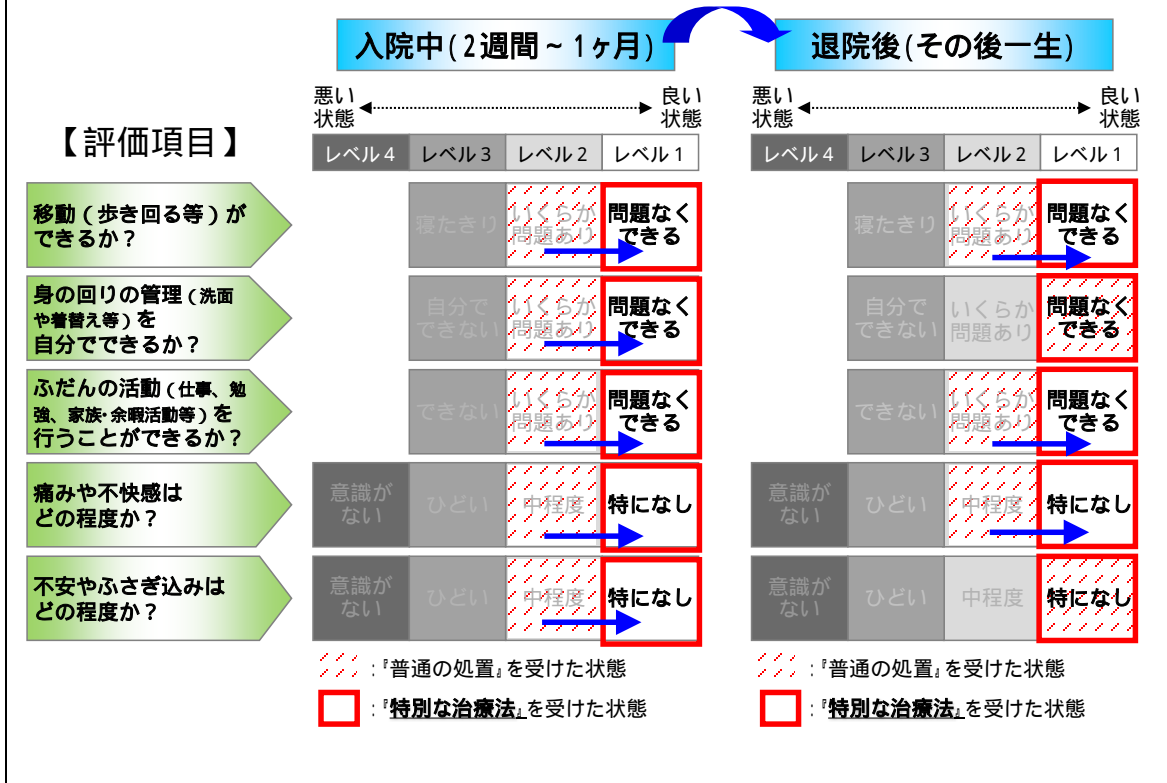
【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、即座に死亡します。



「特別な治療」が成功した場合の身体レベル



< 回答 16 - 2 >

もし、あなたが交通事故で負傷して、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)。(問 23 へ)

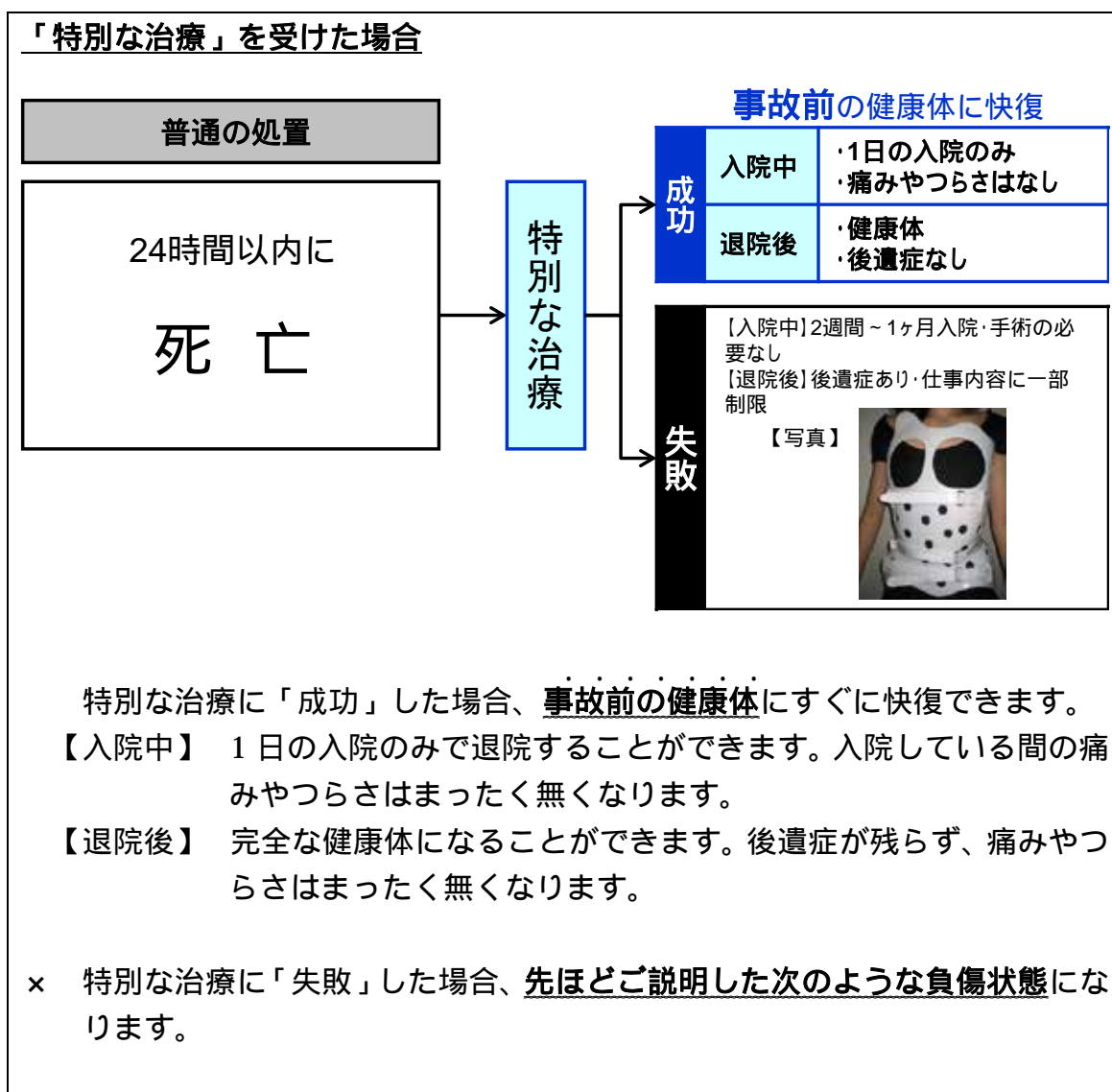
	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問16 - 3> 「特別な治療」の選択について

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたがこのまま「普通の処置」を受けた場合、24時間以内に死亡してしまうような状況であると想定してください。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。



「特別な治療」が失敗した場合の身体レベル

【入院中】2週間～1ヶ月の入院が必要です。その間、歩きまわったりといった移動は困難な状態になります。また、自分の身の回りの管理も困難な状態になります。仕事や勉強といったふだんの活動も困難を伴う状態になります。痛みや不快感が多少あり、心理的にも多少の不安を感じたり塞ぎこむこともある状態になります。

【退院後】退院後は、歩きまわったりといった移動は困難な状態ですが、自分の身の回りの管理は問題なくできる状態に戻ります。ただし、仕事や勉強といったふだんの活動には差し支えがある状態になります。また、痛みや不快感が多少残りますが、心理的には普通の状態に戻ります。このような後遺症がその後の一生つづきます。



< 回答 16 - 3 >

もし、あなたが交通事故で、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい。

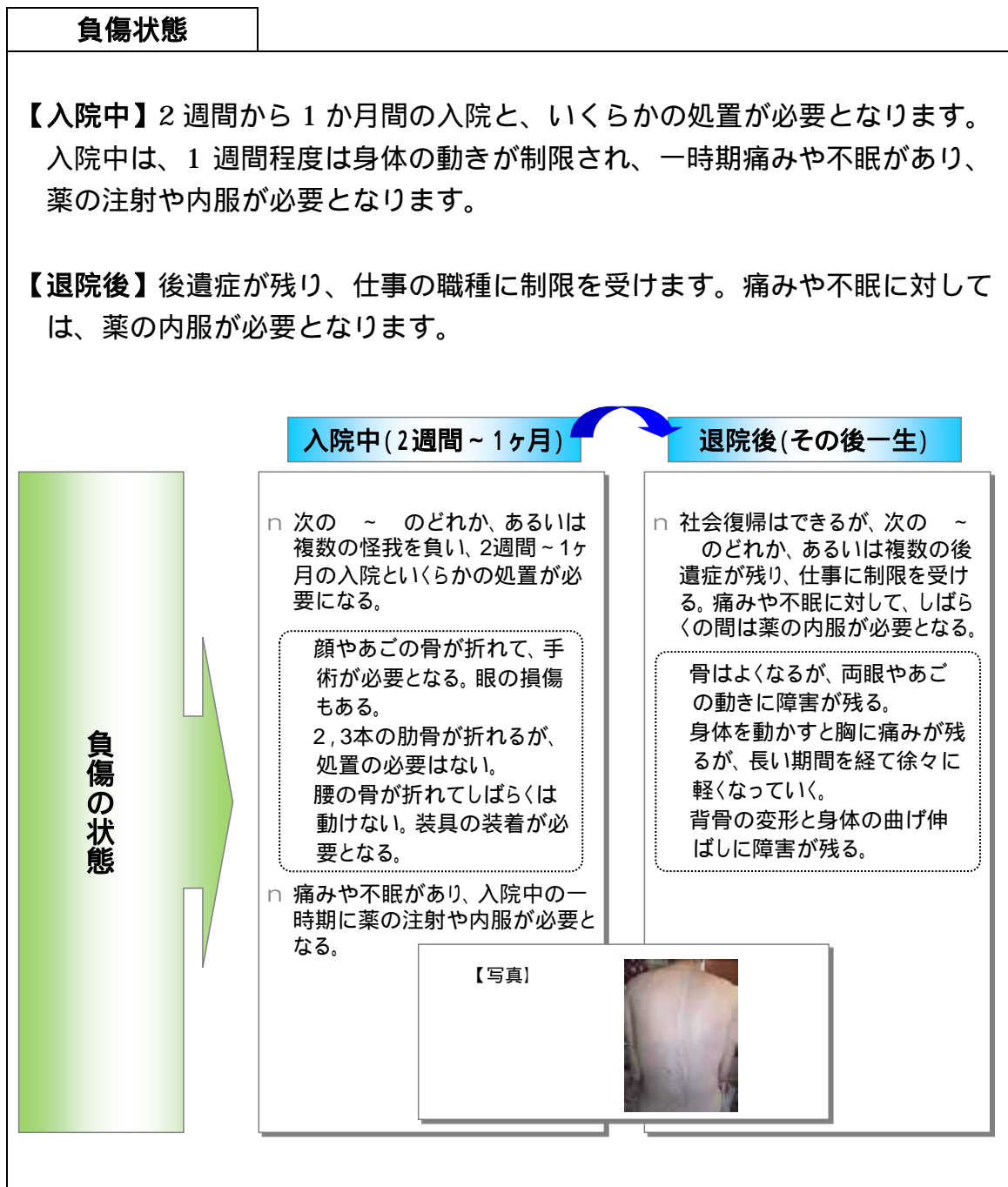
(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)。 (問 23 へ)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問17-1> 交通事故で負傷した場合（負傷区分〇）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で治療を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。



身体レベル

【入院中】歩きまわったりといった移動に多少困難を伴う状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることも多少困難を伴う状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も多少差し支えがある状態です。また、痛みや不快感が多少あり、心理的にも多少の不安を感じたり塞ぎこむこともある状態です。

【退院後】歩きまわったりといった移動や、自分の身の回りの管理には問題ない状態ですが、仕事や勉強といった普段の活動には多少差し支えがある状態です。また、痛みや不快感もなくなり、心理的には普通の状態です。

【評価項目】	入院中(2週間～1ヶ月)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?	寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる	
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?	自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる	
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?	できない	いくらか問題あり	問題なくできる		できない	いくらか問題あり	問題なくできる	
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

<回答17-1>さて、交通事故でこのような負傷状態となってしまったと想定した場合、交通事故で死亡してしまうことを比較すると、次のどちらの感じ方があなたの考え方により近いですか。ただし、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援(例えば生活保護等)を受けられるため、あなたの費用負担はないものと想定した上で、あてはまる方を一つお選び下さい(SA)

- 1 このような負傷状態になっても、死亡するよりマシである(問17-2へ)
- 2 このような負傷状態になるぐらいなら、死亡したほうがマシである(問17-3へ)

<問17-2> 「特別な治療」の選択について

あなたは、普通の処置のほかに、無料で「特別な治療」を受けることが可能です。しかし、その場合の結果は確実ではなく、成功することもあるれば、失敗することもあります。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。

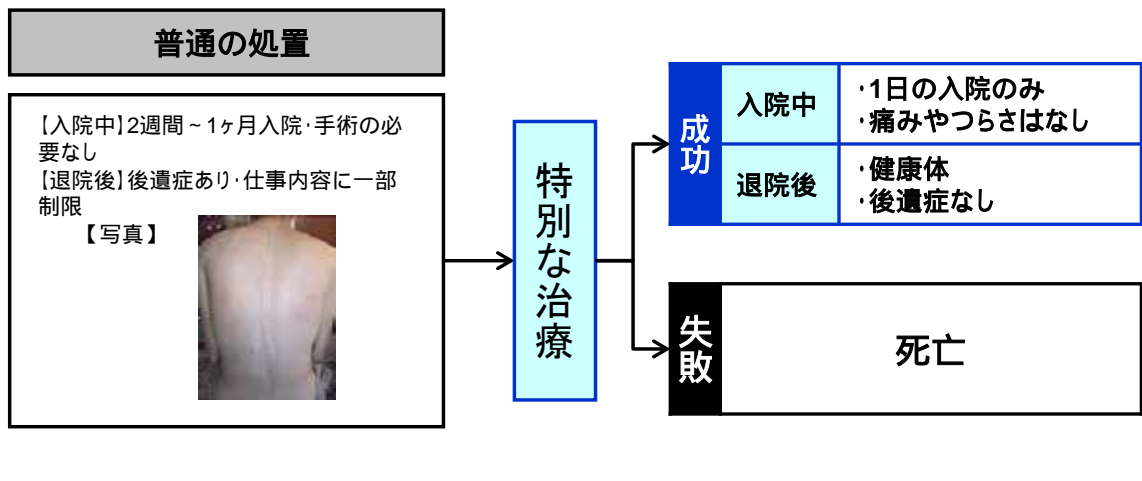
「特別な治療」を受けた場合

特別な治療に「成功」した場合、事故前の健康体にすぐに回復できます。

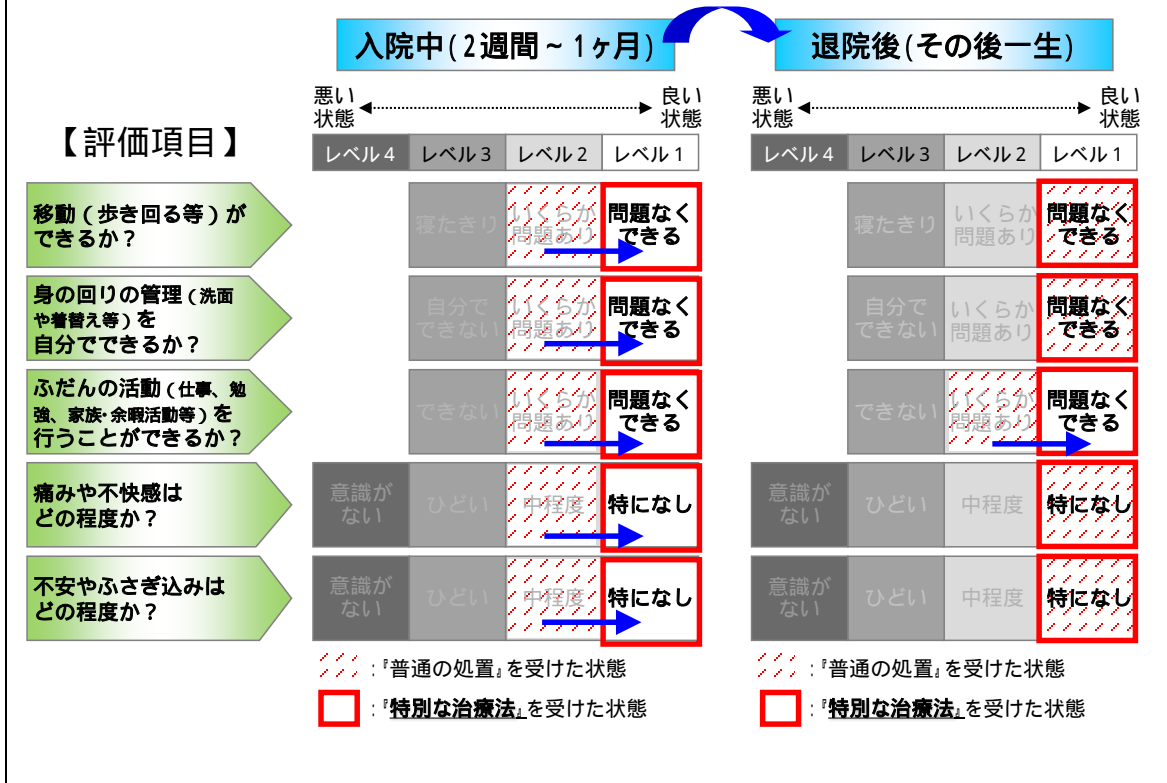
【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

× 特別な治療に「失敗」した場合、即座に死亡します。



「特別な治療」が成功した場合の身体レベル



< 回答 17 - 2 > もし、あなたが交通事故で負傷して、上記のような状態になった場合、成功確率がどれくらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい（ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります）。（問 23へ）

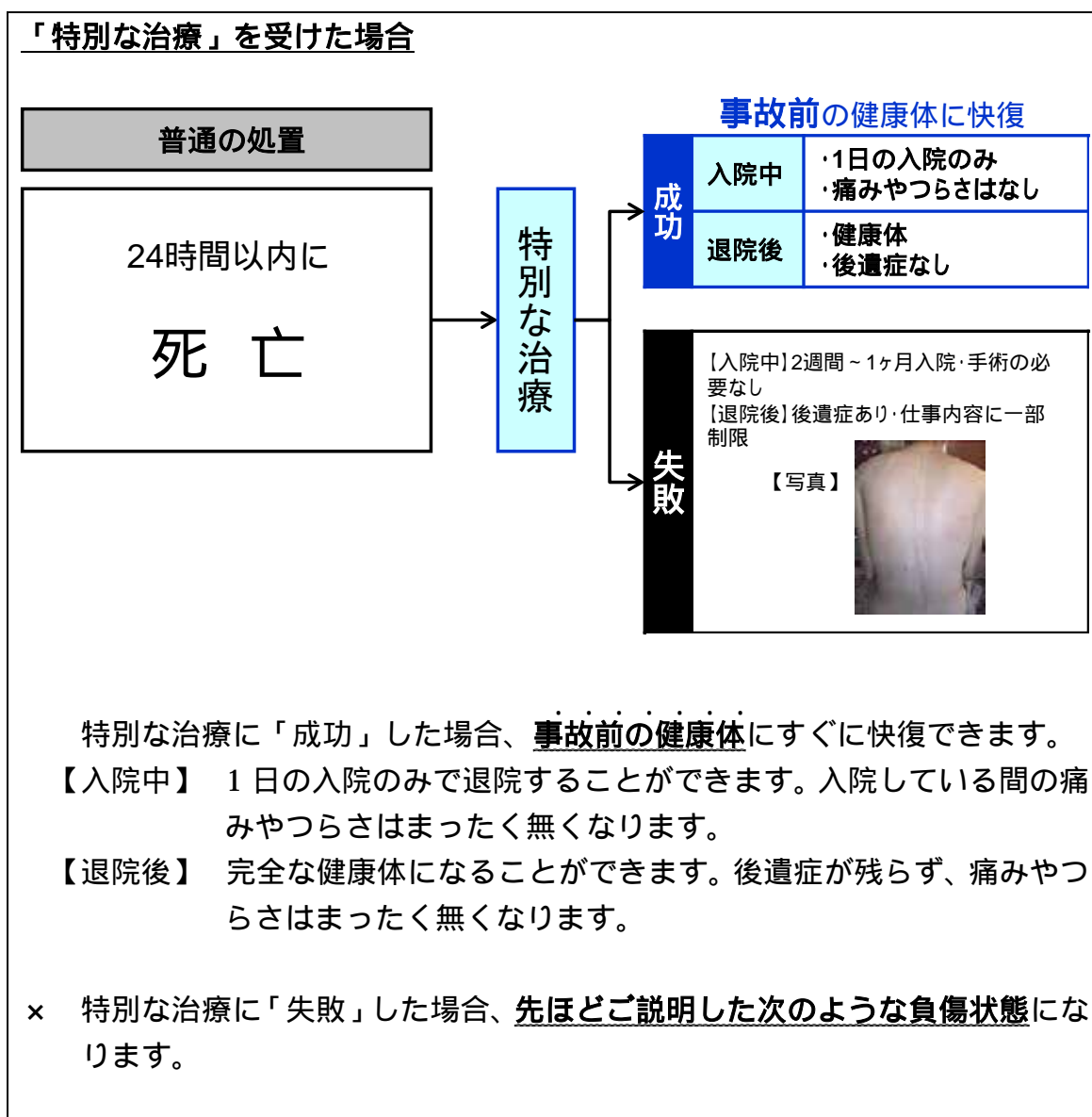
	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1%（失敗確率 99.9%）なら、特別な治療を		
成功確率が 1%（失敗確率 99%）なら、特別な治療を		
成功確率が 5%（失敗確率 95%）なら、特別な治療を		
成功確率が 10%（失敗確率 90%）なら、特別な治療を		
成功確率が 20%（失敗確率 80%）なら、特別な治療を		
成功確率が 30%（失敗確率 70%）なら、特別な治療を		
成功確率が 40%（失敗確率 60%）なら、特別な治療を		
成功確率が 50%（失敗確率 50%）なら、特別な治療を		
成功確率が 60%（失敗確率 40%）なら、特別な治療を		
成功確率が 70%（失敗確率 30%）なら、特別な治療を		
成功確率が 80%（失敗確率 20%）なら、特別な治療を		
成功確率が 90%（失敗確率 10%）なら、特別な治療を		
成功確率が 95%（失敗確率 5%）なら、特別な治療を		
成功確率が 99%（失敗確率 1%）なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9%（失敗確率 0.1%）なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99%（失敗確率 0.01%）なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999%（失敗確率 0.001%）なら、特別な治療を		

<問17-3> 「特別な治療」の選択について

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたがこのまま「普通の処置」を受けた場合、24時間以内に死亡してしまうような状況であると想定してください。

あなたは、成功すれば事故前の健康体に回復できる「特別な治療」を受けるかどうか判断をしなければなりません。この「特別な治療」の成功確率がどれくらいなら治療を受けるでしょうか？ ただし、失敗した場合には、次のようなデメリットがあることを踏まえてお考え下さい。



「特別な治療」が失敗した場合の身体レベル

【入院中】2週間～1ヶ月入院が必要です。その間、歩きまわったりといった移動は困難な状態になります。また、自分の身の回りの管理も困難な状態になります。仕事や勉強といったふだんの活動も困難を伴う状態になります。痛みや不快感が多少あり、心理的にも多少の不安を感じたり塞ぎこむこともある状態になります。

【退院後】退院後は、歩きまわったりといった移動や自分の身の回りの管理は問題なくできる状態に戻ります。ただし、仕事や勉強といったふだんの活動には差し支えがある状態になります。また、痛みや不快感はなくなり、心理的には普通の状態に戻ります。このような後遺症がその後の一生つづきます。

【評価項目】	入院中(2週間～1ヶ月)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?		寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる	寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる	
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?		自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる	自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる	
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?		できない	いづらか問題あり	問題なくできる	できない	いづらか問題あり	問題なくできる	
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

< 回答 17 - 3 >

もし、あなたが交通事故で、上記のような状態になった場合、成功確率がどれぐらいなら、この「特別な治療」を受けてもよいと感じますか。それぞれの確率ごとに「受けてもよい」「受けたくない」のどちらかを選択して下さい

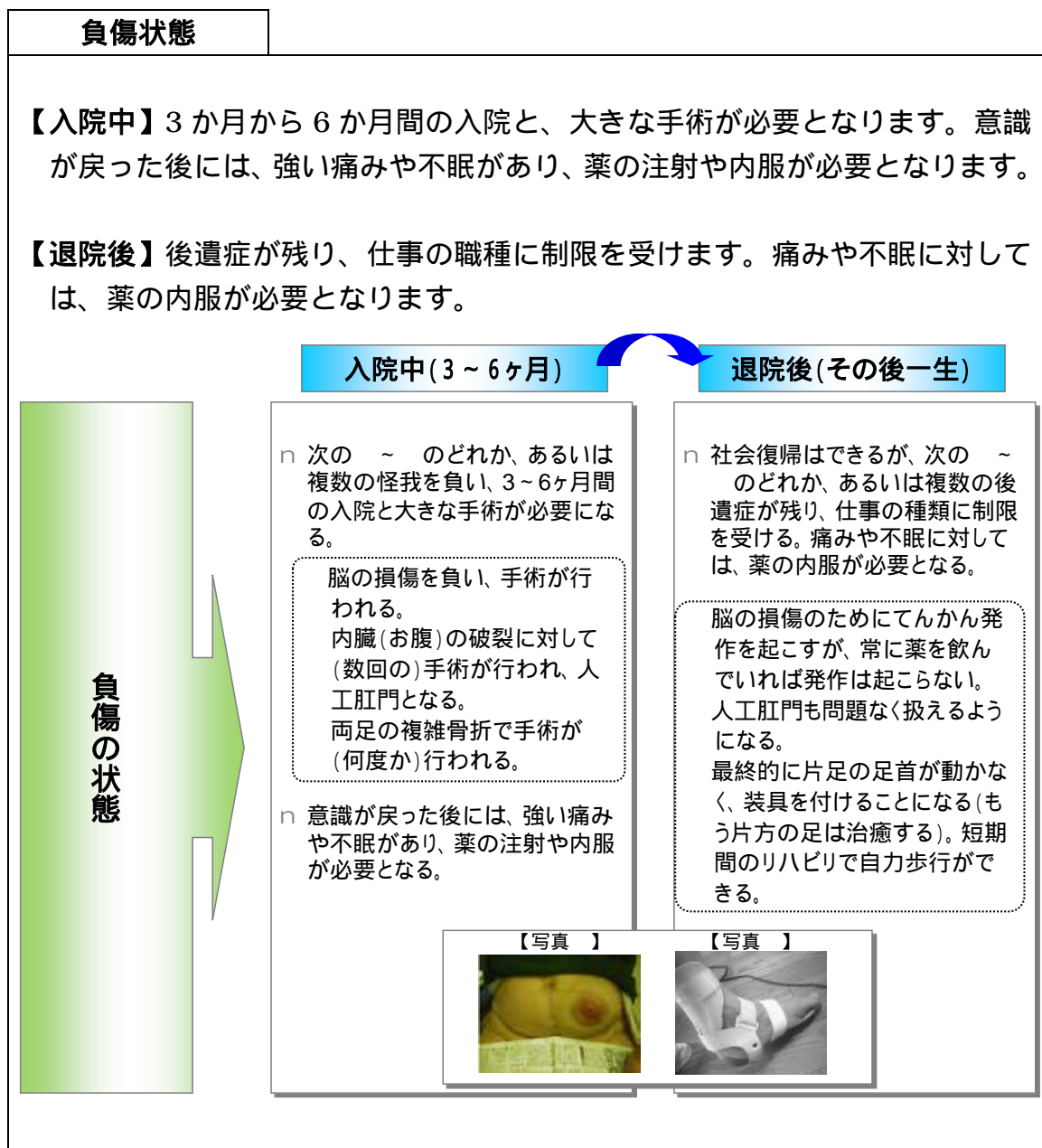
(ただし、矛盾する回答はできません。例えば、成功確率 10%なら「受けてもよい」を選択したのに、それより確率の高い成功確率 20%で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります)。 (問 2 3 へ)

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
成功確率が 0.1% (失敗確率 99.9%) なら、特別な治療を		
成功確率が 1% (失敗確率 99%) なら、特別な治療を		
成功確率が 5% (失敗確率 95%) なら、特別な治療を		
成功確率が 10% (失敗確率 90%) なら、特別な治療を		
成功確率が 20% (失敗確率 80%) なら、特別な治療を		
成功確率が 30% (失敗確率 70%) なら、特別な治療を		
成功確率が 40% (失敗確率 60%) なら、特別な治療を		
成功確率が 50% (失敗確率 50%) なら、特別な治療を		
成功確率が 60% (失敗確率 40%) なら、特別な治療を		
成功確率が 70% (失敗確率 30%) なら、特別な治療を		
成功確率が 80% (失敗確率 20%) なら、特別な治療を		
成功確率が 90% (失敗確率 10%) なら、特別な治療を		
成功確率が 95% (失敗確率 5%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99% (失敗確率 1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.9% (失敗確率 0.1%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.99% (失敗確率 0.01%) なら、特別な治療を		
成功確率が 99.999% (失敗確率 0.001%) なら、特別な治療を		

<問18> 交通事故で負傷した場合（負傷区分 R：確定 CV 法）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で「普通の処置」を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。



身体レベル

【入院中】歩きまわったりといった移動困難な状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることは困難な状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も差し支えがある状態です。痛みや不快感が常にある状態で、心理的にもひどい不安や塞ぎこんだ状態です。

【退院後】歩きまわったりといった移動は困難な状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることは問題ない状態ですが、また仕事や勉強といったふだんの活動には差し支えがある状態です。また、痛みや不快感が多少ありますが、心理的には普通の状態です。

【評価項目】	入院中(3~6ヶ月)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる		寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる		自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?		できない	いくらか問題あり	問題なくできる		できない	いくらか問題あり	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

< 回答 18 > 特別な治療をうけてもよい金額について

さて、ここで、あなたは、「普通の処置」のほかに「特別な治療」を受けることが可能です。

もし、この「特別な治療」を受ければ、事故前の健康体に快復できるとします。

受けなければ、先ほど示した負傷状態のままであり、後遺症も一生涯残ります。ただし、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援(例えば生活保護等)を受けられるため、あなたの費用負担はないものとします。また、「特別な治療」は、100%成功するとします。

「特別な治療」を受けた場合

特別な治療を受けた場合、事故前の健康体にすぐに回復できます(この特別な治療は100%成功するとします)。

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

普通の処置

【入院中】3~6ヶ月入院・大きな手術
【退院後】後遺症あり・仕事内容に制限

【写真】



【写真】

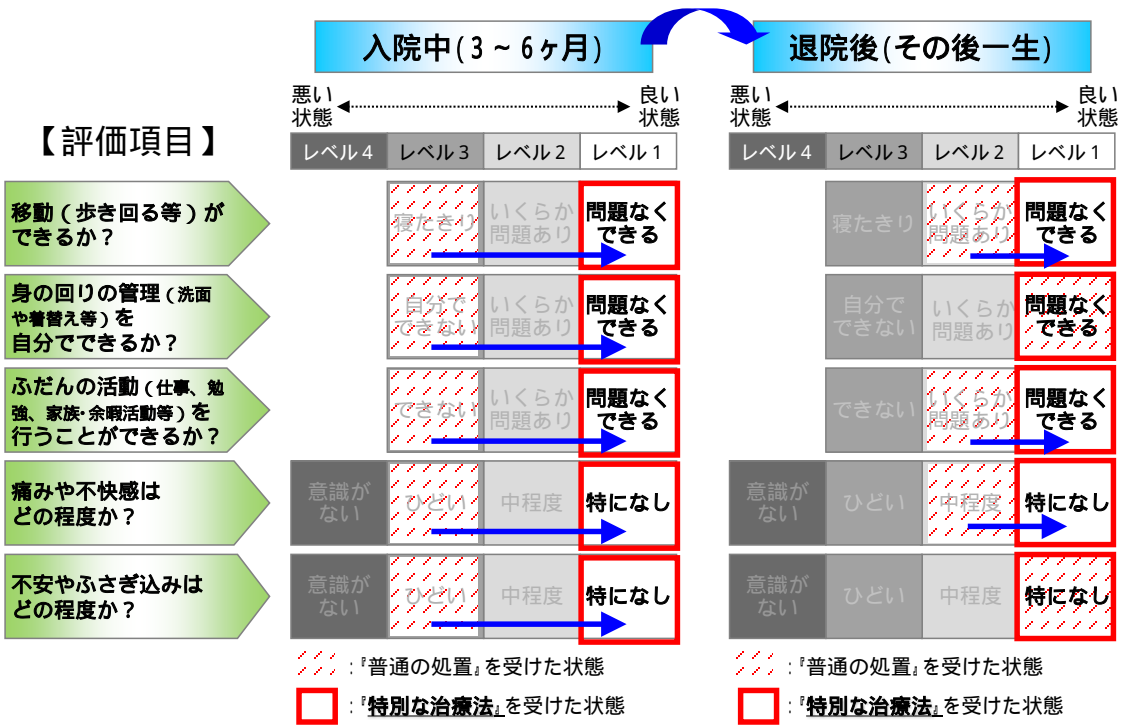


特別な治療

特別な治療後

入院中	・1日の入院のみ ・痛みやつらさはなし
退院後	・健康体 ・後遺症なし

「特別な治療」を受けた場合の身体レベル



さて、ここで質問です。あなたは、このような負傷状態になった際に、自費治療で「特別な治療」を受けることができるとした場合、「特別な治療」がどのくらいの金額なら受けても良いと思いますか。

なお、この「特別な治療」への治療費を支払うことによって、あなたがこの先の人生で使うことのできる金額に影響があることを念頭においてお答え下さい。

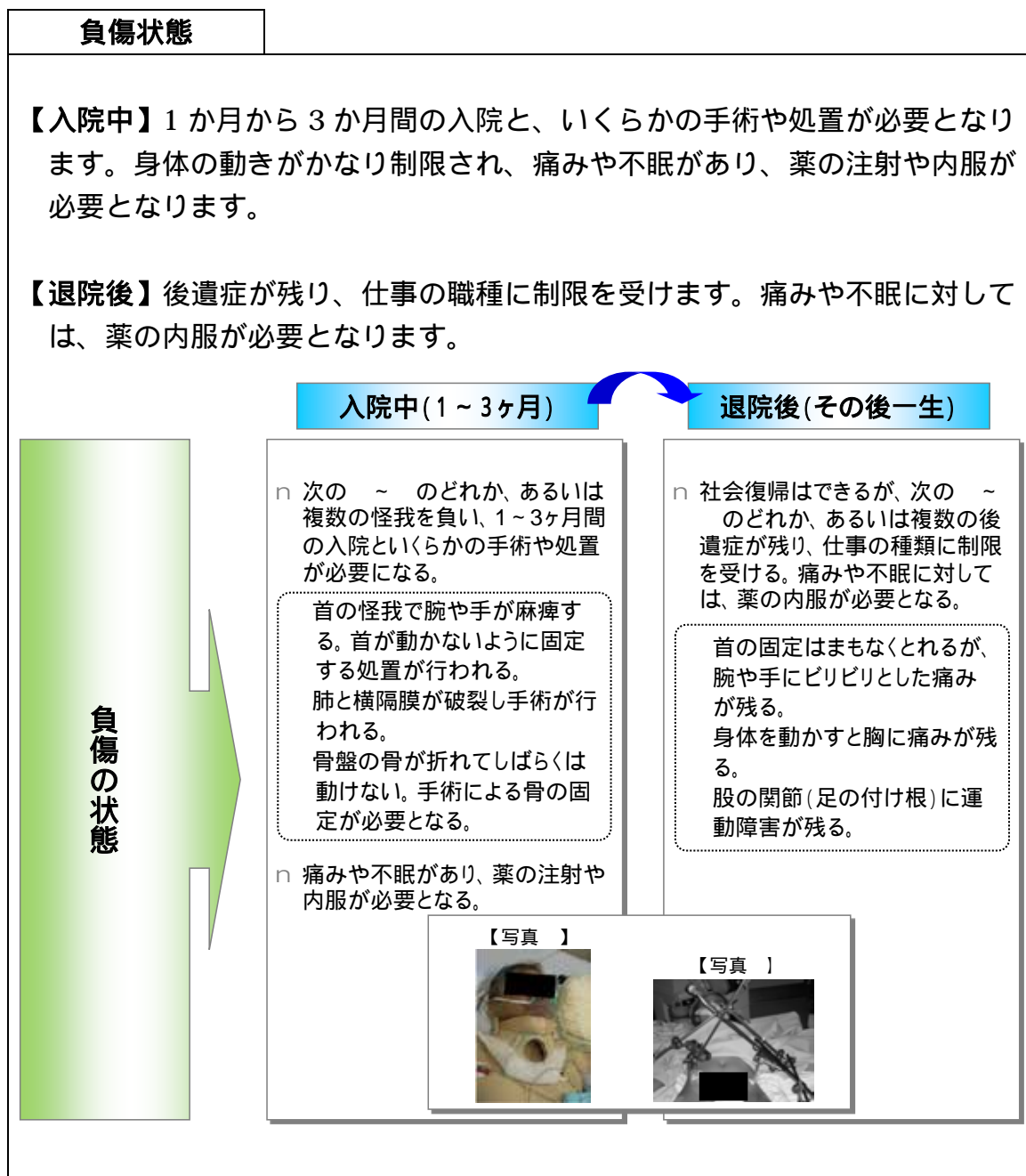
ただし、矛盾する回答はできません。例えば、10万円なら「受けてもよい」選択したのに、それより安い5万円で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります（問23へ）

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
2億円なら（200,000,000円）「特別な治療」を		
1億円なら（100,000,000円）「特別な治療」を		
7,000万円なら（70,000,000円）「特別な治療」を		
5,000万円なら（50,000,000円）「特別な治療」を		
3,000万円なら（30,000,000円）「特別な治療」を		
2,000万円なら（20,000,000円）「特別な治療」を		
1,000万円なら（10,000,000円）「特別な治療」を		
700万円なら（7,000,000円）「特別な治療」を		
500万円なら（5,000,000円）「特別な治療」を		
300万円（3,000,000円）なら、「特別な治療」を		
100万円（1,000,000円）なら、「特別な治療」を		
50万円（500,000円）なら、「特別な治療」を		
30万円（300,000円）なら、「特別な治療」を		
10万円（100,000円）なら、「特別な治療」を		
7万円（70,000円）なら、「特別な治療」を		
5万円（50,000円）なら、「特別な治療」を		
3万円（30,000円）なら、「特別な治療」を		
1万円（10,000円）なら、「特別な治療」を		

<問19> 交通事故で負傷した場合（負傷区分 Y：確定 CV 法）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で「普通の処置」を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。



身体レベル

【入院中】歩きまわったりといった移動困難な状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることは困難な状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も差し支えがある状態です。痛みや不快感が常にある状態で、心理的にもひどい不安や塞ぎこんだ状態です。

【退院後】歩きまわったりといった移動は困難な状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることは問題ない状態ですが、また仕事や勉強といったふだんの活動には差し支えがある状態です。また、痛みや不快感が多少ありますが、心理的には普通の状態です。

【評価項目】	入院中(1～3ヶ月)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1	悪い状態 レベル4	レベル3	レベル2	良い状態 レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?	寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる		寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる	
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?	自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる		自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる	
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?	できない	いづらか問題あり	問題なくできる		できない	いづらか問題あり	問題なくできる	
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

< 回答 19 > 特別な治療をうけてもよい金額について

さて、ここで、あなたは、「普通の処置」のほかに「特別な治療」を受けることが可能です。

もし、この「特別な治療」を受ければ、事故前の健康体に快復できるとします。

受けなければ、先ほど示した負傷状態のままであり、後遺症も一生涯残ります。ただし、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援(例えば生活保護等)を受けられるため、あなたの費用負担はないものとします。

また、「特別な治療」は、100%成功するとします。

「特別な治療」を受けた場合

特別な治療を受けた場合、事故前の健康体にすぐに快復できます(この特別な治療は100%成功するとします)。

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

普通の処置

【入院中】1~3ヶ月入院・手術あり
【退院後】後遺症あり・仕事内容に制限

【写真】



【写真】



特別な治療

特別な治療後

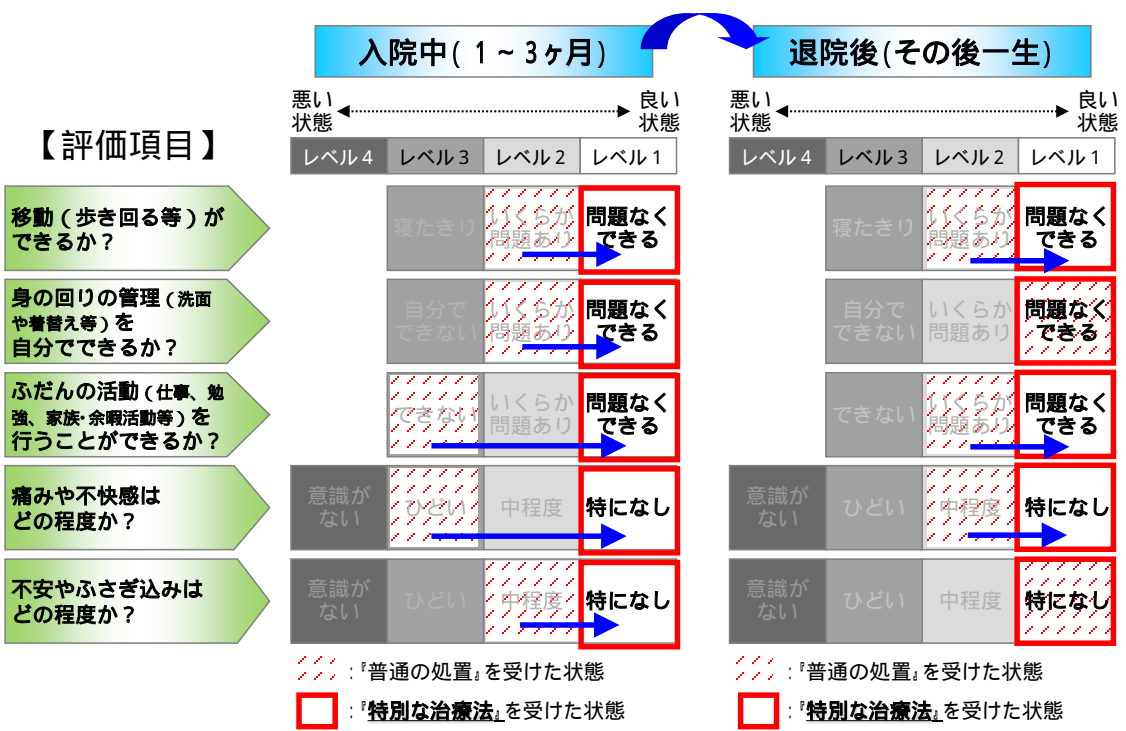
入院中

・1日の入院のみ
・痛みやつらさはなし

退院後

・健康体
・後遺症なし

「特別な治療」を受けた場合の身体レベル



さて、ここで質問です。あなたは、このような負傷状態になった際に、自費治療で「特別な治療」を受けることができるとした場合、「特別な治療」がどのくらいの金額なら受けても良いと思いますか。

なお、この「特別な治療」への治療費を支払うことによって、あなたがこの先の人生で使うことのできる金額に影響があることを念頭においてお答え下さい。

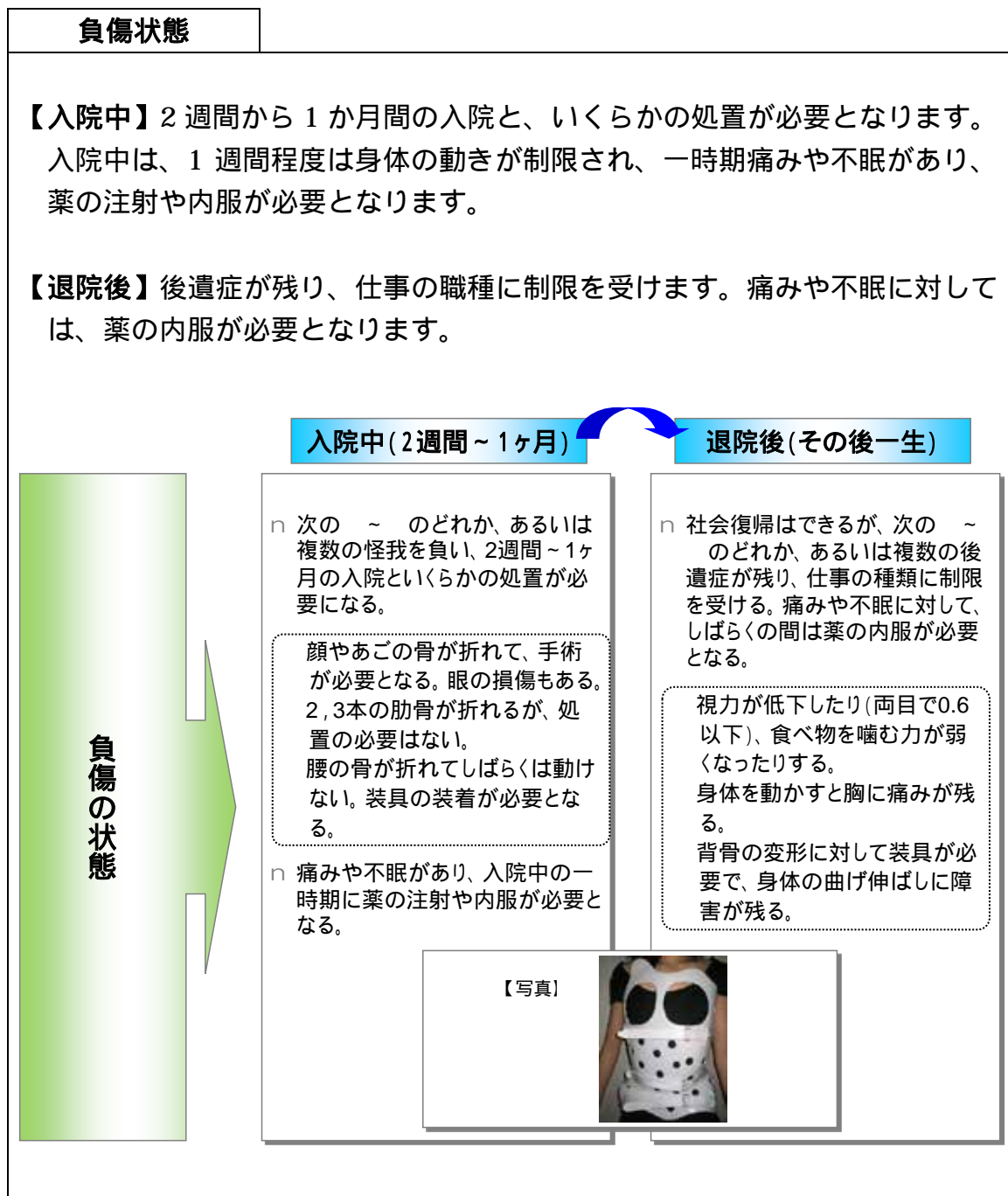
ただし、矛盾する回答はできません。例えば、10万円なら「受けてもよい」選択したのに、それより安い5万円で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります（問23へ）

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
2億円なら（200,000,000円）「特別な治療」を		
1億円なら（100,000,000円）「特別な治療」を		
7,000万円なら（70,000,000円）「特別な治療」を		
5,000万円なら（50,000,000円）「特別な治療」を		
3,000万円なら（30,000,000円）「特別な治療」を		
2,000万円なら（20,000,000円）「特別な治療」を		
1,000万円なら（10,000,000円）「特別な治療」を		
700万円なら（7,000,000円）「特別な治療」を		
500万円なら（5,000,000円）「特別な治療」を		
300万円（3,000,000円）なら、「特別な治療」を		
100万円（1,000,000円）なら、「特別な治療」を		
50万円（500,000円）なら、「特別な治療」を		
30万円（300,000円）なら、「特別な治療」を		
10万円（100,000円）なら、「特別な治療」を		
7万円（70,000円）なら、「特別な治療」を		
5万円（50,000円）なら、「特別な治療」を		
3万円（30,000円）なら、「特別な治療」を		
1万円（10,000円）なら、「特別な治療」を		

<問20> 交通事故で負傷した場合（負傷区分1：確定CV法）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で「普通の処置」を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。



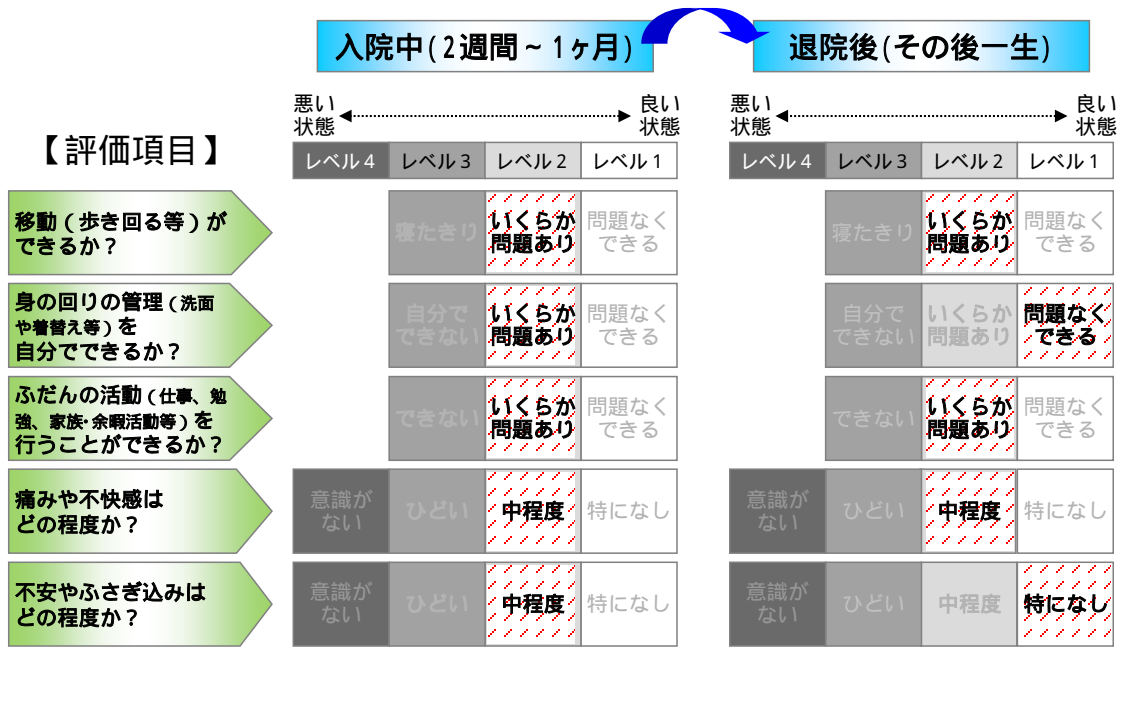
【写真】



身体レベル

【入院中】歩きまわったりといった移動に多少困難を伴う状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることも多少困難を伴う状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も多少差し支えがある状態です。また、痛みや不快感が多少あり、心理的にも多少の不安を感じたり塞ぎこむこともある状態です。

【退院後】歩きまわったりといった移動に多少困難を伴う状態です。自分の身の回りの管理には問題ない状態ですが、仕事や勉強といった普段の活動には多少差し支えがある状態です。また、痛みや不快感が多少ありますが、心理的には普通の状態です。



< 回答 20 > 特別な治療をうけてもよい金額について

ここで、あなたは、「普通の処置」のほかに「特別な治療」を受けることが可能です。

もし、この「特別な治療」を受ければ、事故前の健康体に快復できるとします。

受けなければ、先ほど示した負傷状態のままであり、後遺症も一生涯残ります。ただし、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援(例えば生活保護等)を受けられるため、あなたの費用負担はないものとします。

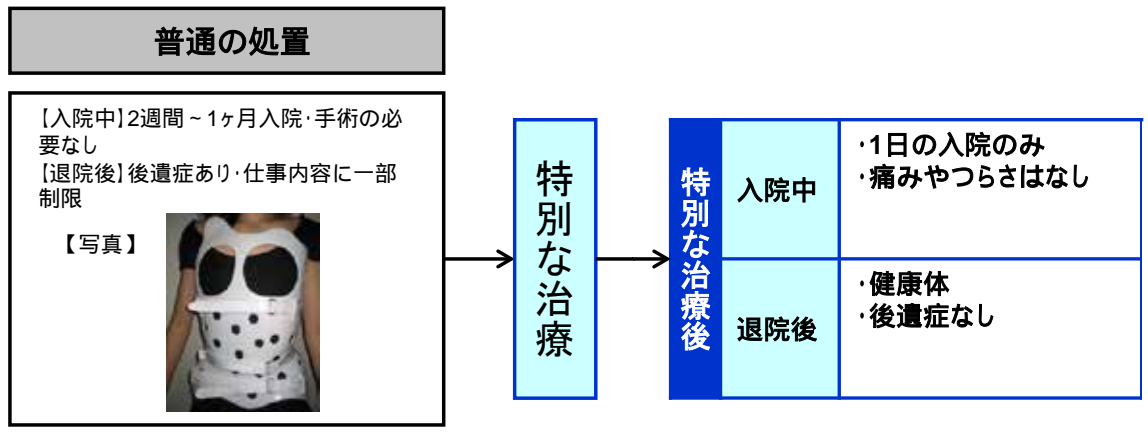
また、「特別な治療」は、100%成功とします。

「特別な治療」を受けた場合

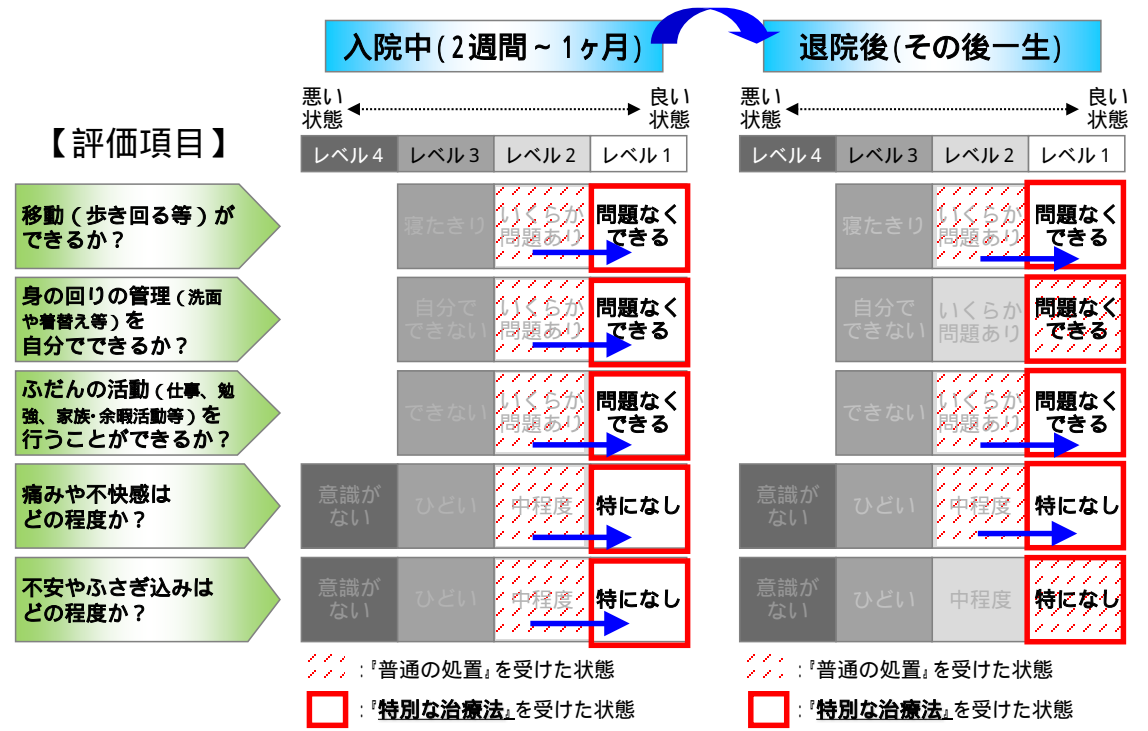
特別な治療を受けた場合、事故前の健康体にすぐに快復できます(この特別な治療は100%成功とします)。

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。



「特別な治療」を受けた場合の身体レベル



さて、ここで質問です。あなたは、このような負傷状態になった際に、自費治療で「特別な治療」を受けることができるとした場合、「特別な治療」がどのくらいの金額なら受けても良いと思いますか。

なお、この「特別な治療」への治療費を支払うことによって、あなたがこの先の人生で使うことのできる金額に影響があることを念頭においてお答え下さい。

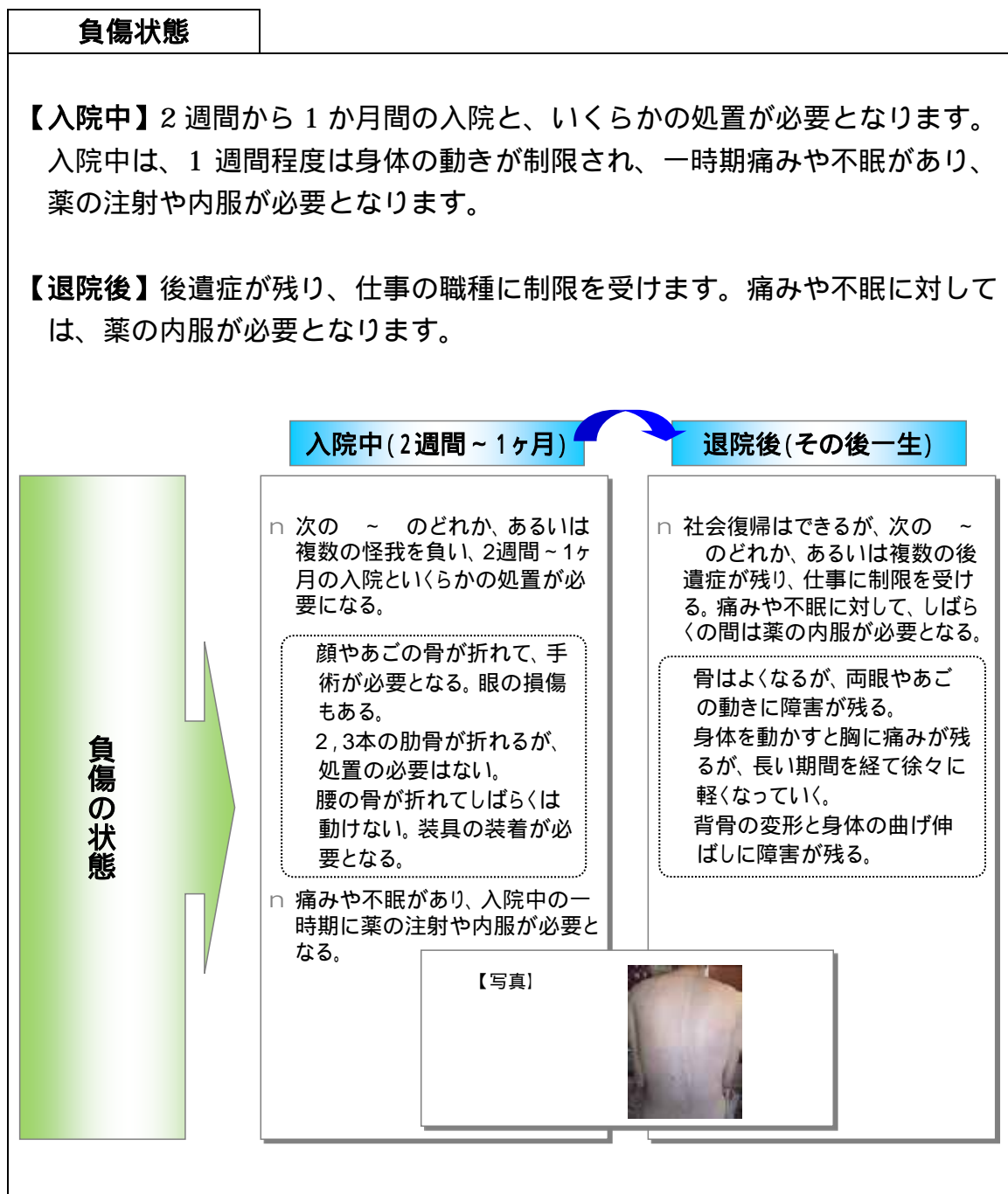
ただし、矛盾する回答はできません。例えば、10万円なら「受けてもよい」選択したのに、それより安い5万円で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります（問23へ）

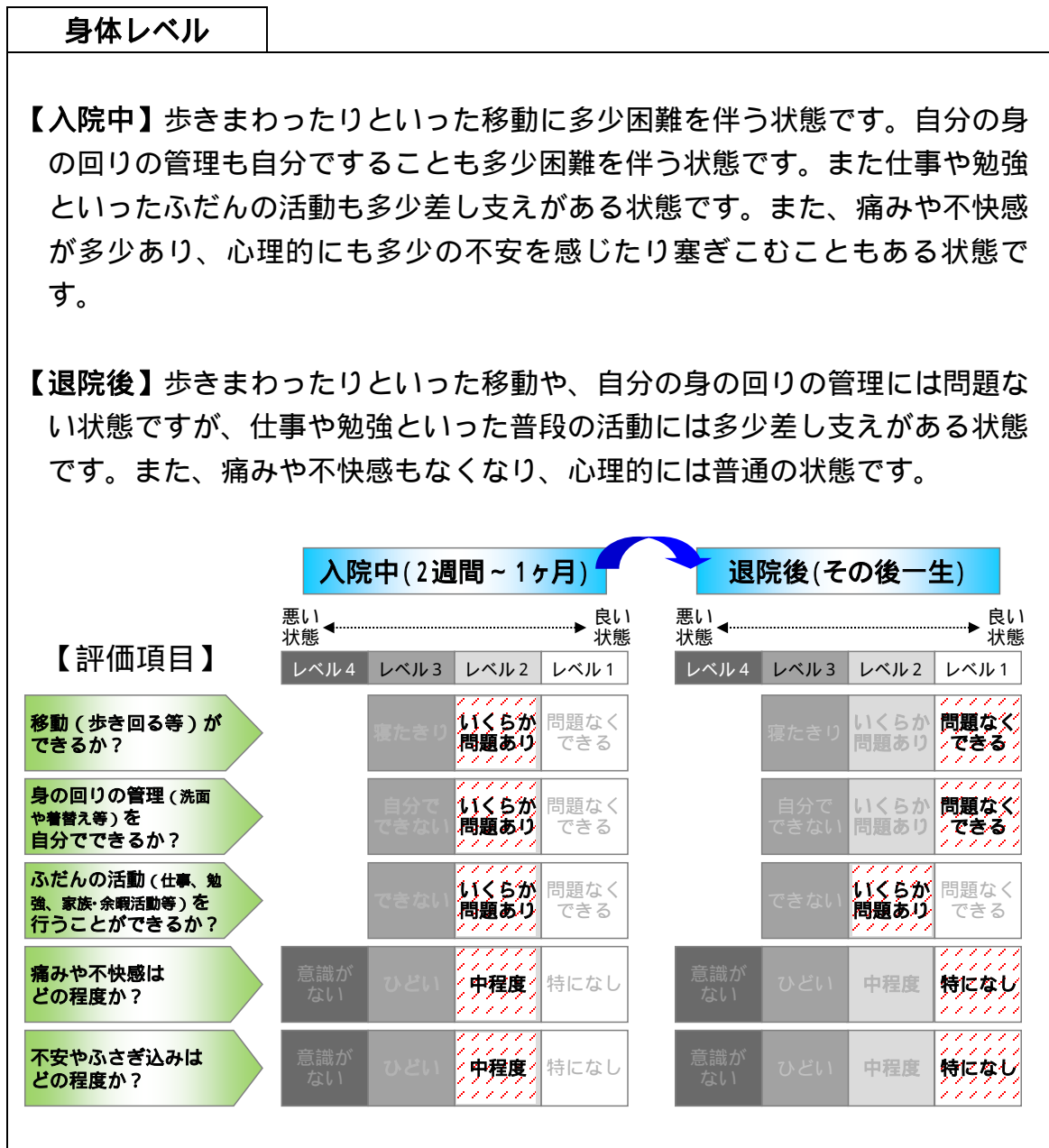
	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
2億円なら（200,000,000円）「特別な治療」を		
1億円なら（100,000,000円）「特別な治療」を		
7,000万円なら（70,000,000円）「特別な治療」を		
5,000万円なら（50,000,000円）「特別な治療」を		
3,000万円なら（30,000,000円）「特別な治療」を		
2,000万円なら（20,000,000円）「特別な治療」を		
1,000万円なら（10,000,000円）「特別な治療」を		
700万円なら（7,000,000円）「特別な治療」を		
500万円なら（5,000,000円）「特別な治療」を		
300万円（3,000,000円）なら、「特別な治療」を		
100万円（1,000,000円）なら、「特別な治療」を		
50万円（500,000円）なら、「特別な治療」を		
30万円（300,000円）なら、「特別な治療」を		
10万円（100,000円）なら、「特別な治療」を		
7万円（70,000円）なら、「特別な治療」を		
5万円（50,000円）なら、「特別な治療」を		
3万円（30,000円）なら、「特別な治療」を		
1万円（10,000円）なら、「特別な治療」を		

<問2 1> 交通事故で負傷した場合（負傷区分 O：確定 CV 法）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で「普通の処置」を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。





< 回答 2 1 > 特別な治療をうけてもよい金額について

さて、ここで、あなたは、「普通の処置」のほかに「特別な治療」を受けることが可能です。

もし、この「特別な治療」を受ければ、事故前の健康体に快復できるとします。

受けなければ、先ほど示した負傷状態のままであり、後遺症も一生涯残ります。ただし、治療費やその後の生活に必要な費用等は、各種保険（例えば自賠責保険等）や公的支援（例えば生活保護等）を受けられるため、あなたの費用負担はないものとします。

また、「特別な治療」は、100%成功するとします。

「特別な治療」を受けた場合

特別な治療を受けた場合、事故前の健康体にすぐに快復できます(この特別な治療は100%成功するとします)。

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

普通の処置

【入院中】2週間～1ヶ月入院・手術の必要なし
【退院後】後遺症あり・仕事内容に一部制限
【写真】



特別な治療

特別な治療後

入院中	・1日の入院のみ ・痛みやつらさはなし
退院後	・健康体 ・後遺症なし

「特別な治療」を受けた場合の身体レベル

入院中(2週間～1ヶ月)

退院後(その後一生)

【評価項目】

移動(歩き回る等)ができるか?

身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?

ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?

痛みや不快感はどの程度か?

不安やふさぎ込みはどの程度か?

悪い状態 ← → 良い状態
レベル4 レベル3 レベル2 レベル1

	寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる
	自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる
	できない	いくらか問題あり	問題なくできる
	意識がない	ひどい	中程度
	意識がない	ひどい	中程度

//// : 「普通の処置」を受けた状態

□ : 「特別な治療法」を受けた状態

悪い状態 ← → 良い状態
レベル4 レベル3 レベル2 レベル1

	寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる
	自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる
	できない	いくらか問題あり	問題なくできる
	意識がない	ひどい	中程度
	意識がない	ひどい	中程度

//// : 「普通の処置」を受けた状態

□ : 「特別な治療法」を受けた状態

さて、ここで質問です。あなたは、このような負傷状態になった際に、自費治療で「特別な治療」を受けることができるとした場合、「特別な治療」がどのくらいの金額なら受けても良いと思いますか。

なお、この「特別な治療」への治療費を支払うことによって、あなたがこの先の人生で使うことのできる金額に影響があることを念頭においてお答え下さい。

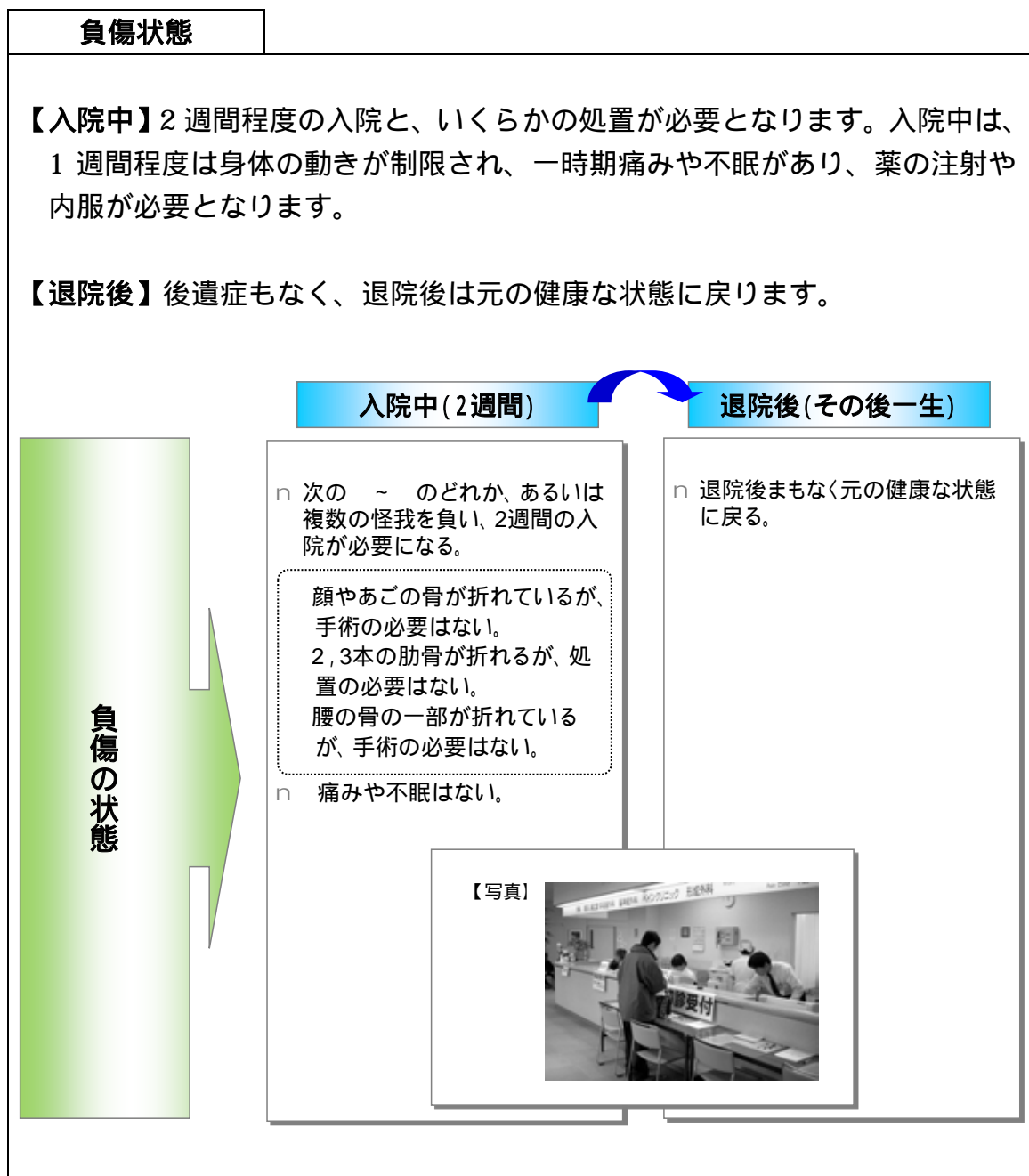
ただし、矛盾する回答はできません。例えば、10万円なら「受けてもよい」選択したのに、それより安い5万円で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります（問23へ）

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
2億円なら（200,000,000円）「特別な治療」を		
1億円なら（100,000,000円）「特別な治療」を		
7,000万円なら（70,000,000円）「特別な治療」を		
5,000万円なら（50,000,000円）「特別な治療」を		
3,000万円なら（30,000,000円）「特別な治療」を		
2,000万円なら（20,000,000円）「特別な治療」を		
1,000万円なら（10,000,000円）「特別な治療」を		
700万円なら（7,000,000円）「特別な治療」を		
500万円なら（5,000,000円）「特別な治療」を		
300万円（3,000,000円）なら、「特別な治療」を		
100万円（1,000,000円）なら、「特別な治療」を		
50万円（500,000円）なら、「特別な治療」を		
30万円（300,000円）なら、「特別な治療」を		
10万円（100,000円）なら、「特別な治療」を		
7万円（70,000円）なら、「特別な治療」を		
5万円（50,000円）なら、「特別な治療」を		
3万円（30,000円）なら、「特別な治療」を		
1万円（10,000円）なら、「特別な治療」を		

<問22> 交通事故で負傷した場合（負傷区分A：確定CV法）

ここで、あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたは、病院で「普通の処置」を受け、『入院中』と『退院後』の負傷状態や身体レベルが次のとおりとなってしまうと想定してください。



身体レベル

【入院中】歩きまわったりといった移動に多少困難を伴う状態です。自分の身の回りの管理も自分ですることも多少困難を伴う状態です。また仕事や勉強といったふだんの活動も多少差し支えがある状態です。また、痛みや不快感が多少あり、心理的にも多少の不安を感じたり塞ぎこむこともある状態です。

【退院後】歩きまわったりといった移動や、自分の身の回りの管理には問題ない状態ですが、仕事や勉強といった普段の活動にも問題はない状態です。また、痛みや不快感もなくなり、心理的には普通の状態です。

【評価項目】	入院中(2週間)				退院後(その後一生)			
	悪い状態 ←				← 良い状態			
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動(歩き回る等)ができるか?		寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる		寝たきり	いづらか問題あり	問題なくできる
身の回りの管理(洗面や着替え等)を自分でできるか?		自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる		自分でできない	いづらか問題あり	問題なくできる
ふだんの活動(仕事、勉強、家族・余暇活動等)を行うことができるか?		できない	いづらか問題あり	問題なくできる		できない	いづらか問題あり	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か?	意識がない	ひどい	中程度	特になし	意識がない	ひどい	中程度	特になし

< 回答 2 2 > 特別な治療をうけてもよい金額について

さて、ここで、あなたは、「普通の処置」のほかに「特別な治療」を受けることが可能です。

もし、この「特別な治療」を受ければ、事故前の健康体にすぐに快復し退院できるとします。

受けなければ、先ほど示した 2 週間程度の入院が必要です。ただし、治療費等は、各種保険(例えば自賠責保険等)や公的支援を受けられるため、あなたの費用負担はないものとします。

また、「特別な治療」は、100%成功するとします。

「特別な治療」を受けた場合

特別な治療を受けた場合、事故前の健康体にすぐに快復できます(この特別な治療は100%成功するとします)。

【入院中】 1日の入院のみで退院することができます。入院している間の痛みやつらさはまったく無くなります。

【退院後】 完全な健康体になることができます。後遺症が残らず、痛みやつらさはまったく無くなります。

普通の処置

【入院中】2週間の入院・手術の必要なし
【退院後】後遺症なし

【写真】



特別な治療

特別な治療後

入院中

・1日の入院のみ
・痛みやつらさはなし

退院後

・健康体
・後遺症なし

「特別な治療」を受けた場合の身体レベル

【評価項目】

移動（歩き回る等）ができるか？

身の回りの管理（洗面や着替え等）を自分でできるか？

ふだんの活動（仕事、勉強、家族・余暇活動等）を行うことができるか？

痛みや不快感はどの程度か？

不安やふさぎ込みはどの程度か？

悪い状態 ← → 良い状態
レベル4 レベル3 レベル2 レベル1

	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動（歩き回る等）ができるか？	寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる	問題なくできる
身の回りの管理（洗面や着替え等）を自分でできるか？	自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる	問題なくできる
ふだんの活動（仕事、勉強、家族・余暇活動等）を行うことができるか？	できない	いくらか問題あり	問題なくできる	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か？	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か？	意識がない	ひどい	中程度	特になし

//// : 「普通の処置」を受けた状態

□ : 「特別な治療法」を受けた状態

悪い状態 ← → 良い状態
レベル4 レベル3 レベル2 レベル1

	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
移動（歩き回る等）ができるか？	寝たきり	いくらか問題あり	問題なくできる	問題なくできる
身の回りの管理（洗面や着替え等）を自分でできるか？	自分でできない	いくらか問題あり	問題なくできる	問題なくできる
ふだんの活動（仕事、勉強、家族・余暇活動等）を行うことができるか？	できない	いくらか問題あり	問題なくできる	問題なくできる
痛みや不快感はどの程度か？	意識がない	ひどい	中程度	特になし
不安やふさぎ込みはどの程度か？	意識がない	ひどい	中程度	特になし

//// : 「普通の処置」を受けた状態

□ : 「特別な治療法」を受けた状態

さて、ここで質問です。あなたは、このような負傷状態になった際に、自費治療で「特別な治療」を受けることができるとした場合、「特別な治療」がどのくらいの金額なら受けても良いと思いますか。

なお、この「特別な治療」への治療費を支払うことによって、あなたがこの先の人生で使うことのできる金額に影響があることを念頭においてお答え下さい。

ただし、矛盾する回答はできません。例えば、10万円なら「受けてもよい」選択したのに、それより安い5万円で「受けたくない」を選ぶことは矛盾した回答になります（問23へ）

	どちらか一方を選択	
	受けてもよい	受けたくない
2億円なら（200,000,000円）「特別な治療」を		
1億円なら（100,000,000円）「特別な治療」を		
7,000万円なら（70,000,000円）「特別な治療」を		
5,000万円なら（50,000,000円）「特別な治療」を		
3,000万円なら（30,000,000円）「特別な治療」を		
2,000万円なら（20,000,000円）「特別な治療」を		
1,000万円なら（10,000,000円）「特別な治療」を		
700万円なら（7,000,000円）「特別な治療」を		
500万円なら（5,000,000円）「特別な治療」を		
300万円（3,000,000円）なら、「特別な治療」を		
100万円（1,000,000円）なら、「特別な治療」を		
50万円（500,000円）なら、「特別な治療」を		
30万円（300,000円）なら、「特別な治療」を		
10万円（100,000円）なら、「特別な治療」を		
7万円（70,000円）なら、「特別な治療」を		
5万円（50,000円）なら、「特別な治療」を		
3万円（30,000円）なら、「特別な治療」を		
1万円（10,000円）なら、「特別な治療」を		

<問23>

あなたは、何歳まで生きてしたいと思いますか。120歳を限度としてお答え下さい。

<回答23> (20 かつ 120)

_____歳

<問24>

あなたの家族構成を教えてください(同居、別居問いません)。あてはまるもの全員をお答え下さい。

<回答24> (MA、7のみSA)(2が選択されていない場合 問26)

- | | | |
|----------|------------|--------|
| 1 配偶者 | 2 子ども(問25) | 3 孫 |
| 4 父、母 | 5 義父、義母 | 6 兄弟姉妹 |
| 7 家族はいない | | |

<問25>

あなたのお子様は働いていらっしゃいますか。あてはまるものすべてをおこたえください

<回答25> (MA)

- 1 働いている子どもがいる
- 2 専業主婦(または主夫)をしている子どもがいる
- 3 (幼児、児童または学生など、就学中のため)まだ働いていない子どもがいる
- 4 就学しておらず、かつ無職(または求職中)の子どもがいる

<問26>

あなたの職業は次のうちどれに相当しますか。もっとも近いものをおこたえください

<回答26> (SA)

- | | | |
|-------------|----------|-----------|
| 1 会社員 | 2 公務員 | 3 自営業 |
| 4 パート・アルバイト | 5 学生 | 6 専業主婦・主夫 |
| 7 無職 | 8 その他() | |

<問27>

あなたの世帯年収(年金や雑所得含む)はどれぐらいですか

<回答27> (SA)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 200万円未満 | 2 200万円以上400万円未満 |
| 3 400万円以上600万円 | 4 600万円以上800万円未満 |
| 5 800万円以上1,000万円 | 6 1,000万円以上1,500万円未満 |
| 7 1,500万円以上2,000万円 | 8 2,000万円以上3,000万円未満 |
| 9 3,000万円以上 | |

<問28>

あなたの世帯（と同一世帯）の方で所得（年金や雑所得ふくむ）のある人はどなたですか。あてはまる方すべてお選び下さい

<回答28>（MA）

- | | | |
|---------|-------|--------------|
| 1 あなた本人 | 2 配偶者 | 3 親（義父、義母含む） |
| 4 兄弟姉妹 | 5 子ども | 6 その他 |

<問29>

このアンケートの質問の分量はどうでしたか

<回答29>（SA）

- | | |
|--------|--------|
| 1 多過ぎる | 2 やや多い |
| 3 普通 | 4 少ない |

<問30>

本アンケートでは、交通事故で負傷した状態や、その後の後遺症の状態を、図をふくめて解説していましたが、そのわかりやすさはどうでしたか

<回答30>（SA）

- 1 非常に分かりやすかった（スムーズに理解できた）
- 2 まあまあ分かりやすかった（時間はかかったが理解できた）
- 3 どちらともいえない（なんとなくは理解できた）
- 4 やや分かりにくかった（よく理解できなかった部分があった）
- 5 非常に分かりにくかった（ほとんど理解できなかった）

<問31>

設問内容について質問します。これまでにお答えいただいた様々な設問の中で、わかりにくかった設問について、いくつでもおえらびください

<回答31>（MA、9のみSA）

- 1 交通事故で死亡する確率の説明（確率の表示方法）がわかりにくかった
- 2 交通事故で瀕死の状態になったときに受けられる「特別な治療」の説明がわかりにくかった
- 3 交通事故を回避できる「安全グッズ」の説明がわかりにくかった
- 4 交通事故で瀕死の状態になったときに受けられる「特別な治療」の説明がわかりにくかった
- 5 交通事故で負傷した状態の説明がわかりにくかった
- 6 交通事故で負傷した際に受ける「特別な治療」の説明やその意味がわかりにくかった
- 7 「特別な治療」を受けるための治療費の大きさがわかりにくかった

- 8 その他わかりにくかったところ(具体的に)
- 9 特にわかりにくかったところはなかった